

四 畫

尾 ビ 尾尾尾

①を、しり、しつぽ②す系(末)しりへ(後方)をはり(終)さき(先端)③そこ(底)④交接すること、つるむ⑤つく(後より行く)⑥星の名、又星のやどり

尿 ネウ 尿尿尿

小便、いばり(溺)ゆばり

局 キヨク 局局局

①官署の事務室②かぎる、わかつ(分)③まがる、巻きつく④つばね、へや(室)⑤碁將碁等の盤、又其の戯の一段落⑥かたよる(偏)⑦かじまる(脚に同じ)⑧ちぢまる

屁 ヒ 屁

へ、おなら(肛門より排泄する一種の瓦斯)

五 畫

居 キヨ 居居居

①をる、ゐる、ゐどころ②をく、しむ(占)③爲す所なし④すわる(坐)据に同じ⑤みたくはふ(蓄積)⑥やむ(止)⑦やうし(安)⑧あたる(當)⑨うづくまる(蹲)⑩つかあな(墳墓)⑪呼かけ、又は疑問の詞⑫國訓の(居る、そこを去らず)

屈 カイ 屈屈屈

屍 シ 屍屍屍

かばね、しかばね(死骸)むくろ

履 ゲキ 履

①くつ②げた③はきもの

屑 セツ 屑屑屑

①くづ②こせつく③かるんず(輕)何とも思はぬ④あなどる(侮)⑤すこし(少)⑥好まぬ、心よく思はぬ⑦いさぎよし(潔)⑧おほやうならず

展 テン 展展展

①のぶ(陳)ひろげる(廣)ひらく(開)ならべる②ころぶ③しらべる(調)④ととのふ(整)⑤しるす(録)⑥まこと(誠)⑦かさね(重)⑧おもんず、あつくす(厚)⑨ねがへりをする

屈 クツ 屈屈屈

①かむ(曲)まがる、をる(折)②心むすぼる(憐)心くじける③へりくだる(謙)④つく(盡)つくす、なくなる⑤もどる(戻)⑥はづかしめ、そしり⑦みだる(亂)まじふ(錯)⑧やむ(止)⑨みぢかし(短)⑩つよし(強)

六一七 畫

屋 ヲク 屋屋屋

①やね(屋根)むね②いへ(家)建物、へや(住居)③まないた(俎)④つくろ(机)⑤棺を覆ふ小さき帷⑥國訓や(家號又は職業に添へる語)

八一二畫

屏 ヘイ
ビヤウ
ヒヤウ

①かき(垣)②ついで(衝立)びやうぶ③おほふ(蔽)かこふ④たゞむ(竹)さまよふ⑤おしりぞく(卻)しりこみする、後へ退る⑥さかひ(境)⑦おそる(恐)おどろく⑧のぞく(除)

屠 ト 屠 屠 屠 屠

屨 ル 屨 屨 屨 屨

屨 シ 屨 屨

①しばく②わづらはし(煩)③つねに

履 ソウ 履 履 履 履

①かさぬ(重)②だん(級)きは③二階以上に重ねたてし高どの④かさなる(重量)

履 リ 履 履 履 履

①くつ、はきもの②ふむ、あゆむ(歩)くつをはかせる③ふみおこなふ(行)④領地⑤さいはい(祿)

屨 ク 屨

①くつ②麻にて造りしはきもの

二二二畫

屨 ソウ 屨 屨 屨 屨

①かさぬ(重)②だん(級)きは③二階以上に重ねたてし高どの④かさなる(重量)

履 リ 履 履 履 履

①くつ、はきもの②ふむ、あゆむ(歩)くつをはかせる③ふみおこなふ(行)④領地⑤さいはい(祿)

屨 ク 屨

①くつ②麻にて造りしはきもの

中部

一畫

屯 ト
チュン 屯 屯 屯 屯

①たむろ、たむろす②どへう(土俵)③軍兵が集り守る④易の卦名⑤かたし⑥なやむ⑦をしむ(吝)

山部

三一四畫

山 サン
セン 山 山 山 山

①やま(地の高く突起せるもの)②高く盛りたるもの(岡・丘・岳・嶺・峰等の總稱)

屹 ギツ
キツ 屹

①たかし(高)②そばだつ(峙)③さかんなり(壯)④直立不動の貌

屹 キ 屹

はげやま(禿山)

岌 キフ 岌

あやふし(危) 岌(たかし)(高)

岐 キ 岐 岐 岐 岐

わかる(分)ふたまたに分る、えだになる 岌(たかし)(峻)

山の名

岑 シン 岑

みね(峰) 岌(さかし)(阻)けはし(險) 岌(さかし)岸(がけ)(崖)

五 畫

岡 カウ 岡 岡 岡 岡

をか(低き山) 岌(山)の脊

岫 コウ 岫

岫(山)の名

岩 テウ 岩

山(の)たかきさま

岨 ソ 岨 岨 岨 岨

石を戴ける山 岨(そば)けはし(き山)みち

岩 巖(の) 俗字 岩 岩 岩

岫 シウ 岫 岫 岫

いはあな、山(の)ほら 岫(山)のみね

岬 カウ 岬 岬

みさき 岌(山)の傍 岌(はざま)(兩山の間) 岌(山)の尾の長き

岱 タイ 岱 岱 岱

支那五嶽中の東嶽、泰山又は太山ともいふ

岳 嶽(の) 古字 岳 岳 岳

岸 ガン 岸 岸 岸

きし(水)のきは 岌(がけ)(崖) 岌(心)正しく圭角ある貌 岌(きざ)はし(階) 岌(額)をあらはす 岌(極)所、どんづまり、又 目的とする所 岌(宿)驛に設けたる牢屋

六 畫

峒 トウ 峒

山(の)ほらあな 岌(えび)すの名

峙 チ 峙 峙 峙 峙

そばだつ(聳)元立つ 岌(つむ)積 岌(たか)きをか(高)丘

そばだちし山 岌(そ)びゆ(聳)

岬 國字 岬

たうげ 岬(道)の上りつめしところ 岌(は)て、きはみ

七 畫

岨 ガ 岨 岨 岨 岨

山(た)かくけはし 岌(み)ね(嶺) 岌(い)かめし、さかんなり、 我(に)同じ

峭

セウ 峭

①はげし(厲)きびし(嚴)からし(苛)②けはし(峻)③たかし(高)

峯

ホウ フア 峯 峯 峯

①みね(山のいたゞき)山のはし、山の尖りたる所②單に山のこと

峴

ケン、ゲン 峴

山の名、支那湖北省にある山

島

タウ 島 島 島

①しま(海中に起りたる陸地)②はまべ、いそ(磯)③嶋(嶋)島に作る、島は俗字

峻

シユン 峻 峻 峻

①たかし(高)けはし(峻)②高くして大なり、ながし(長)③おほいなり(大)④きびし(嚴)⑤はやし(速)おごそか

峽

カフ ケフ ゲフ 峽 峽 峽

①はざま、たにあひ(山と山とのあひだ)②地と地、又水と水との細くつゞく處(地峽、海峽)

八 畫

嶮

コウ 嶮

①山の高きさま②山の名

崇

シユウ スウ 崇 崇 崇

崎

キ 崎 崎 崎

①けはし(險)さかし(峻)たかし(高)②あやふし(危)③さき(崎、崎)④突出せる陸地、岬角

峴

コン 峴 峴

峴輪は山の名、又崑山縣馬鞍山の俗稱

峯

シユツ ソツ 峯

①たかし(高)②けはし(危)③山の峯

崔

サイ 崔 崔

①たかし(高)②おほいなり(大)③高く急なる貌④石山

崖

ガイ 崖 崖

①きりぎし(高きは岸、平らなるは汀)②がけ(山邊、高き水際)③事物のさかひ④かぎり(限)はて(極)⑤他と和せざること

崗

岡の 俗字 崗 崗

花崗石(みかげいし)には此の字を用ふ

嶺

ロン 嶺

山の名

崙

前に 同じ 崙 崙

峻

リョウ 峻

山の高くけはしき貌

嶮 クツ

嶮 嶮

①たかし(嶮)けはし(嶮)②ぬきんづ③そばだつ(嶮)

嶮 サウ

嶮

山のたかくけはしき貌

嶮 スウ

嶮

①たかし(高)山たかし②五嶽中の嵩山の嵩に通ず

嶮 ホウ

嶮 嶮 嶮

①くづる、山がくづれる②かくる、天子の殂落③國訓くづす(つぶす、こはす)亂す、字畫を省く、小さくす

九 畫

嶮 リツ

嶮

高くしてけはしき貌

嶮 嶮

嶮の俗字

嶮 嶮

嶮 カン

嶮 嶮 嶮

①たに、山ふかきさま、ほら②山の開きたる貌③けはし④はむ、はめこむ

嶮 グ

嶮 嶮

①山のくま②たかし

嶮 ラン

嶮 嶮 嶮

嶮 ル

嶮

山のいたゞき②山の名

嶮 シヤウ

嶮

山高くけはし、又山の連互せる貌

嶮 ク

嶮 嶮

①けはし(嶮)さかし(嶮)②平かならざる山路③あやふし(危)④なやむ(難)

一三 畫

嶮 リン

嶮

山深く高き貌、又段々あるさま

嶮 ケウ

嶮 嶮 嶮

①もや(霧)山の氣②あらし、あらし風、山風③國訓あれ、しけ

一〇 畫

嶮 スウ

嶮 嶮 嶮

①たかし(高)②山の名(五嶽の一)③國訓かさ(物の高さ、廣さ、容積)かさばる

嶮 クワイ

嶮

①いしやま(石山)②山高く大なり

嶮 サ

嶮 嶮 嶮

①さかし(峻)けはし(峻)②岩の起伏する貌③峻嶮は山の高低齊しからざる貌、参差に通ず

①山の名曰山のこみち、又水なき陵②喬に通ず、たかし

嶮 ゲウ 嶮

たかし(高)山たかし

嶮 エキ 嶮

③山の連なる貌曰山の名

嶮 ケン 嶮

④たかし(高)曰けはし(峻)

嶮 カイ 嶮

⑤谷の名曰はさま、たにあひ

嶮 クワウ 嶮

一四畫

山高きさま(高峻)

嶮 レイ 嶮

リヤウ

①みね(山嶺)曰やまみち(山路)②さか(阪)③山の連りたるもの(山脈)

嶮 ショ 嶮

しま、こじま(水中の小洲)

嶮 ガク 嶮

④だけ(高大なる山)曰かどだちていかめしき貌⑤岳に通ず

嶮 サン 嶮

ザン

一七一〇畫

①けはし、さかし曰たかし、又その山

嶮 キ 嶮

②小山多く連れる貌、又高く大なる貌曰ひとり立つて高き貌

嶮 キ 嶮

③たかし曰おほいなりのひとり立つ貌

嶮 ラン 嶮

④とがれる小山曰まるきみね

嶮 テン 嶮

山の頂上、みね、いたゞき

嶮 ガン 嶮

嶮

①いはほ、いはいはや(石窟)ほらあな②高し③さかし(峻)④がけ(崖)

川部

川 セン 川

①水のながれ、かは(河・江・淮水・河水・漢水等の總稱)②川のほとり③支那にて四川省の略

三一八畫

州 シウ 州

ス

①くに、邦國(行政上の區劃、又周制にて二千五百戸をいふ)②しま、す(水中の陸土、洲)③あどころ(居所)④あつまる(聚)⑤あな(穴)、地方

巡 ジュン 巡 巡 巡

①めぐる、みまはる、見廻り歩く②あまねし(遍)③あひしたがふ(相循)

巢 サウ 巢 巢 巢 巢

①す(鳥又は虫類などの棲む所)②すくふ(巢をつくる)③つむ(積)④樂器の名(笙の大なるもの)⑤大巢は豌豆の熟せざるもの⑥巢車は車の名⑦盜賊のかくれや

工部

工 コウ 工 工 工 工

巧に同じ①たくみなり、じやうざ②器物を製する業、又其の人③てわざ(手藝、手工)④つかさびと(官吏)⑤功に通ず⑥庶民の第三階級、即ち職人の部

二一七畫

左 サ 左 左 左

①ひだり②くだす、おとす(下)退ける③もとる(戻)たがふ(違)そむく(背)④よこしま(邪)⑤おしるし(證據)⑥たすく(佐)

巧 カウ 巧 巧 巧 巧

①たくみ、上手②わざ(技)③よきこと(好)愛らしくよし④うはべを飾る⑤いつはり(詐)

巨 キョ 巨 巨 巨 巨

①おほし(多)②おほいなり(大)③詛に同じ、なんぞ④距の略字

巫 フ 巫 巫 巫 巫

①みこ、かんなぎ②神に仕へる者③山の名

差 サイ シヤ シ 差 差 差 差

①たがふ、ちがふ、ことなる(異)②あやまち(過失)③缺點④二數のさしひきの残り⑤そろはず、入れちがふ、ひとしからず⑥えらぶ(擇)⑦けぢめ、わかち、區別⑧おくる(送)⑨つかはす(遣)⑩いゆ、なほる⑪や、すこし⑫國訓さす(指定)⑬つきこむ、増す、ものさし

己部

己 キ コ 己 己 己 己

①十千の一、つちのと②おのれ、おの、われ(自稱)③私の心、私慾④をさむ(治)

己 イ 己 己 己 己

①やむ、をはる(畢)はてる②さる(去)すつ(棄)しりぞく(卻)③すでに、もはや④絶望の辭、やんぬるかな⑤はなはだ(太)⑥斷定の意、のみ⑦ゆゑに、ゆゑ⑧いゆ(癒)なほる⑨もつて(以)

巳 シ 巳 巳 巳 巳

①十二支の一、み②今の午前十時の時刻③東南の方位④つき(嗣)⑤おこる(起)

一一九畫

巴 ハ 巴 巴 巴 巴

①支那の地名②いやしき聲音③うづまき④國訓とも互(柄)に畫きし繪、轉じてその形したる模様

尗 キン 尗 尗 尗 尗

①のぶ(舒)うく②瓢を二つに分けたる盃(婚禮の時ちぎりを結ぶ式に用ふ)

巷 カウ 巷 巷 巷 巷

①ちまた(街路)まちすぢ、こうぢ②むら(村)さと(里)③宮中の廊下

巽 ソン 巽 巽 巽 巽

①たつみ、東南の方角②易の卦の名③やはらか(柔)ひくし(卑)④いる(入)⑤ゆる(遷)⑥したがふ(順)

巾部

巾 キン コン 巾 巾 巾

①かぶりもの(頭巾)えりまき②おりのもの、きれち③てぬぐひ、ふきん④おほふ(覆)かざり(飾)⑤國訓はじ(幅の略字)

二一四畫

市 シ 市 市

①いち、あきなふ、又その場所、まち、人の多く集まる所②物の價③うる(賣)かふ(買)④市制を施行するまち

布 フ ホ 布 布 布

①ぬの、おりもの(織物)②しく(敷)③ちらす(散)④ほどこす(施)⑤のべる(延)⑥廣くしらしむ⑦ならべる(列)⑧ぜに(古代の錢)

帆 ハン 帆 帆 帆

①ほ(船具)②ほをあぐ、ほかけぶね

帑 紙に 同じ 帑

希 ケ キ 希 希 希

①まれなり(罕)めづらし(珍)すくなし②こひねがふ(冀)のぞむ(望)願はくは③東歐の國名、ギリシヤ(希臘)

五畫

帑 タウ 帑 帑 帑

①に通ず②こども(子供)つまこ(妻子)③鳥の尾④ら、かねぐら

帕 パク ハク 帕 帕

①ちまき②はらまき、はらおび

帖 テフ テフ 帖 帖 帖

巾部 帑・希・帑・帖・宿・帙・帑・帑

帑 ロン 帑

酒屋の目印の旗、酒屋の看板

帙 チツ 帙

①ふまき、ふみづゝみ(書衣)こぶくる(小囊)②書物の巻数

帑 シウ サウ 帑

①ふまき、はうき(簪)②はく(掃)はらふ

帑 ハク 帑 帑 帑

①きぬ(絹)②ぬき(贈答用のきぬ)③にしき(錦)④薄絹に書く文字、轉じて書冊、又は記録

六一七畫

帝

テイ

みかど、きみ、天皇、天帝、天の神、上帝、造化、かみ

帥

スキ

ひきあふる(率)ひきあびく(導)ひきつれる(したがつ) (循)軍隊のかしら、大將(そのつ)(官名)

悦

ゼイ

腰にさげし手拭、手帕

師

シ

人を教へる者、先生、人の模範となる者(手本)、のり(官名)又は官吏(周代の軍制、いくさ、軍隊)もろもろ、諸人(神の名)職業を示す語

席

セキ

むしろ、ござ(草竹等の葉を編みて造りしもの) (藉)しきものをしくやすんず(安) (つらぬ) (陳) (資)よる(因)すはる所、座席

八畫

帳

チャウ

とばり(帷)寢臺をおほふ巾、たれぎぬ(ちやうめん) (陣屋の幕)垂布を敷ふる語

帶

タイ

おび、又帶の如きものをぶ、はぐ(佩)めぐる(環)めぐらす(行)取まくあたり(邊)一圓へび(蛇) (地球)地球上植物・氣候等の分布の区分(婦人病の一)鎖物學にては一陵に平行せし結晶體の集合

帷

キ

まく(幕)たれぬの(垂布)ひきまく、とばり(かたびら(帷子))

常

シヤウ

つね、いつも、とこしへ(日頃、ふだん)のり、常の道(くせ、ならひ) (なみ) (普通) (尋)の倍の長さ(一丈六尺) (天子)の御物で日月の模様をつけし旗(車)上に持つ旗(木)の名、又神の名

帽

ハツ

俗字

九畫

幘

ダウ

巾部 帷・常・帽・幘・幃・帷・幅・幫

幃

キ

ひとへのとばり(單帳) (に)ほひぶくろ(香囊) (きん)ちやく(とばり)

帷

アク

ひきまく(上下四方を取りまくとばり) (陣屋)のまく

幅

フク

はじ、よこは(へり、ふち) (縁)轉じて外貌(きれ) (布帛)きれぢ、轉じてとばり (きやはん) (脚絆)むかばき(掛物)をかぞへる語

幫

ハウ

たすく、補助する

一〇一一畫

幌 クワウ
ほろ(物を被ひて屋根とする布)とばり、たれぎぬ、雨よけ 〇髪かざり

幔 パン
まん
まく(引幕)とばり(帳) 〇おほふぬの(覆巾)

幕 バク
マク
まく(高くはる帷) 〇將軍の政事を行ふ所、轉じて將軍軍政、參謀 〇おほひまとふ(纏) 〇こて、すねあての類 〇すなはら(沙漠)芝居のひときり、又場敷をかぞへる語

幟 クワク
クワク
クワク

幟 サク
婦人の喪中に著くる冠 〇婦人の髪かざり、首かざり

一一一四畫

幟 ボク
髪を包む巾、づきん、又はちまき(帕)轉じてつむむ(裹)

幟 シ
のぼり、目じるしの旗 〇しるし(徽章)

幟 ホン
はた(旗)のぼり(幟) 〇翻に同じ、ひるがへる 〇かはる

幟 タウ
ドウ

一一三畫

幣 ハイ ヒヤウ
ピヤウ
たひら、たひらか 〇たゞし(正)なほし(直) 〇やはらぐ(和) 〇仲むつまじ 〇をさまる(治) 〇おだやか(穩) 〇やすし(安) 〇ひとし(平等) 〇同等 〇みゆる(稔) 〇ひろき野、平野 〇法律を司る官、裁判官 〇漢字音四聲の一 〇國訓ひらに(偏へにの意) 〇ひら(平碗) 〇たいらぐ(飲食を十分にす) 〇たひら(膝をくづして坐る)

年 ネン
とし(地球が太陽を一周する期間) 〇みゆる(稔) 〇みゆり(豐作) 〇よはひ(齡) 〇とき(時代) 〇としつき、つきひ(光陰) 〇支那にて官吏登用試験に及第せし者の互ひに呼ぶ語

干 カン
カン

干部

干 カン
もとむ(求) 〇ねがひ求む 〇をかす(犯) 〇そむく、さかふ(逆) 〇たがふ(違) 〇あづかる(與) 〇關係す 〇都のそと 〇水のほとり、きし(岸) 〇たて(盾) 〇ふせぐ(防) 〇えと

五一〇畫

①あはす(合)いつしよにする②かね(兼)かねもつ③そなはる(具)あふ(會)④もつばら⑤古の支那の地名⑥ならびに

①さいはひ、しあはせ、こぼれさいはひ(僥倖)②運よし、都合よし③みゆき(行幸)④ねがふ、こひねがふ⑤寵愛す⑥天子の婦人を御する意

①みき(草木の莖)②からだ(體)もと(主要なる事、又其部分)③はたらき(才能)④事をよくす、任に堪ふ⑤器具

①さほろし②まどはす、くらます(眩)あざむく(欺)③はかる(謀)④かはる(變化)⑤てづま、魔法、幻術

①ちひさし(小)②いとけなし、をさなし(幼)③一の數、又骰子の一點

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

幺部

の材料①干支の干に同じ②管に同じ、つかさどる③ただけ(井桁)

①ちひさし(小)②いとけなし、をさなし(幼)③一の數、又骰子の一點

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

一一九畫

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①をさなし、いとけなし②未熟、物事の未だ全盛の域に達せぬ貌③幼き時、又はその者④かすかにして測りがたき貌⑤くはしくこまかなり(精細)⑥漢の王莽の時の錢の名

①かくる(隱)ひそむ(潜)②又かくれたる所③かすか、奥ふかし、その所④くらし(闇)⑤冥土、あのよ⑥しづか、陰氣⑦とらふ、とらはる⑧支那古代の地名

①きざし(兆)②とき(期)ときを定める③あやふし(危)④ちかし(庶幾)⑤ほとんど(殆)⑥みる(察)⑦みとどける⑧ねがふ、こひねがふ、こひねがはくは⑨高きさま、ながし⑩物の數を料る語、いくばく⑪豈に通ず、あに

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

宀部

二一四畫

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①おほふ(蔽)かばふ、助け護る②かけ、おかげ③ひさし(庶)

①支那股代の學校(庠序)②かき(牆)③ついて(順序を立てる)④はじめ、はし、いとぐち⑤のぶ(敘)はしがき(序文)⑥國訓ついて、そへ(副)

五 畫

底 テイ 底底底底

①そこ(物の下面又は下部)②とまる(止)③とほる(いたす)④(至)いたる⑤といし(砥)⑥なに、なんぞ(何)⑦したがき⑧こと、もの、的等の意

庖 ハウ 庖庖庖庖

①くりや、だいどころ、炊事場②料理割烹、料理人③支那の伏羲氏

店 テン 店店店店

①たな、みせ(物を商ふ所)②おく(置)③國訓たな(貸家、借家、又單に家)

庾 カウ 庾庾庾庾

①十千の第七位、かのえ②方角にては西③かはる(更)④かたし(堅)こはし(剛)⑤とし、よはひ(齡)⑥よこたはる(横)⑦つぐのふ(償)⑧みち(道)

府 フ 府府府府

①くら(文書・財寶くら)②やくしよ、官廳、又行政上の區劃③あつまる(聚)④みやこ(都邑)⑤府に同じ、はらわた⑥下をむく(俯に同じ)⑦へだて(隔)

六 畫

庠 シヤウ 庠

①昔の學校(鄉學)②やしなふ(養)又老人を養ふ所

庠 キウ 庠

①いこふ(憩)②休に通ず、又幸福の意

度 ド・ト タク 度度度度

①のり(法)のつとる(則)②ものさし③人がら、器量④ほど(程度)⑤數量をはかる單位を示す爲めに刻む目⑥たび(回数)とき⑦渡に通ず、わたる⑧佛語にて救ふ意(濟度)⑨僧となること(得度)⑩はかる(測)⑪考へ慮る⑫國訓たし(希望の意)たく(字音をかり用ふ)

七 畫

座 ザ 座座座座

①すはる所②しきもの③集會の場所④すえたる場處⑤國訓くら(位)ます(居)おはす、芝居小屋

庠 クコ 庠庠庠庠

①くら、武具をよさむるところ②一般に穀物財寶を蓄ふる所をいふ

庭 テイ 庭庭庭庭

①には(堂の階の前)②おもてざしき、廣間③人民に接し政を執る所④朝廷又は宮中⑤家の内⑥へだり(隔)大差⑦その(園)

八 畫

庠 ヒ 庠

①ひくし、屋根がひくい②ひくき家③たすく(毗に同じ)④みじかし(短)

庵 アン 庵 庵 庵

①いほ、いほり(草舎)②低し③佛を安置する小舎④ぶた小屋⑤菴に作る

庶 ショ 庶 庶 庶

①こひねがふ(糞)②ちかし(庶幾)③おほし(多)④もろもろ、衆多、人民⑤めかけばらの子⑥ぶんけ、支族

康 カウ 康 康 康

①やすし(安)やすんず②たのしむ(樂)たのし③五方に通ずる大路、往來の多き所④むなし(虚)⑤おほいなり(大)⑥あく(尤)

庸 ヨウ 庸 庸 庸

①つね(常)なみ(平常)②もちゐる(用)③いさをし(功)いさを④いたはる(勞)⑤あに(豈)なんぞ(何)もつて(以)⑥唐代の賦課の法⑦かき(塘)⑧やとふ(儲)⑨大なる鐘

九 畫

庾 ニ 庾 庾

①くら、こめぐら(米廩)②米の樹③(支那の十六斗)④米をたくはふ、又其米

廂 廂 廂

①同じ

廨 シヤウ 廨 廨

①ひさし②廊下、わたどの

一〇 畫

厦 カ 厦 厦

①い(屋)大なる家②ひさし(廡)門のひさし

廉 レン 廉 廉

①やすし(安價)②きよし(清)いさぎよし(潔)③かど(稜)すみ(角)④あきらかにす(察)⑤細きさま⑥國訓かど(箇所、點)きは、だん、格別

廊 ラウ 廊 廊

①ひさし、又ひさしの下②ほそどの、わたどの、らうか③支那家屋の座敷の東西にあるへや

度 シウ 度

①さがす(搜)②かくす(隠)③物のくま(隈)

廨 キウ 廨

①うまや(馬小屋)

一一 畫

廓 クワク 廓 廓

①おほいなり(大)②おほいはず、ひらく(開)③むなし(空)④劍のさや(鞘)⑤くるわ(郭)

廕 イン 廕

①かけ(蔭)②おほふ、かばふ③ひさし

廛 レウ 廛

①人の名②地の名

一二 畫

厨 チュ チュウ 厨 厨

①くりや、料理場、だいどころ 口はこ(箱)ひつ(櫃)た
んす(簞笥) 口ぬし(主) 口財貨を以つて人を救ふもの

廩 テン 廩 廩

①みせ(店舗) 口やしき、すまひ(住居) 口市中の空地、
店税を課すること

廨 シ 廨

廨に作る 口こもの、めしつかひ、賤役者(薪をとり馬を
養ふ者) 口やしなふ(養)

廟 ベウ 廟 廟 廟

①たまや 口神を祀つたやし 口朝廷、人君の宮殿 口か
りみや(殯宮) 口かたしろ(尊像) 口東、に廟のある部屋

廠 シャウ 廠

①かこひなき家、壁なき家、かりや 口多人數(主として
職工)の集まる所

廡 フ 廡

①ひさし(廂)わたどの、廊下 口のき(軒)いへ(家) 口草
木のしげる

廢 ハイ 廢 廢 廢

①やむ(止)すてる 口すたる、破れる、不用となる 口ほ
ろぶ(亡) 口かたは(撥者) 口ふす(伏)恐れ入る貌 口おつ
(墮)おとす

廣 クワウ 廣 廣 廣

離 ヨウ 離

離に通ず 口やはらぐ(和) 口支那古代の大學校、又天子
の學校

廳 チャウ 廳 廳 廳

①やくしよ(官署) 口罪人を取調べる所 口行政區劃の稱
(北海道廳の類)

又部

四一六畫

廷 テイ 廷 廷 廷

①ひろし、ひろさ、ひろむ 口悠長にして心やすき貌 口
よこ(横)東西の稱(南北は表又は輪) 口兵車十五乗の稱
地名(三國の吳の時の地名、今の廣東・廣西)

一三一二畫

廩 リン 廩 廩

①くら(米ぐら) 口ふち米、俸祿 口魯の國の學校の稱 口
あやふし(懷)

廬 リョ 廬 廬

①いほり(庵)かりや 口いへ(家) 口とのりの部屋 口いほ
りをつくる

①人の集る處②政を行ふ所(特に君王の政を執る所)③たゞし(正)なほし(直)④たひらか(平)

延 エン 延 延

①のぶ、のばす②およぶ(及)いたる(至)③ひく、ながびく、遅る④ながし(長)ひさし(久)⑤ひろさ、ながさ⑥つらぬ(陳)⑦招き呼ぶ、いる(納)⑧とゞこほる(滝久)⑨しりぞく(退却)

建 ケン コン 建 建 建

①たつ、おこす(起)創める、家屋をつくる②くつがへす(覆)こぼつ

廻 クワイ エ 廻 廻 廻

・回と同じ、又廻に作る

廿部

一 一 二 畫

廿 二十の略字 廿

弁 ヘン ハン ベン 弁 弁 弁

①おきて(法則)のり②てほん(範)のつとる③車前の横木(軾)④車上の敬禮⑤發語のことば、もつて、それ⑥拭に通ず⑦運算の方法を符號にて書きしもの(算式)

弄 ロウ 弄 弄 弄

①もてあそぶ(玩)②たはむれ、たはむる(戲)③あなどる(侮)なぶる④樂をしらぶ、又樂曲⑤ちまた(巷)俚に作る

弊 ヘイ 弊 弊 弊

弊に作る①つかる(罷)やぶる(壞)そこなふ(害)②きめる、さだむ(定)③自分の事の謙稱に用ゐる語

弋部

弋 ヨク 弋 弋

①いぐるみ(矢に糸を結びて射るもの)いぐるみにて射る②くひ(杙)③とる(取)④うかぶ(浮)およぐ⑤黒い色

一 一 九 畫

式 シヨク シキ 式 式 式

弑 シイ 弑 弑 弑

しいす、ころす(臣が君を殺す、子が親を殺す、下の者が上の者をころす)

弓部

弓 キユウ 弓 弓 弓

①ゆみ(形容詞として用ゐるときはゆ、ゆん)②車蓋のほね③支那にて土地丈量の單位(八尺ばかり)④射たり(六尺)の距離の稱

一 畫

弔

テウ
テキ

弔 弔 弔

①とぶらふ、とむらひ②とぶ(死者の家・又その後を訪ふ)③いたむ(傷)あはれむ④いたる(至)⑤つる(釣)つるす⑥國訓とむらひ(葬式)、弔は俗字

引

イン

引 引 引

①ひく、のばす②みちびく(導)案内③長くす、つゞく④さそふ(誘引)⑤さる(去)のぞく(除)ぬく(抜)⑥ひきさがる(退)⑦挙げいたる、持ち来る⑧ひきうける(承負)⑨はしがき(序)⑩樂曲の一、又は詞曲

二一三畫

弗

フツ

弗 弗

①いな(否)あらず、ず(打消の語)②はらふ(赦)はらひ去る③ドル(米國の貨幣の單位、我二圓内外)④元素 Fluorine の宛字の頭字

弘

コウ

弘 弘 弘

①ひろし(廣)ひろむ、ひろまる②おほいなり(大)

弛

シ

弛 弛 弛

①ゆるぶ(緩)ゆるむ②とく(解)はづす(外)③すたる(廢)おとろへる、行はれなくなる④やぶる(壞)

四一六畫

弟

テイ
ダイ

弟 弟 弟

①おとうと②悌と同じ(兄弟に順なると)③やすし(易)④ついて(次序)⑤つき(下位)⑥師につきて業を修める者⑦自らを卑下していふ語

弦

ゲン

弦 弦 弦

弱

ジャク
ニヤク

弱 弱 弱

①よわし、かよわし②わかし、わかき者③二十歳、又その年頃④おとろふ(衰)おとる⑤やぶる(敗)まける⑥をかす(侵)⑦よわむ⑧うしなふ(喪)⑨數學上にて上位に繰り上げし數

張

チャウ

張 張 張

①はる、ひきしぼる、のべひろげる、大げさにす②はり、幕・弓などの如く張り用ゐる器を敷へる語③つらねまうく

九一二畫

強

キヤウ
ガウ

強 強 強

弧

コ

弧 弧 弧

①つる、ゆみづる②弓はりづき(半圓形の月)③いと、樂器のいと、絃に同じ④直角三角形の勾股に對する長い一邊⑤國訓つる(鐏の把手、ますのかね)

弩

ド

弩 弩

①おほゆみ、いしゆみ②機械で箭又は石を遠方に發射する戦具

弔

ビ

弔 弔

①ゆはず②つゆみ(角骨にて飾りたる弓)③やむ(息)とむ(止)④やすんず(安)⑤いたる(低)⑥わする(忘)⑦ほろぼす(滅)

七一八畫

①つよし、つよきもの、つよくす②四十歳、又其前後の稱③數尙餘あること、端數を切りすてし數④つとむ(勉)すゝむ(勸)⑤しふ(無理にすること)⑥むつき(權)もとる(戻)⑦自らを是とする義

弼 ヒツ 弼 弼 弼

①たすく(輔佐)たすけ、たすくる人②弓を矯正する器③かさぬ(重)④もとる⑤たかし(高)⑥昔の彈正峯の次官

發 コウ 發

①はる、弓を引きしぼる②ねらふ(狙)やごろ(矢を放たんとするほどあひ)

彈 ダン 彈 彈 彈

①はじきゆみ、はじきだま②はじく、はねかへす③ひく、かき鳴らす④たす、罪を糺す⑤うつ(撃)うちたたく⑥ふるふ(掉)⑦つまはぢき(爪彈)

一三一 九畫

彊 強に 同

古く彊に通ず

彌 ミ 彌 彌 彌

①あまねし(徧)②ゆみをゆるぶ(弛弓)③をはる(終)④や、いや、いよ(愈)ます(益)⑤ながし(長)⑥ひさし(久)とほし(遠)⑦わたる、ひきつゞく⑧や(稍)⑨やむ(息)とむ(止)⑩わたる(互)

彎 ワン 彎 彎 彎

①ひく、はる、矢をつがへて弓を引きしぼる②まがる(曲)ゆみなりに曲る

彑部

六一 一五畫

豕 タン 豕

①易の八卦の意義を統べて判断したることばの稱②はしる(走)③豕の類

彗 スキ イ 彗 彗 彗

①はき、はうき(箒)②はきぼし③長星

彙 キ 彙 彙 彙

①たぐひ、なかま、類集②あつむ、あつまる③はりねずみ

彡部

四一 六畫

彡 ケイ ギヤウ 彡

①かたち(容)②すがた(姿)かた(型)③からだ(身體)④かたどる(象)にせる⑤あらはす(現)⑥土製の食器⑦いきほひ(勢)ありさま⑧かたちづくる、できあがる(成立)

彦 ゲン 彦 彦 彦

①ひこ(男子の美稱)②美德ある男子、すぐれたる男

八 畫

彩 サイ

彩 彩 彩 彩

①いろ、つや(光澤)②あやもやう、文章、文飾③やうす(態度)采に通ず④かざる(飾)いろどる⑤ひかり(光)

彪 ヒウ

彪 彪 彪 彪

①まだら(虎の皮の斑紋)②小さき虎③あや、もやう、文章、文飾、又あやある貌

彫 テウ

彫 彫 彫 彫

①ゑる、ほる(鏤)②きざむ(刻)③かざる(飾)④よく(畫)⑤しぼむ(凋)枯れる⑥そこなふ(害)

彬 ヒン

彬 彬 彬

①とよなふ(備はれるさま)②さかんなり(盛)③あきらか(明)

九一二畫

彰 ハウ

彰 彰 彰

①鼓の聲②地の名(現今の蘇江省銅山縣所在)③おほし(多)④さかんさま(強盛)⑤ふくる(彫)⑥車の聲⑦行くさま、息むことを得ぬさま⑧近きところ、かたはら(旁)⑨八百歳まで生きし彭祖の故事に因み長命の意

彰 シヤウ

彰 彰 彰

①あきらか(明)いちじるし(著)②あらはす(表明)あらはる(顯著)③あや(文)かざり(飾)④章に作る

影 エイ

影 影 影 影

彳部

三一四畫

衍 ハウ

衍 衍 衍 衍

①たちやすらふ、たちもとほる、さまよふ②たよむ(イ)③ほのか(仄)④さもにたり(彷彿)

役 エキ

役 役 役 役

①つかふ、えだち(公事に使役す)②國境のまもり③い(昔)④つとめ(職務)⑤つとむ(勤め働く)⑥つかはれるもの(こもの)⑦つらなる(列)⑧國訓やく(官職、うけもち)

五畫

彼 ヒ

彼 彼 彼 彼

①かれ、あれ、か、あ(此の對)②或事物を指していふ語、あなた、あそこ、かしこ、あの

佛 フツ

佛 佛 佛

佛に同じ、さもにたり

往 ワウ

往 往 往 往

①ゆく(行)すむ(進)②いぬ、すぎさる(過去)③むかし(昔)いにしへ④おくる(贈)⑤つかはす(遣)⑥のち、あと⑦さきに、かつて(曾)をり⑧とき⑨むかふ(向)歸嚮する、往は俗字

征 セイ 征 征 征 征

①ゆく(行)向ひ進む、旅に出る②とる(取)利益をとる
③うつ(伐)④租税、税を取り立つ

徂 ソ 徂 徂

①ゆく(行)いたる(至)②さる(去)しぬ(死)③はじめ(始)④ねらふ(狙)

六 畫

待 タイ 待 待 待

①まつ、期す②もてなす(待遇)あしらふ③そなふ(備)用意する④得て、及んで等の意⑤持ちつ持たれつの意

徇 コン ゴン 徇

徇 たがふ(違)もとる(戻)②せめぐ(関)あらそふ(争)③狼に作る

徇 ヤウ 徇 徇

①さまよふ、たちもとほる②ほしいまゝ③あそびにふける

徇 クワイ 徇 徇 徇

①さまよふ、たちもとほる②進まぬ貌

律 リツ リチ 律 律 律

①笛の音で定めた音楽の調子、音調、又調子を調へる笛のつとる(法)②のり(法)おきて③をさむ(治)たどす(正)④詩體の名⑤佛法上のいましめ⑥佛教の宗派の名

徇 シュン ジュン 徇

①となふ(土地を巡り合して服せしむ)②したがふ(殉)③はやし(早)④あまねし(遍)あまねく示す⑤つかふ(使役)⑥狗の本字

後 コウ 後 後 後 後

①うしろ、のち、あと、しり②未來、將來③ちすぢ、子孫④おくる、おそくなる⑤後廻しにす⑥時代がおくる

七 畫

徐 ジョ 徐 徐 徐

①しづか(靜)おもむろ、おだやか、安らか②おそし(遅)ゆるやか(緩)③地の名、昔の支那九州の一

徑 ケイ 徑 徑 徑

①ちかみち(近道)わきみち(横道)こみち(小路)②よこしま(邪)③みち、方法、しかた④なほし(直)⑤とほる(通)わたる(渡)つひに(竟)⑥さしわたし(直徑)⑦たゞちに(直)

徒 ト 徒 徒 徒

①かち、かちあるき、歩行②あしがる、歩卒、歩兵③ともがら(黨)なかま④門人、弟子⑤たゞに(只)から(空)いたづらに⑥懲役、又は刑罰の名⑦しもべ(奴)從者⑧學生、修業者⑨國訓かち(足輕、おかち)

八 畫

得 トク 得 得 得

①う、える、出来る、能ふ②まうけ、利益を受ける③成る、遂げる④満足す、ほこる⑤さとる(悟)了解する⑥むさぼる(食)懲ばる⑦合ふ、他人と心が合ふ

徇 ハイ 徇 徇

徒

シ

徃

さまよふ、たちもとほる

①うつす(移)うつる(遷)②すきゆく、すこす(過)③こゆ(踰)

徇

シヤウ

徇

たちもとほる、さまよふ

從

シヨウ
ジユウ

從
從

①したがふ、服する、なづく②治める③静かなるさま、落つけるさま④供をする、隨行す⑤とも(供)つきそひ⑥放つ⑦ほしいまゝ⑧縦(子同じ血系)よりす、より(自)⑨あと(蹤)⑩たて(縦)⑪同位階を上下二段に分ちたる下位の稱

徕

來の古字

徕

御

キョ
ゲゴ

御

①馬を使ふ(馭す)又馬を使ふ者(馭者)②をさむ(治)③お、おん、み、おほん(天子の事にいふ敬語、又語に冠し語尾に添へて用ふ)④ふせぐ(禦)⑤むかふ(迎)⑥はべる(侍)⑦すゝむ(勸)⑧きさき(妃嬪)又婦人を寵愛す⑨國訓おほん、おん、お、み(他人の事物に添へていふ敬語、自他共に物を尊びていふ語)

徧

ヘン

徧
徧

①あまねし、あまねく②あまねくめぐる③あまねくゆ

九畫

復

クワウ

復

①さまよふ、たちもとほる②いとま(送)ひま(暇)

復

フク

復
復
復

①かへる(返)もどる(戻)かへす、もどす②くり返す、取りもどす③まうす(申)答へる④むくゆ(調)⑤のぞく(除)⑥かさなる(重)かさぬ⑦また(又)ふたゝび(再)⑧おほふ(覆)⑨易の卦の名

循

ジュン

循
循
循

①したがふ(順)②すなほ③めぐる(巡)④なづ(撫)さす⑤なぐさむ(慰)⑥順序あるさま⑦決定せぬさま⑧よる(依)

一〇畫

徎

エウ

徎

①つかふ②公役に③こと④えだつ、えだち

徎

ミロ

徎
徎

①かすか(幽)ほのか、くらし(不明)②ちひさし(小)こまかし(細)すくなし(少)③ひそか(密)④しのび(忍)⑤いやし(賤)⑥いみじ、たへ、精妙⑦おとろふ(衰)⑧そぐ(殺)⑨うかゞふ(偵察)⑩かくす(匿)⑪おほふ(覆)⑫あらず(非)⑬なし(無)なかりせば⑭かすかに、ひそかに

一二畫

徎

チヨウ

徎
徎
徎

①めす(召)めし②徴收、又は要求③しるし(驗)きざし④(兆)きゝめ⑤あかし(證據)あきらか⑥五音の一

徳

トク
徳

①さいはひ(幸福)②めぐみ(恩恵)③のぼる(昇)④名望、聲望、威望⑤正義、善道、至善⑥取得すること、利益あること⑦よき教へ、よき感化⑧恩義に感ず、恩を施す、恩に報いる⑨人格、節操⑩君子、聖賢⑪星の名、木星

微

テツ
微

①とほる(通)とほす②あきらか(明)③さる(撤)④すつ(捨)⑤こぼつ(毀)⑥つらなる(列)⑦をさむ(治)⑧とる(取)⑨周代井田の税法

一三一 一四畫

徽

ケウ
グウ
徽

①もとむ(要求)②かすむ(抄)③めぐる(循)④みまはる(と)りて、くにざかひ(國境)⑤こみち(徑)⑥微妙なること⑦むかふ(迎)

徽

キ
徽

①よし(善)②うつくし(美)③よくす④おほづな(大索)⑤はたじるし(旗章)轉じて一般のしるしにもいふ⑥にほひぶくろ(緯)

心部

心

シン
心

①こゝろ②むね(胸)おもひ、かんがへ③まんなか、又中にあるもの④もと(根本)⑤だいたい⑥さね(核)⑦ほそし(織)⑧たましひ(魂)⑨五臓の一、心臓⑩二十八宿星の一

一 畫

必

ヒツ
必

①かならず、かならずしも、かならずや②きつと、多分、相違なく③もつばら(專一)④堅く期すること、たしかに期す⑤きめて動かぬ心⑥必ず然りと云ひ難き意

三 畫

忌

キ
忌

①いむ、いみ、きらふ(嫌)②はじかる(憚)おそる③にくむ(嫉)ねたむ④うやまふ(敬)⑤いましむ(戒)⑥つゝしむ(愼)⑦死者の命日⑧喪にこもる一定の期間

忍

ジン
忍

①しのぶ、たふ(堪)こらへる②さく(避)かくる(隠)③思ひ出す、慕ふ④しのぼす、隠す⑤しのび、忍術⑥まはし者、間諜

付

ソン
付

①はかる、おもひはかる(度)②きざむ

志

シ
志

①こゝろざし、こゝろばせ②しるす、かきしるす、記憶する、かきもの、記録③意見又節義あること④軌に通ず、はた⑤したふ(慕)⑥こゝろざす、希望を起す⑦めあて(目的)期する所⑧英國の銀貨シリング(Shilling)の音譯、わが四十八錢八厘に相當す

忘

バウ
マウ
忘

①わする、おろそかにす、ゆるがせにす②ものわすれぬかる

怕

ハ

怕 怖

①おそる(懼)②無爲の貌③おほかた、多分、おそらく

怖

フ

怖 怖

①おそる(惶)おのゝく(戰)おそれおどす(威)おどかす

怙

コ

怙

①たのむ(恃)たのみ(恃)父)又兩親の意に用ふ

怛

ダツ

怛

①おどろく(驚)②おそる(怖)③かなしむ(悲)④いたむ(憎)⑤つかる(勞)

怙

レイ

怙

①さとし、かしこし②あはれむ(憐)

思

サイ

思 思

①おもふ(念)かんがへる②接尾の語③接頭の助語、ここに④さとし(睿)⑤おもんばかる(慮)⑥ふう⑦欲する、ねがふ(願)

怠

タイ

怠 怠

①おこたる、おろそかにす、あなどる(侮)神氣ゆるむ②よろこぶ(怡)③あやまる、わびる④國訓おこたる(病氣が少しくなほる、おこたりに詫びる義より謝罪の意)

怡

イ

怡 怡

①よろこぶ(悦)よろこばす②たのしむ(樂)③やはらぐ(和)

急

キフ

急 急

性

セイ

性 性 性

性

シヤウ

①さが、天賦の氣質、うまれつき②こゝろ③學ばずして天理に合する心及び行ひ④萬物の原因⑤理性心の本體⑥男女兩性の稱

怨

エン

怨 怨

怨

ヲン

①うらむ、うらみ、人をにくむ、敵視する、なまげなく思ふ、つれなく思ふ②にくむ③あだ(讎)かたき

愧

チ

愧 愧

はぢらふ(慚)はづ(愧)

怪

クワイ

怪 怪

①あやし、あやしきもの(妖物)②あやしむ(異)うたがふ(疑)

怩

ヒ

怩 怩

①いかる(不安の貌)②むつとする③ふさぐ(氣鬱)④もとの(戻)たがふ

怯

ケフ

怯 怯

①おそる(怖)おのゝく(慄)おくびやう②よわし(弱)いぢなし

悸

キツ

悸 悸

①堪へる、がまんする、しんばうする

六 畫

恁

ジン

恁 恁

①おもふ(思)②かく(斯く)かゝる③いやし(卑)④まこと(誠)⑤よわし(弱)

恂

シユン

恂

①まこと(信實)②めやか(剛)③うや／＼し(恭)④おそる、おそれつゝしむ⑤おごそか(嚴)⑥にはか(俄)

恃

ジ

恃 恃 恃

①たのむ、たよる(頼)②母の稱(くらし)

恒

コウ

恒 恒 恒

①つね(常)②つねに(恒)③易の卦の名(ひさし)(永久)④ゆみはりづき(弦月)⑤あまねし(徧)

協

ケフ

協 協

協と混用す

恍

クワウ

恍 恍

①きぬけの貌、ぼんやりする、うつとりする、自失する、②微妙にして測り知り難し③おぼろげなる貌

恐

キョウ

恐 恐

①おそる、おそろし、こはい、心醒する②おもんばか(慮)③おどす(威)④副詞、おそらくは、ことによる⑤おかしこむ、恐れ多く思ふ

恕

ジョ

恕 恕

①ゆるす(宥)②おもひやる、あはれむ(憐)③いつくしむ

恙

ヤウ

恙 恙 恙

①つゝが(よく)人をかむ毒蟲の名(昔草居の時代「ツ、ガ」といふ蟲ありて其の毒になやみしより人に遇ふ時に「つゝがなきか」と云ひしことより轉じて病のどにいふ)

恚

イ

恚

①いかる、いかり(怒)②うらみ、うらむ(怨)

恟

キョウ

恟 恟

①おそる(懼)②おぢおそる

恢

クワイ

恢 恢

①おほいなり(大)②ひろし(宏)③ころざしおほいなり(志大)

恣

シ

恣 恣

①ほしいまゝ(縱)②わがまゝ③ほしいまゝに、みだりに、思ふまゝにす

恤

ジュツ

恤 恤

①うれふ(憂)②うれひ③あはれむ(愍)④あはれみ⑤にぎはす(賑)⑥めぐむ(惠)⑦いつくしむ⑧互ひに相愛す

恥

チ

恥 恥

①はぢ、心のとがめ②はづかしむ(辱)③はづ、氣まじり④悪く思ふ⑤國訓はづかし、面目なし、おもふせ、はにかむ、氣おくれす

恨

コン

恨 恨

①うらむ(怨)②強し③うらみ、にくむ④思ひなやむ⑤残念がる、口惜しく思ふ

恩

オン

恩 恩 恩 恩

①めぐむ、めぐみ(惠)②いづくしみ、なきけ(仁愛)

恪

カク

恪 恪

つゝしむ(慎)つゝしみ

惘

トウ

惘

①いたむ(痛)②うめく(呻)③おどす④まどふ(惑)

恬

テン

恬 恬

①しづか(静)②やすし(安)やすんず、やすらか③平気なるさま

恭

キョウ

恭 恭 恭

息

ソク

息 息 息

①うやくし②つゝしむ(慎)③うく(奉)④やはらぎしたがつ(和順)まめやか

①やむ(止)たえる(絶)②いこふ(憩)やすむ(休)③ふえる、うむ(生)そだつ(育)④ことも、むすこ(息子)⑤いき(呼吸)轉じて短い時間をいふ⑥いきながらふ(生存)⑦ねぎらふ(勞)⑧利子⑨あへぐ(喘)⑩いきつく(太息)

恰

カフ

恰 恰 恰

①あたかも、ちやうど②ねんごろ(懇)③つとむ(勉)④鳥の鳴く聲

惘

エン

惘

①うれふ(憂)②うれへ③いかる(怒)

七 畫

惘

コン

惘 惘

まこと、まごころ(真心)純一なる志

情

セウ

情 情 情

①うれふ(憂)②はげし(激)きびしい③しづかなるさま

悦

エツ

悦 悦 悦

①よろこぶ(喜)よろこび、たのしみ、たのしむ(樂)②したがふ(服)

悉

シツ

悉 悉

①ことごとく、のこらず、みな②つく(盡)つくす③つぶさに(具)④くはしく知る⑤そらんず

恪

リン

恪 恪 恪

①やぶさか、をしむ(音)むさぼる(貪)いやし(鄙)②國訓ねたむ(やく、やきもち)

悌

テイ

悌 悌

①やすし(易)②やはらぎよるこぶ③年長者にしたがふ、弟が兄に順ふ

悍

カン

悍 悍

①いさまし(勇)たけし(猛)②あらし(暴)はげし(厲)③きぜはし(性急)④はやし、急なり

悒

イフ

悒

①うれふ(憂)②心やすからず(不安)たのしまず

悔

クワイ

悔 悔 悔

①くゆ、くやむ、残念がる、くい改む②くちをししく思ふ③あやまち(過)とがめ(咎)④易の外卦の名⑤國訓くやみ(死者を弔ふこと)

悖

ハイ

悖 悖

①もとる(戻)さかふ(忤)②さかんなり(勃)③つよし(強)おそる(懼)ぞつとする

悚

シヨウ

悚 悚

おそる(懼)ぞつとする

悟

コ

悟 悟 悟

①さとる(覺)さとり(迷ひを解く)②さとす(論)③さとし(理解力よし)

悠

イウ

悠 悠 悠

①はるか、とほし(遠)②うれふ(憂)③おもふ(思)④ゆつくりして暇ある貌⑤行くさま⑥限りなし、はてこし

患

クワン

患 患 患

①うれふ(憂)わづらふ(病)心配する②わざはひ(禍)まひ(疾)③あし(惡)④苦心、くるしむ(苦)

悱

ヒ

悱 悱

思ひ中にありて言に發せざるさま

悲

ヒ

悲 悲 悲

八 畫

①かなしむ②なげく(歎)③なさけをかく、あはれみ④いたまし(痛)

悖

スキ

悖 悖 悖

①やつる(蹙)やせおとろふ(憔悴)②うれふ(憂)③つかる(疲)④國訓せがれ(我が子の謙稱、悖の誤用)

悵

ナヤウ

悵 悵

①失望してうらむ貌②失意嘆息するさま③憂ひて元氣なき貌

悶

モン

悶 悶 悶

①もだゆ(鬱)うれひ苦しむ②くらし(惜)道理にくらし

悖

キ

悖 悖

①むなさわざ(驚き恐れて心うごく)②心臓の鼓動③帯などの垂れ下るさま

悼

カウ

悼 悼

①もとる(恨)②いかる(怒)

悼

タウ

悼 悼

①いたむ(傷)かなしむ②人の死をいたみ悲しむ③幼年者の稱

悽

セイ

悽 悽

①かなしむ(悲)いたむ(痛)②うらむ(恨)

悽

コウ

悽 悽

①まこと(誠)まごころ②志を得ざる貌、失意③くらし、おろか(愚)

怒 デキ 怒

憂ひ思ふ、又ひもじく思ふ

情 セイ 情情情

セイ
ジャウ

①なきげ、あはれむ心(情)まこと(真相)②おもむき、おもしろみ(情)まことに(情、實)③心の動き感ずるはたつき(まごころ(本心)④ありさま、状態

惆 チウ 惆惆

①うらみ悲しむ、失望して恨む(惆)失意のさま

惇 ジュン 惇惇

①あつし(厚)人情ふかし(惇)つとむ(勉)②まこと(醇)

悵 ワン 悵

①うらむ(悵)なげく(悵)②おどろきうらむ、もたえなげく

惑 コク 惑惑惑

コク
ワク

①まどふ、まよふ(迷)うたがふ(疑)②まどはす、まどはし

悵 ケン 悵

①ねんごろ(悵)②つゝしむ(謹)③倦に通ず、うむ

悵 タン 悵

やく、心を勞すること甚しき貌

悵 テキ 悵

①うれふ(悵)おそる(懼)②つゝしむ(敬)③いつくしむ(愛)④すみやか(疾)

惘 マウ 惘

①茫然自失するさま(惘)あわてるさま(惘)②國訓あきる(呆)事の意外におどろく貌、うつとりするさま

惘 テツ 惘

①うれふ(憂)うれ(惘)心の定めぬさま

惚 コツ 惚惚

①ほれる、うつとりする、ぼける(惚)②ほのか(幽)奥ふかく測りがたき趣、微妙

惛 コン 惛

①くらし、心くらし(惛)やむ(疾)②ほれる(惚)③ぼける(老)忘る

惜 セキ 惜惜惜

セキ
シヤク

悵 シヤウ 悵

①をしむ、むぼる(食)大切にす(悵)残念がる(悵)いたむ、あはれむ(憐)

悵 ユキ 悵

①是(伊)と同意の助辭、これ(維)②たいひとり、それのみ(悵)おもふ、おもんみる(慮)はかる(謀)③おもふに、おもんみるに

悵 ケイ 悵

①めぐむ、めぐみ、あはれむ(憐)②いつくしむ、あはれむ、賜ふ、賑恤する(悵)かざる(飾)③したがふ(順)④幸をくだす(悵)禁に通じ用ふ、さとし

悵 アキ 悵

①わるし、あし(口)みにくし(醜陋)②あらし(粗)③きざ(瑕)④あしき行爲、犯罪、又わる者⑤ごみ(塵埃)あか(垢)よごれ(汚)⑥災難、害毒、病氣⑦にくむ、にくし(憎)いむ(忌)そしる(譏)⑧はづ(恥)⑨いづくんぞ(焉)なんぞ⑩あゝ(歎息の辭)

愍 ソウ 懃

①くるしむ、いそがはし(口)國訓すべて(總)そうじて

惧 懼の 略字 惶

九 畫

情 ダダ 情 情 情

①おこたる(怠)ものうし(懶)輕んずる(口)つゝしま(不敬)行儀わるし②あなどる(侮)

惱 ナウ 惱 惱 惱

①なやむ、なやみ、なやます(口)うらむ(恨)②いためる、苦しめる③現世の繁累に對するわづらひ④天子の病氣

想 サウ 想 想 想

①(思)望み願ふ、したふ(慕)②おもひやる、又過去を思ふ③おもひ(思念)

惴 ズキ 惴 惴

①おそれ、おそる(懼)②うれふ(憂)又そのさま

惶 クワウ 惶 惶

①おそる(恐)②かしこまる(畏)③おそれあはてる

惹 ジャク 惹 惹

①ひく(引)ひきつける、思ひおこさしめる(口)かゝる(紐)

惻 ショク 惻 惻

いたむ(傷)あはれむ(憐)かなしむ(悲)

偏 ヘン 偏 偏

せまし、心せまし、短慮

愀 セウ 愀 愀

①いろかはる(變色)むつとする、顔色をかへる、しほれる(口)つゝしむ(謹)②うれふ(憂)

愁 シウ 愁 愁

①うれふ(憂)②思ひに沈む③かなしむ(悲)かこつ(唧)④おもんげかる(慮)

愆 ケン 愆 愆

①あやまち、とが、罪過②たがふ(差)あやまつ(口)やまひ(悪疾)悪性の病氣

愈 ニ 愈 愈

①すぐる、まさる(勝)②かしこし(賢)③すすむ(進)④ます(口)益(口)いよく(口)いゆ(癒)⑤さへ(口)さま

愉 ニ 愉 愉

①よろこぶ(悦)たのしむ(口)つふる(疲)②おこたる(怠)③したがふ(循)④たのし、こゝろよし

意 イ 意 意

①こゝろ、こゝろばせ②おもひ(思)おもふ、かんがへる③わたくしの心、私慾④あゝ(歎息の聲)⑤おもむき(情聲)いきほひ⑥そもく(抑)⑦おもふに、はかるに(度)⑧のぞみ、ねがひ⑨氣にする、氣にかける

愒 ケイ カイ
ケツ

①いこふ(息)やすむ(休)②むさぼる(貪)③いそぐ(急)④にはか(遮)

愒 イン
愒

⑤やはらぎてやすし(安和)⑥深く静かなり

愒 ガク
愒 愒

⑦おどろく(驚)あわてる⑧へだつ(阻)

愒 ビン
愒 愒

①あはれむ(憫)②いたむ(痛)③かなしむ(悲)④うれふ(憂)

愒 ヒョク
フク
愒
もとる(戻)かたくな、かたいぢ

愒 グ
愒 愒 愒

①おろか、才氣にぶし、愚直②おろかな人、ばかもの③自己に關する謙辭④くちます、智識を與へぬ⑤あなどる(侮)軽んず

愒 アイ
エ
愒 愒 愒

①いつくしむ(寵)かはゆがる、めづ②をしむ(惜)むさぼりをしむ③このむ(好)よろこぶ④したふ(慕)おとしたむ(親)⑤めぐむ(惠)あはれむ(憐)⑥かくす(隠)⑦重んず、大切にす⑧私に通ず、密通

愒 ケフ
愒

①こゝろよし(快)②あきたる、満足する③かなふ

愒 カン
愒 愒 愒

①こたへひどく、動く②感じ知る、感じさとする③心にひどく、心にしみこむ、心がうごく④他を刺戟して應へひどかせる、動かす

愒 ウン
ウン
愒 愒 愒

①いかる(怒)いきどほる(憤)②うらむ(恨)③思ひつもる、氣むすぼる

一〇畫

愒 キ
愒

はづ(恥)はぢ(慙)

心部 愒・愒・愒・愒・愒・愒・愒

愒 ソク
サク
愒 愒

①うつたふ、うつたへ(訴)②つぐ(告)③おどろく(驚)④おそる(懼)

愒 サウ
サウ
愒 愒

いたむ(傷)かなしむ(悲)

愒 カイ
カイ
愒 愒

①やすし(康)②たのしむ(樂)やはらぐ③勝軍の樂④みなみかぜ(南風)

愒 シン
愒 愒 愒

①つゝしむ(謹)うやくしくす②おもふ(思)③まこと(誠)④いかる(志)⑤戒め禁める意、ゆめく、つゝしんで

愾 キケ 愾

①ためいき(太息) ②みかつ(満) ③いきどほる(憤) ④いかる(怒)

慍 ケン 慍

①つゝしむ(謹) ②すなほ(温順) ③善良

慍 リツ 慍

①おのゝく(戦)おそる(懼)わなゝく ②かなしむ(悲) ③さむし(寒)ぞつとする ④いたむ(痛)

慍 イン 慍

①いたむ(痛) ②ねんごろ(懇) ③又内通、密通の意

慍 ジシ 慍

①いつくしむ(愛)あはれむ(憫) ②いつくしみ、なきけ、仁愛、父母の愛、佛のすくひ ③めだけ、をんな竹 ④母(嚴父の對)

慍 ケフケン 慍

①あきたらず、うらむ ②あきたる、こゝろよし(快) ③まこと(誠) ④嫌に同じ、きらふ、うたがふ(疑)

慍 タイ 慍

①すがた(姿)かたち(形)ありさま(狀)なりふり ②しうち、かまへ ③國訓わざ、わざと、故意

慍 クツク 慍

①くらし(昏)微妙にして測りがたき貌 ②ほれる(惚)うつとりする ③わする(忘) ④あわたし(遮)

一一一畫

慍 ヘウ 慍

はやし(急)すみやか(速)又すばやし

慕 ホ 慕

①したふ、いとしく思ふ ②おもふ(思)特に男女の間にいふ ③ならふ(習)人がらを愛して手本とす ④後を追ふ

慘 サン 慘

①いたむ(傷)いたまし ②そこなふ、むごし、慘忍 ③かなしむ(悲) ④みじめ

慍 ザン 慍

はづ、はぢ、はぢらふ、面目なく思ふ

慍 同 慍

慍 トク 慍

①よこしま(邪)あし(惡) ②けがる(穢) ③わざはひ(災) ④かくれたる惡事 ⑤惡人、わるもの ⑥かくす(匿)惡をかくす

慍 ドウ 慍

かなしむ、なげく(過度の悲哀)

慍 マン 慍

①ゆるむ、ゆるし(緩)おそし ②あなたどる(侮) ③おこたる(惰)なまける ④おごる(倨傲)ほこる又おろそか(疎) ⑤ほしいまゝ(肆)わがまゝ ⑥まどふ(惑) ⑦ゆるみはなつ意(弛緩)ほどける

慍 クワン 慍

①なる、ならふ、なれ親しむ、熟練する②なれ、ならはし

慥 サウ
ザウ

①まことあるさま(篤實)②國訓たしか(篤實)たしかに、きつと

慧 ケイ
エ

①さとし(敏)かしこし(賢)②さかしら(術巧)

慨 ガイ

①なげく(歎)なげき②いきどほる、憤激、男泣き③かなしむ(悲)いたむ

愠 ショウ

すゝめる、すゝめ誘ふ、暗にそゝのかす

慮 リョ

①おもんばかる(謀慮)おもんばかり(思ひめぐらす心)②うれふ(憂)③かんがへ④はかり、のり(度)⑤すべて、大略

慰 ケ

①なぐさむ、心たのしむ②やすんず(安)人をいたはる③なぐさみ、なぐさめ、心やり④國訓なぐさむ、なぐさみ(もてあそぶ、強姦する、物見遊山等のおそび)

慳 ケン

をしむ(惜)やぶさか(吝)吝嗇

慥 シフ
セフ

①おそる(懼)②おびやかす(怯)③おどす(威)おそれ従ふ、おそれふす

慵 ヨウ
シヨウ

ものらし(懶)物臭し、おこたる(怠)

慶 ケイ
キヤウ

①よろこぶ(悦)②いはふ(賀)祝す③よろこび、さいはひ、めでたきこと、幸福④たまもの(賜)⑤語句の發端、あゝほめる(賞美)

慷 カウ

愠に同じ、なげく(歎)いきどほる

感 セキ

うれふ、うれへ(憂)

愠 ヨク

①むさぼる(貪)②得たしと思ふ心、このみ欲する情(愠心)

憂 イウ

①うれふ、なやむ(惱)心配する、悲しく思ふ②病む、妊娠してわづらふ③やまひ、病氣④喪中、忌中

一二畫

億 ハイ

①つかる(疲)②やむ(病)③つかれ極まる、又病み苦しむ

憎 ソウ
ソウ

①にくむ(惡)にくみ、にくしみ、難し、くるし、忌はし
②國訓にく、にくし

憐 レン 憐 憐 憐 憐

①あはれむ(哀)あはれみ、氣の毒に思ふ②いつくしむ(愛)めてる

憑 ロヨウ 憑 憑 憑 憑

①よる(凭)よりかゝる(頼)②つく、鬼神・妖怪等のムリうつること③かちわたり(徒涉)④さかんなり(盛)おほいなり(大)⑤よりどころ、證據

焦 セウ 焦 焦 焦 焦

やす、やせ衰ふ、やつる(斐)つかれ苦しむ

憤 クワイ 憤 憤 憤 憤

①みだる(亂)心みだる②くらきさま、又おろかなる貌

憚 タン 憚 憚 憚 憚

①はゞかる②いみきらふ(忌嫌)③難んずる④おそる(畏)⑤國訓はゞかる(遠慮)はゞかり(恐縮)

敦 タイ 敦 敦 敦 敦

①うらむ(怨)②わるもの(惡人)

憤 フン 憤 憤 憤 憤

①いきどほる、いかる(怒)②うらむ(怨)もたえ③いきどほり④つむ(積)

憧 ショウ タウ 憧 憧 憧 憧

①あこがる②意定まらず、又思ひあまる③おろか(愚)

憩 ケイ 憩 憩 憩 憩

榻に作る、いこう、やすむ(休息)

憫 ビン 憫 憫 憫 憫

①あはれむ、あはれみ(憐)②うれふ、うれへ(愛)

憬 ケイ 憬 憬 憬 憬

①あこがる(憧)②遠く行くさま、遠ざかるさま③さとる(悟)

憊 プ 憊 憊 憊 憊

①ぼんやりするさま、失意の貌②あやしみ驚く貌③めづ、いつくしむ(愛)

憐 レウ 憐 憐 憐 憐

憲 ケン 憲 憲 憲 憲

①あきらか②こころよし(快)③うれふ(憂)かなしむ④のり、おきて(法則)⑤手本、模範、のつとる⑥一國の國體・政體を規定した根本の法律⑦あきらか(顯)あらはす⑧よるこぶさま⑨主要の地位にある官吏⑩さかんなり(盛)⑪とし(敏)

一三畫

憶 オク 憶 憶 憶 憶

①おもふ(念)思念する②おもひ③おぼえる、おぼえこむ、又おぼえ

憾 カン 憾 憾 憾 憾

①うらむ、いましくしがる、のこり多く思ふ②うらみ

① 勤 キン 慇 慇

ねんごろ(懇)ていねい(丁寧)

② 懇 コン 懇 懇 懇

③ ねんごろ、ねんごろに、深切、丁寧④切に願ひ求める時に添へる字

④ 懈 カイ 懈 懈

⑤ おこたる(怠)なまける、油断する⑥おこたり、なまけ

⑦ 應 オウ 應 應 應

⑧ ことたふ、答へる⑨受く、承知す⑩あたる(當)⑪推測の意を現はす詞、まさに——べし⑫皇城の正門⑬むくゆ、又和して起る

① 悞 アウ 悞 悞

なやむ(歎)うれへもだえる

② 悞 エキ 悞

よろこぶ(悦)よろこばす、よろこび

一四一五畫

③ 慇 モン 慇 慇

④ もだゆ、もだえ(困)⑤うれへ、わづらふ(煩悶)

⑥ 悞 ダ 悞 悞

⑦ よわし(弱)⑧いくぢなし、精神があやふやである⑨勇気がない、臆病

① 懲 チヨウ 懲 懲

② こる、こらす③悔い戒める、悔い慎ませる

一六一七畫

④ 懶 ラン 懶 懶 懶

⑤ ものうし⑥おこたる(怠)⑦ふす(臥)

⑧ 懶 ライ 懶

きらふ、懶と混じ用ふ

⑨ 懷 クワイ 懷 懷 懷

⑩ おもふ(思)しのぶ、胸にひめておもふ⑪いだく(抱)ふところす、又ふところ⑫なづく、やすんず(安)親

しみ歸せしめる②わたくし(私)③よこしま(邪)④おもひ、こころ、むね⑤やすんず

⑥ 懸 ケン 懸 懸 懸

⑦ かく(繫)かゝる、つり下げる、ひつかける⑧かゝげる、かゝげ示す⑨遠く隔たる⑩非常のくるしみを形容する語

⑪ 懺 サン 懺 懺 懺

くゆ(悔)くい、今迄の悪いことを悔い改める

一八一九畫

⑫ 懼 ク 懼 懼 懼

①おそる(恐)おちる、危ぶむ、戒め慎しむ(威)おどす(威)おどかす(威)おそれるさま、ぎよつとする

懼 タワン 惶

歎に同じ(悦)よるこぶ(悦)よるこばす

懾 セフ 恟

①おそる(怖)恐れて氣を失ふ(威)おどす(威)おそれさせ

懿 イ 懿 懿

懿に同じ(美)あつし(醇)

戀 レン 戀 戀 恋

①こひ、こふ(思)おもふ(思)したふ(慕)又其情、殊に男女間の愛にいふ

戈部

戈 クワ 戔

①ほこ(古代の武器)いくさ、戦争

一一二畫

戌 ボウ 戌 戌 戌 戌

①つちのえ、十干の第五位、方角にては中央、五行にては土に屬す

戌 ジュツ 戌 戌

いぬ、十二支の第十一位、西北の間の方位、昔の時刻の稱(午後七時より九時迄の間)

戌 ジュ 戌 戌

①まもる(守)邊地を守備す(威)國境の守備、又其兵士、兵營

戎 ジユウ 戎 戎 戎

①兵器の總稱(威)つはもの、兵士、兵卒(威)いくさ、戦争、戦備(威)いくさ車、兵車(威)なかがひ、不和(威)おほいな

三畫

成 セイ 成 成

ジャウ

戈部 成・戎・戌・我・戒

①なる、しとぐ、しあがる、とぐ(遂)さまる(威)たひらぐ、たひらぎ、伸なほり(威)をける(終)②方十里の土地(威)他動詞、なす

我 ガ 我 我

①われ、おのれ(己)わたくし(わが)他の語に冠して用ふ(威)自國又は味方をさしていふ(威)こちら、これ、こなた(威)自説を固守して人にゆづらぬさま、剛情、かたい(威)自分に執着する(威)哲學上にては心的現象の中心となるもの

戒 カイ 戒 戒 戒

①いましめ(警)いましむ、注意する、さとす(威)そなふ(備)②まもる(守)③ものいみす、齋する(威)さかひ(界)④つゝしむ(慎)⑤さとしつぐ(諭告)⑥佛法上のいましめ

四一七畫

𠄎 サン 𠄎

①そこなふ(殘)②やぶる(傷)③すこし、すくなし(少)

或 コク 或 或 或

①あるひは、あるは(未定の意又は想像の意をあらはす)②あやしむ、まどふ(惑)③あり(有)④ある、不定又は未知の物事に冠する語⑤あるひと⑥域に同じ(土地又邦土)

戚 セキ ソク 戚 戚 戚

①いたむ(傷)かなしむ(哀)②うれふ(憂)うれへしむ、心配をかける③したしむ(親)④儀式用の斧⑤親戚、みうち⑥せまる(覺)

憂 カツ 憂 憂 憂

①くひちがふさま(齟齬)②する(躒)③常道④長き矛⑤物の相撃つ聲の形容

八一〇畫

戡 ケキ 戡 戡 戡

ほこ(兩枝あるもの)

戡 カン 戡

①ころす(殺)②かつ(勝)

戡 シフ 戡

①をさむ(職)をさまる、聚集する②止める③いましむ(戒)④かくす

戡 セツ 戡 戡

①きる(切)たつ(斷)②言葉の巧みなること③物事の明瞭なるさま

一一一四畫

戡 リク 戡 戡

①つみ(刑罰)②ころす(殺)③さらす、死骸をさらす④はづかしむ(辱)⑤勁に同じ、力を一つにする、あはす

戰 セン 戰 戰 戰

①たゝかふ、たゝかひ、いくさ、争ひ②たゝかはす、競争する③おそる(懼)おのゝく(慄)④そよぐ、ゆれる

戲 ギ キ 戲 戲 戲

①たはむれ、たはむる、興じ遊ぶ、もてあそぶ、なぐさむ②戯に通ず③かたむく(傾)④廳に同じ、はた、大將の旗⑤歎息の聲、あゝ⑥遊技、芝居

戡 タイ 戡 戡

①いたゞく②のす(載)頭の上にのせる、物の上にのせる③あたひ(値)④尊び敬ふ、又あふぐ⑤賜物を受く⑥國訓いたゞく(恭しく物をさゝぐ、ある事をして貰ふ意の敬語)

戸部

戸 コ 戸 戸 戸

①と、とぐち、かどぐち②とびら、又室の出入口③おま、へや④いへ、(家)⑤家の敷をかぞへる語⑥家毎に、こゝとに⑦とゞむ(止)⑧酒をのむ分量を示す語

四畫

辰 レイ 辰辰辰

①もとる(很)道理にそむく(と)とむ(止)②さだむ(定)さだまる、平定する③いたる(至)④しへたぐ(虐)⑤むさぼる(貪)⑥まがる(曲)⑦つみ(罪)とがめ(罰)⑧國訓もどる、もどす、歸る、返す、もと通りになる

房 ハウ 房房房

①へや(室)いへ(家)住居(す)集(ふ)ふき(糞)花又は果實などの一つに群り集りたるもの、又その形をなしたるもの②やづ(矢)を入る(器)③東南にある星の名、二十八宿の一④まないた(祖)⑤國訓ふさ(糸を集め一端を散ぜし物)

所 ソ ショ 所所所

①ところ(動詞・形容詞の上に添へて語勢を強める動詞)②らる、せらる③ばかり(許)ほど(程度)④無意味の

助辭(ゆゑん(所以)ゆゑに)いはゆる(所謂)チあらゆる(凡有)①いくばく(幾所)幾何

五一八畫

扇 ヘン 扇扇扇

①ひらたし(平)②ひくし(卑)③門戸にしるすはりふだ、門牌、表札④まるし(圓)⑤ちひさし(小)

辰 イ 辰

飾りのあるついたて(天子が諸侯に對面するとき後にたてしもの)

扇 セン 扇扇扇

①あふぎ、うち(團扇)②あふる、そよのかす(峻)あふぐ、あふつて風を起す③とびら(扉)

扈 コ 扈扈扈

①君主につきしたがふ、君主のおとも②竹のやな(水中に置いて魚を捕ふる器)③我まゝを振舞ひて上をあなどる④桑扈は鳥の名、鳩の類

扉 ヒ 扉扉扉
とびら、ひらき戸



手 シユ シウ 手手手

①て(上肢)てのひら、たなごころ(て)

才 サイ 才才才

①ざえ、はたらき(能力)たち(質)②はたらきある人、すぐれたる人③織に通ず、わづかに④異に通ず、はかる、とりきめる⑤國訓さい、ますめの稱(与の十分の一)材木の長さ又容積の單位⑥年齢の歳の字に通じ用ふ

二一三畫

打 テイ 打打打

①うつ(撃)たく(扣)②動詞の上に置く無意味の助辭③および(及)④英語のダース(Dozen)の音譯(十二個一そろひの稱)

扛 カウ 扛

①あぐ(舉)もちあぐ②兩人にて一物をかゝへあぐ(抱揚)

扞

カン

扞

①ふせぐ(拒)②まもる(衛)③あたる、抵觸する④つかへる(伎)⑤槍のいしつき⑥てこ(横杆)

扣

コ

扣

①たく、うつ(撃)②ひかふ、ひく(牽)③ひき止める④ぼたん(鈕釦)⑤さしひく(差引)⑥國訓ひかふ(控)

四畫

扮

ブン

扮

①かきまぜる(混和)②あはす(合併)③いでたつ、いでたち(扮装)

扱

サフ

扱

扶

フ

扶

①手をつく、敬禮の時手を地につける②はさむ(抑)③あつかふ、あつかひ、世話をやく、とりさばく、又當惑すること④をさむ、とる、こく、しごく、むしり離す

批

ヘイ

批

①たく、力をかす、すくふ、介抱する②たすけ③たすけらる、たよる④美に通ず⑤おほかせ(強風)⑥木の名(扶桑)⑦昔の尺度の名⑧はらばふ(匍匐)

抵

テイ

抵

①うつ、側から撃つ②いたる(抵)

扞

アク

扞

①おさふ、とりひしぐ②おさへる③くびき

承

ショウ

承

①うく、うけ頂く②うけたまはる、うけつぐ③たすく、たすけ(丞)④さゝぐ(捧)⑤物の順序⑥すくふ(拯)⑦國訓うけたまはる(聞くの敬語)

技

ギ

技

①わざ、てわざ②たくみ(巧)③巧みなるわざ④うてまへ、はたらき(能力)

拵

ベン

拵

うつ、喜んで手をうつ(拍手)

抄

サウ

抄

①作る②とる、掠め取る③すくふ(掬)④うつす(騰)⑤書き抜く⑥寫し又は拔萃⑦すく(漉)

扱

ケツ

扱

①名ぐる、くじる②かきむしる、あばく(發)

把

ハ

把

①とる(執)にぎる(握)にぎり、握つた程の太さ②とつて(把手)器物の柄③ゆづか(肥)④たば(束)又束ねたるものを數へるにいふ

抑

イヨク

抑

①おさふ、おす(壓)②とどめる(禁遏)③へりくだる、又おとす(貶)④つゝしむ(愼)⑤つゝしむ⑥反對の意を現はす接續詞、そもく、そも⑦文意を改める時の助詞、しかし、しかも⑧發語の辭

扞

チヨ
シヨ

扞 扞 扞

①のぞく(除)ゆるむ(除)のぶ(陳述)

杯

ハイ
ホウ

杯

①すくふ(掬)②國訓など(等)

投

トウ

投 投 投

①なげる、なげうつ(擲)すつ(棄)②おくる(贈)③あふ、適合させる④とどまる(逗)⑤はこぶ(運)⑥たちよる、身を落ちつける⑦水死(投身)⑧文章のよみきり(句讀の讀)

抗

カウ

抗 抗 抗

①あぐ、あがる(舉)②あたる、反對す、はむかふ③河等の地位を保つ

折

セツ

折 折 折

①をる、たをる、まぐ、やぶる②くじく(挫)ひしぐ、意氣沮喪す、人の過失をせめる③まがる(曲)まげる④おさふ(抑)⑤さだむ(斷定)取捨する⑥はやじに(天逝)わかじに⑦土地の神を祭る所の名⑧父より子の死をいふ⑨商賣上の缺損⑩やぶる(破)⑪國訓をり(機會、ひたすら、食品を詰める箱)をれ(物の半分、斷片)

五 畫

披

ヒ

披 披 披

①ひらく(開)開發す、あける、打あける、緋く、露はし示す②わかつ(分)③さく(裂)ばらばらにす④なびく(靡)⑤からむる(被)衣服を著る

抱

ハウ
ホウ

抱 抱 抱

①いだく(懷)だく、かゝへる②心にいだく、考へ、むね(胸)③ひとかゝへ④もつ(持)とる(執)有する⑤心に思ひこむ⑥國訓かゝふ、かゝへ(家來にする、雇入れる、又その者)

抵

テイ
シ

抵 抵 抵

①ふる、觸れをかす、さからふ、ふせぐ、こぼむ②おす(擠)③あたる(當)④いたる(至)⑤なげうつ(擲)⑥おほむね(大凡)たいがい(大概)

抹

バツ
マツ

抹 抹 抹

①ぬる(塗)なする、こする(摩)②ぬりけす、削る③こ(末)こな、粉末

手部 抱・抵・抹・抽・押・拂

抽

チュウ

抽 抽 抽

①ひく(引)引出す②ぬく(抜)③のぞく(除)④をさむ(收)⑤植物が發芽する

押

アツ

押 押 押

①おす(壓)おしつける、判をおす、詩賦を作るに韻字をふむ②あづかる(管)③かきはん(書判)④おさふ(按)おさへつける、檢束する⑤國訓おし(無理におしつける)おす(我意を張り通す、おもみ)壓力

拂

フツ
ホツ

拂 拂 拂

①はらふ、打ちはらふ、はたく②はらつた如く無くなる、缺亡する③横ざまにさつと通過する貌④夜が明けるともとの(拂)そむく⑤たすく(蠅)⑥蠅などを追ひはらふ具⑦國訓はらふ、はらひ(追放、金錢の支拂、貨物を賣渡す)

挂

シユ・チユ
チユウ

挂

さふ(支)さふ

拆

タク

拆

①ひらく(開)さく(裂)われる②やぶる(毀)こぼつ、解散する

拇

ボウ

拇

おやゆび(拇指)特に足の大指

拈

ネン

拈

①ひねる(捻)つまむ(抓)②つまむ(摘)

拉

ラフ

拉

拈

フ

拈

①くじく(挫)ひしぐ(折)くだく(推)②ひく、ひつばる、捕へて引き来る③まねく(招)

①うつ(拍)軽く打たく②なづ(撫)なでやすんずる③物のつかみどころ、とりて(把手)つか(柄)④つく、手を物に著ける

抛

ハウ

抛

なげうつ、又うつ、棄擲、投棄(抛擲)

拍

ヒヤク

拍

①うつ(搏)たく(拍)手のひらを打ち合せて音を出す、手で物をうつ②楽曲のひやし③あばら(膊)に同じ

拈

カイ

拈

①物の幹體より分岐せるもの(手・足・枝など)②かたむ、人を欺きたぶらかす③かどはかす、人をたぶらかして誘ひ出す④つえ(杖)

拒

キヨ

拒

①ふせぐ(禦)②こぼむ、きよいれぬ、ことわる、反抗する③ふせぎ、又防ぐ人④あたる(抵)⑤脛の横にあたる節⑥方形(矩)又方形の陣

拓

タク

拓

①おす、手でおしつける②ひらく(斥)ひろげる③する(揚)石ずりにす

拔

ハツ

拔

①ぬく(抽)ぬきとる(擢)のぞく(除)城を攻め落す②人を引上げ用ふ③はやし、とし(疾)④放れ出る、ぬきんで聲ゆ

拗

アウ

拗

①をる(折)くじく(挫)②ねづ、まぐ(曲)③すねる、我意を張る、しつこい

拘

ク

拘

①かふふ、かふへこむ(擁)②とらふ(執)つかまへる③とらはる、つかまる、囚はれる④かまはる、なづむ⑤國訓かまはらずと打消して反對の結果を生じたる意を表はす語

拙

セツ

拙

①つたなし、まづい、へた、又つたなきこと②自己、又自分の事に附する謙辭③國訓つたなし、不運、卑怯

招

セウ

招

①まねく、招き来らしむ、もとめる、めす(召)客を饗應す②まねき③あく(擧)指摘す、かゝげあげる④ほどす(絆)しはる、繋ぐ、羈束す

拜 ハイ 拜 ねお

①をがむ、かどむ、ぬかづく、又その禮口をがみ、おじぎ②官を授く③いたゞく、ありがたく思ふ④或る語の上に添へて敬意を示すに用ふ

六 畫

括 クワツ 括 括

①くゝる、くゝりむすぶ、まとめる、ひきくめる②あふ(會)よりあふ③いたる(至)きたる④はず(管)やはす⑤とりしまる⑥むすぶ、髪をゆふ(髻)

拭 シヨク シキ 拭 拭 拭

①ぬぐふ、のごふ、ふく、よごれを取る②罪過を清め去る③きよむ(清)④しづか(靜)

拈 ケツ キツ 拈 拈

①はたらく、手口共にはたらく②貌口手を舉げて持つ③する(轆)④せまる(逼)

拵 キョウ 拵 拵 拵

①こまぬく②もつ(持)とる(執)③ひとかゝへ④大なる⑤手を下さぬ、何事もせぬ⑥兩手で持つ程の太さ

拳 ケン 拳 拳 拳

①こぶし、げんこつ②にぎる(握)かどむ(屈)③うれふ(憂)④をしむ(愛)⑤ねんごろ(懇)又そのさま、うやうやし(恭)まごころある貌⑥さゝげもつ⑦ちから(力)ゆみ(弓)⑧こぶして格闘する武技、又けん(一種の座敷遊技)

拵 ソン 拵

①よる(據)すわる②さしはさむ(挿)③國訓こしらへ、こしらふ、つくり

撈 サツ 撈

①せまる(逼)②挨拶はおしひらく、又國訓をしゃく

拷 ガウ ゴウ 拷

①かすむ(掠)②うつ(罪狀を白状さす爲めにうつ)

拾 シフ ジフ 拾 拾

①ひろふ②とを、と、十に通ず③ゆくて

拵 ケツ ケイ 拵

持 チチ 持 持 持

①もつ、にぎる(握)手に取りもつ②たもつ(保)まもる(守)③もちこたへる、支へる④もち、勝負なし、優劣なき貌⑤國訓もつ、もち、所有す

拵 クワイ ケイ 拵

①かく、かゝる(掛)ひつかける②わかたつ、かざる(劃)分明にす

指 シ 指 指 指

①ゆび、手足のゆび②さす、ゆびさす、ゆびを向けてさし示す、教へ知らせる、さしづをする③むね(旨)④こゝろもち、意向、わけ、意味

拵 ケツ ケイ 拵

①さぐ(提)ひつさぐ②とよ(整)③板に書きし文書の名、又てがた

按 アン 拵

①おさへる(抑)ひきとめる、抑止す②なでる(撫)なでさする③しらべる、たゞす、罪人又は悪事を檢舉する、巡察する④考へる(案)

拵 弄の 俗字 拵 拵

國訓かせぐ、はたらく、家業につとむ

格 カク 拵

①うつ(格)手で撃つ②たゝかふ(闘)

拵 カウ ケウ 拵

①古く校の字に代用す(但し學校の校は別)②はかる、彼と是とをくらべる、計算する、はたらきや才能を調べて優劣をつける

挑 テウ 挑 挑

①いどむ、しかける、誘ひ起す②たはむれかゝる、情慾を發作させる③もてあそぶ(弄)④かゝぐ(搦)

撈 國字 撈 撈

むしる、ちぎりとる、ちぎり離す

七 畫

揆 アイ 揆 揆

①ひらく(排)おす(推)おしひらく、傍へ排する②せまる(逼)ちかづく(近)③うつ(擊)背をうつ

揆 ザ 揆 揆

①くじく(折)くだく(摧)折れる②はづかしむ(辱)③勢力を抑へ弱める、辱めへこます④くじける、くじかる

振 シン 振 振 振

①ふるふ(奮)ふるひおこる、盛んになる、震動させる(動)をのゝく(戰)②はらふ③ひらく(發)④やむ(止)⑤をさむ(收)⑥ふるし(古)⑦群り飛ぶ貌⑧心あつし(仁厚)⑨盛んなる貌⑩ひとへのきぬ(疹)⑪とよ(整)⑫にぎはす(賑)

拵 イフ オフ 拵 拵

①とる(執)とり出す②くむ(酌)③こまぬく(拵)④おさふ(抑)しりぞける(退)

拵 テイ 拵 拵 拵

①引きだす、脱出する②ぬく(抜)ぬきんづ(抽)進み出る、先に出る、すぐれる③なほし、たゞし(直)まつす④ゆるやか(寛大)⑤はしる(走)

挽 バン 挽 挽

①ひく(引)引ける②前より引きて進める③車をひく、死者を葬るとき其柩を牽き送る④國訓ひく(鋸で材木を割る、ろくろで器物を作ること)

揆 ケフ セフ 揆 揆 揆

①はさむ、さしはさむ、はさみ持つ②もつ(持)おびる(帶)③たすく(輔)④恃みほこる⑤わきばさむ、こわきに抱へる⑥あまねし(浹)⑦十千の周期、十日⑧めぐ(匝)

揆 挿の 俗字 揆 揆

揆 ク キウ 揆

①もる 土を籠に盛る ②細長いさま ③すくふ(救、古く救に用ゐらる) たすける

捉 サク
ソク 拵

①とる(把)にぎる(握) ②とらふ(捕) ③拵め捕へる ④及ぶ、おひつく

拵 ラツ
ラチ お

とる、指さきでつまみとる

捌 ハツ
ハチ 捌 捌

①やぶる(破)わかつ(分)うつ(撃) ②数の八に借り用ゐる ③國訓さばく、さばき(賣りこなす、裁判、打とける、とき分け整理す)さばける、わかる

捍 カン
カン 捍

扞に同じ ①ふせぐ(拒)まもる(守) ②ゆこて(弓を射るとき左臂に掛くるもの) ③たけし(猛)はげし(烈)

捏 デツ
ネツ 捏

①こぬ、こねる、ねりませる、捻聚 ②無根の事を作りなす

捐 エン
エン 捐 捐 捐

①すつ(棄)すてる ②失ふ、のぞく(除) ③救助の爲に自分の物品を差出す、官位を得る爲めに金錢を政府に納める

捕 プ
ホ 捕 捕 捕

とらふ、とる、取つて手に入れる、賊又は罪人をつかまへる、召とる

抄 チョク
ホ 抄 抄

①はかどる、はかどらす、はかゆく ②をさむ、收斂する ③うつ(打)

八 畫

拵 ホウ
ホウ 拵 拵

①さむぐ ②両手で物を承ける、かゝへる(抱) ③だく ④奉に同じ

捨 シヤ
シヤ 拵 拵 拵

①すつ(棄)さしおく ②神佛の爲めに金品を出す ③心に徳念のなきさま

振 レイ
レイ 振 振 振

①ばち(撥)琵琶を鳴らすもの ②ねづ、ねぢる、ねぢれる (拗) ③をる(折)さく(撕) ④もとる(戻) ⑤國訓ねぢ、螺旋

捫 モン
モン 捫

①もつ(持)撫で持つ ②ひねる(捻)ひねりつぶす ③なづ(撫)さする

据 キヨ
キヨ 据

①はたらく、口と手と共に動く ②手の病 ③よる(據) ④もつ、舉げ持つ、又手がつかれる ⑤國訓すう、すゑつける(神佛に物をそなへる、灸を灼く)

捲 ケン
ケン 捲 捲

①まく(卷)をさむ(收) ②いきほひ(勢) ③こぶし(拳) ④ほね折るさま

捷 セフ
セフ 捷 捷 捷

①はやし(速)②かつ、戦ひにかつ③かち、勝利、分捕品④はやし、すばやし⑤挿に同じ、さしはさむ⑥ちかし(近)

捺 ダツ ナツ ナチ

①おす(押)手で押しつける②とる、とらふ(捕)③書法の

捻 デフ デツ ネン

①よる(搓)②ひねる(捻)おさふ(按)

粹 ソツ

①もつ(持)手に取る、とりおさへる②つかまへる、捉へる③あたる、ふる(觸)

拵 ケン ケン

①あぐ(擧)手で高くさしあぐ②そびゆ(聳)そばだつ(峙)

掃 サウ

①はらふ、はく、はらひ清む②すつ(棄)③こする、する(刷)なする

拵 ロン リン

①えらぶ(擇)②つらぬく(貫)

掇 ダツ テツ

①とる(取)ひろひとる(拾取)かすめとる(掠略)②けづる

授 ジュ

①さづく、あたふ(與)あてがふ、つたふ(傳)おしへる(教)②さづけ、さづかり

掉 テウ タウ

①ふるふ、振ひゆるぐ、ふるひ動かす、をのゝく②ただす(正)整頓する

拵 ホウ フ

①とる(把)かき取る、握りとる、食りとる、租税をとる②あげる③うつ(擊)④さく(剖)⑤たふす、たふる(仆)

掌 シヤウ

①つかさどる(主)やくめ、つとめ②になふ、負荷③たなごゝろ(掌心)たなごこ、てのひら(掌中)④うつ、手のひらで打つ⑤動物の足のうら

掏 タウ

①とる(扞)する、すり取る(他人の懐中物などを抜きとり盗む)②えらぶ(擇)手さぐりに物をとる③くじる(扶)

排 ハイ

①おす、おしひらく②しりぞく(斥)おしのか(擠)③ならぶ、ならび(列)順序よく並べる④ふいがう(輔)

掖 エキ

①わき(腋)わきばさむ(挟)挟みもつ②わきのした(臂下)衣服のわきの下(やつぐち)③たすける、善導する④宮殿の附属營造物、轉じて宮廷

掘 クツ コツ

①ほる、うがつ(穿)②ひとりぬきてる(特起)③いはや、あな(窟)

掛 クワイ ケイ

①かく、かゝる(挂)ひつかける(國訓)かゝり、かゝる、かけ、うちもち(事務の擔當)いりめ(入費)手はじめ(著手、端緒)かけうり、かけね、かぶせる

採 サイ 採採採

とる(取)手にとる、つまみとる(摘)えらぶ(選擇)收め獲る、取り出す

採 タン 採採採

①さぐる、さがす(搜)もとめる(索)たづね究める(とる)取)うかゞふ、おしはかる(さぐり、さぐる人、しのび

掣 セイ ヒツ 掣掣掣

①ひく(曳)ひきとむ、とどめて自由を得させぬ、制御す(引)引き寄せる、掲げ取る、抜く、縮む

接 セツ 接接接

①まじはる(交)あふ(會、合)うく(承)つゞく(連續)②ちかづく(近)となる(むかへうつ)遊撃)すみやか(捷)③かつ(克)④さしはさむ(挟)⑤もてなす、あしらふ⑥つぐ、つき合せる

控 コウ 控控控

①ひかふ、ひかへる、引とむ(止)②つぐ(告)告げ訴ふ③なぐ(投)④うつ(打)⑤のぞく(除)ひく(引)⑥國訓ひかふ(暫く待つ、座を構へる、書きとめる、うちには見る、遠慮してさし出ぬ、別に設ける)ひかへ(副本)

推 タイ スキ 推推推

①おす、おし進める、おしおとす、排擠、うつす、おしやる、進め與へる(奉)ずる、あがめる(きはむ)究)たづぬ(釋)②なじる(詰)おしうつる(變遷)③おしはかる(想像)④ほめる、選上げてすゝめる、奨めたゝへる(國訓)おす(語勢を強める助詞)おして(強ひて)

掩 エン アン 掩掩掩

①おほふ(蓋)おほひかくす、おしかくす(をさむ)斂)②さへざる(遮)③かばふ(匿)④不意に襲ひ取る(賭博の一種)せにうち)⑤なてる(撫)めぐむ(恤)恤みかばふ(とづ)閉)⑥おなじ(同)

措 ツ 措措措

①おく(置)②とりはからふ、用ふ③さし置く、やめる、廢す④ふるまひ(動作)⑤すゑおく、其のまゝ、其のまゝにしておく、用ひぬ、又せまる(迫)はさむ(挟)⑥さす(刺)⑦古く錯に通ず

九 畫

掬 キク 掬掬掬

①すくふ、むすぶ(結)兩手でしやくふ、手に盛る②左右の手に満つる程の量、片手に一ぱい、又兩手に一ぱい③はなる(難)④一升の量

掾 エン 掾掾掾

①よる(緣)②小役人、屬官③國訓じやう(丞に通ず)官名、國司

揀 カン 揀

えらぶ(擇)選拔する

揃 セン 揃揃揃

①ぬく(抜)②きる(窮)はきみきる③しるし(驗)④つらぬく(貫)とし(銳)⑤國訓そるふ(完備、整齊)そるひ(まとまりし)其の全部、一組、一具)

揄 ユ エウ
イウ 搯

①ひく(引)ひきずる②からかふ、あざける(嘲)③米を白より上げる④鶴を畫きたる婦人の衣服⑤ほめそやす

揅 揅 揅

①はかる(度)はかり知る②のり(法)みち、法度③つかさ(官)④人民が徒黨を組み起す暴動

採 シウ 採 採

①もむ、やはらぐ(柔)手でのべる②亂れまじる③手でひねり柔げる、柔順ならしめる、ためる、木を矯める④國訓もめる(もめ事)

揚 ヤウ 揚 揚 揚

①あぐ、あがる、高く上る、名高くなる、盛んになる、立派に目だつ、激する②満足する貌③ほめあぐ(稱揚)④をの、錢(浙江・江西・福建の諸省)

換 クワン 換 換 換

①かふ(易)とりかふ、交易、改め變へる②かはる(變)入りかはる、あらたまる(改)うつりかはる(變遷)

握 アツ 握

ぬく(抜)ひきぬく

握 アク 握 握 握

描 ベウ 描 描

ゑがく(畫)うつす、形狀を寫しゑがく

提 テイ 提 提 提

①さぐ、ひつさぐ、手にさげ持つ、率ある、ひきおこす、掲げしめす、表はし出す、もち出す、すべくゝる②鼓の名③なげうつ(抛擲)④鳥の群れ飛ぶ貌⑤掲げ示す⑥ゆつくりとした貌⑦星の名⑧論理學上表示する名目

插 サフ 插 插

挿の本字①さす、さしはさむ(挾)さしこむ、かざす、かんざしにす②すき(鑿)

揖 イフ シフ 折 揖

①兩手を胸にあてる、手を拱いて上下或は左右にする(禮法の一)②あつむ(輯)あつまる(聚)又そのさま

揣 シ スキ 揣 揣

①にぎる、にぎりもつ、握り持つ②にぎりこぶし(拳)③手をとる、しめる(占)自由にす④にぎり、一にぎり程の量又は大きさ、にぎり持つところ

措 カイ カツ 措

①はかる(量度)又そのこと②ためす(試)推量する、考慮する、さだむ(定)③のぞく(除)④聚まるさま

掲 ケツ ケイ 掲 掲 掲

①ぬぐふ(拭)けす(消)②たゞ、うつ③かゝぐ、高くあげる④おふ(負)⑤かゝげしめす⑥か

揮 キ 揮 揮 揮

①ふるふ、ふる(振)ふるひ示す②ちらす(散)③書畫をかく④さしづ(指揮)又その旗⑤そよぎ棄つ

援 エン 援 援 援

①ひく(引)ひきあく、引とる②たすけ、たすく(助)すくふ(救)又その者③つかまひたよる、よづ(要)

擲 ヤ 擲

擲に同じ、からかふ

一〇畫

搯 コウ 搯 搯

ひく(引)ひつづる、搯とは別字

損 ソン 損 損 損

①へる(減)少くなる、かく(缺)②うしなふ(失)けづる(削)③つかる(疲)④へりくだる(遜)⑤そこたふ(傷)いたむ、こはれる⑥暴の卦の名⑦國訓そこなふ、そこねる、そんじる、外れる、失敗す、人の氣をわるくす、機會を失ふ

搯 ヘク 搯 搯

①うつ、手にてうつ、なぐる(毆)②とる(取)つかみとる③とらふ(捕)

搯 サウ 搯 搯 搯

①かく(抓)ひつかく、ひきこはす②さわぐ(騒)さわがす、さわがし③國訓かく(爪)でひつかく④上に冠らせて勢ひを強める助動

揺 エウ 揺 揺 揺

①うごく(動)ゆるぐ、物がゆらく動く、おちつかぬ②うごかす、又動く貌

搯 タウ 搯

①つく、かつ(縛に同じ)②國訓かてる(つけ加へる意)

搜 シウ 搜 搜 搜

①さがす、たづねる、もとむ、さぐる②みだる(亂)

搯 シン 搯 搯

①はさむ、さしはさむ(挿)②ふるふ(振)

搯 タイ ツキ 搯

①うつ(擊)たまく②なげうつ(擲)③搯にてうつ

搯 チヤク、ヂョク、タク 搯 搯

①とらふ(捕)とる(取)又そのこと②おさふ(按)③國訓からむ、捕へて轉る

搯 トウ、タフ 搯

①する(摺)うつす(寫)しきうつす、碑文や法帖などを石ザリにする②しきうつし、又石ザリの類

搯 ハン 搯

①のぞく(除)はらひのく②うつす(移)はこぶ(運)

搯 タフ、トフ 搯 搯

①つく(附)②かく(挂)ひつかけける③のす(載)のる(乗)

搯 ケン 搯

携

携の俗字

携 携

①とる(取)②ぬく(抜)ぬきとる

擗

サ

擗

しぼる、しぼりとる、おして汁をとる

一一畫

擗

カククワク

擗

①うつ(打)②國訓つかむ(擗)握り持つ

摘

タクテキ

摘 摘 摘

擗

ロウ

擗

①つむ、つまむ②指し示す③ひろふ(拾)④あばく(發)⑤えらぶ(選)

ひく、ひきあつめる、引張る

擗

サイ

擗 擗

①くじく(擗)くたく(折)碎き折る、他の勢力をひしぐ②はゞむ(沮)③いたる(至)④ほろぶ(亡)傷み害ふ⑤まぐさ、又まぐさかふ(萃)⑥心に思ひ悲しむ

摩

摩 摩 摩

①する(擦)こする、みがく(研)②ぬぐふ(拭)③おしはかる(搦摩)④せまる(迫)ちかづく(近)⑤及ぶ、匹敵す⑥なでさする⑦すりへらす、消滅

擗

セキ

擗

とる、ひろふ(拓)ひろひとる

摯

シ

摯 摯

①いたる(至)来る②きはむ(極)③にへ(贊)進物④すすむ(進)⑤たけし(猛)⑥まこと(誠)ねんごろ(懇)

擗

タンセン

擗

①まるむ(圓)手にて圓くす②よる(寄)③にぎる(握)恣にす④もつばら(專)

摸

バクボ

摸

摸

①さぐる(探)さがす(搜)②まねる(摹)

摹

モ

摹

摹

①のつとる(規)ならふ(倣)まねる②うつす(寫)摸に同じ

摺

セフ

摺

摺

擗

サン

擗

①たゞむ(疊)をる(折)紙を折りしもの②ひだ(皺)しわ③くじく、をる(拉)④國訓する、印刷する、こする

標

ヘウ

標

標

①うつ(擊)とさす(閉)②おつ(落)③むねをうつ(憂)ひ苦む④さしまねく(摩)⑤きつさき(刀の末)⑥標に通ず

擗

ラウ

擗

一二畫

擗

レウ

擗

とる(水中に入りて物を取る)又鉤にかけて物をとる

擗

サツ

擗

擗

①ちる(散)まく、ちらす②はなつ(放)
撓 ダウ
タウ

③みだす、みだる(亂)やぶる④たゆむ、たわむ、まげ
る(曲)⑤よわる(弱)⑥正當ならざること

①ひつさぐ(提)②さく(折)ひきさく
撻 セイ
レイ

①ひねる、よる(捻)よりをかける、斜めにかはす状態
②にじる、ふむ(蹙)
撻 デン
ネン

①さす、さしまねく(摩)②ふるふ(撻)
撻 キ
キ

①まく(蒔)種子を蒔く、まきちらす②しく、布き及ぼ
す③すつ(棄)④のがる(通)さすらふ⑤のぶ、のべる(舒)
⑥あふる(簸)⑦うつる(選)

①とる、つまむ②つまみ、一つまみ程の量、小量③ま
すめの名(今の一升の千分の一)④あつむ(聚)⑤國訓と
る(寫眞にうつす)つまみ(摘む所)
撻 サツ
サツ

①えらぶ、著述する、詩文などを作る、又述作、編纂
著作物②そなふ(具)③のり(則)④こと(事柄)⑤もつ
(持)⑥選に通じ用ふ、えらぶ
撻 サン
セン

①うつ(撃)たく、うち合ふ、なぐりあふ②ぶつかる、
あたる③つゑ(杖)むち(鞭)④ほろぼす(滅)⑤相撲はす
まふ、角力
撻 ハク
ボク

手一 部 擗・撰・撰・撻・撻・撻

①つく、つき當る②叩く、うつ(撃)
撻 テツ
テツ

①すてる、のぞく(除)とりのける②ひらく(發)③はぐ
(剥)④すたる(廢)

①をさむ(治)②のぞく(除)すてさる③そる(反)④ひら
く、はねひらく⑤ばち(樂器の絃を鳴らす器)⑥たて(大槓)

①なづ、さする(験)②いたはる(勞)なぐさむ(慰)ぬき
らふ③したがふ(循)④よりかゝる(凭)⑤うつ(拍)た、
く⑥やすんず、しづめる
撻 フ
フ

①ハハン
撻 ベン
ベン

①うつ、うたれる、むちうつ②はやし(疾)③はげます
(勵)

①うごかす、平和を破る②うごく(動)ゆるぐ
撻 カン
カン

①みる(觀察)さがす(探)かんがへる(考)しらべる(校)
②拘留する、とらへる③とりしまる、局限する、制御
する(檢に混用す)
撻 ケン
ケン

①ヨウ
撻 ヨウ
ヨウ

一三畫

①いづく(抱)かへる、もつ(持)とる(執)とりかこむ
②まもる(衛)たすける(助)とりかこむ(護)ふさぐ(遮)さ
へざる(遮)さへる

擗
ロ

かすむ(掠)う(獲)

擗
セン
擗 擗 擗

①ほしいまゝ(專)わがまゝ、氣まゝ、勝手(恣)ほしいま
まに、思ふまゝに(恣)ほしいまゝにす、思ふまゝに行ふ

擗
タク
擗 擗

①えらぶ、すぐる、えりぬく(選)えりわける、善惡の區
別を立てる

擗
ケキ
ゲキ
擗 擗 擗

①うつ(打)たく(撲)なぐる(斬)ころす(殺)せむ(攻)
②やいば(銃刃)男かんなぎ(詰)り實める(あてる、射る)ぶつかる、あたる、抵觸する(目にとまる)

擗
ソウ
擗 擗 擗

①とる(把)もつ(持)にざる(取)あやつる、はたらかせ使
ふ(用)みさを、志行をかたく執つてかへぬこと(執)おもむ
き(風調)琴曲の名(調)國訓あやつる、絲や機械の仕掛
で物を活動させる、人を程よくあしらふ、あやなす

擗
ケイ
擗

あぐ(擗)さぐ(擗)高くもちあげる、たむ(擗)ゆだめ
(弓をため直す)

擗
キン
擗 擗 擗

①とらふ(捕)とりこにす、いけどる(捕)とりこ、捕虜
俘囚

擗
タン
擗 擗 擗

①になふ、肩に物をかつぐ(擗)肩をもつ、味方す(身)に
つける(擗)ひきうく(擗)國訓かつぐ、になふ、あざむく

擗
ハク
ヘキ
擗 擗

①おやゆび(擗指)おほゆび(擗)つんざく、さく(擗)最
もすぐれしもの

擗
キヨ
コ
擗 擗 擗

①よる、たよる(擗)構へる、たてこもる(擗)おさふ(按)たのむ(依託)よりかゝる(擗)よりどころ(根據、證據)やすんず(安)ひく(引)ひき合ひに出す、援引する(援)ふせぎまもる(拒守)國訓よんどころ

一四畫

擗
セイ
サイ
擗 擗 擗

①おしおとす、おとせいる(陷)排斥す(擗)おち
いる

擗
ダイ
ダイ
擗

もたぐ、あぐ(擗)もちあげる

擗
タク
テキ
擗 擗 擗

①ぬきんづ(抽)ぬく(抜)ぬき出す(擗)ぬき出して用ゐる、
ぬきんでらる(擗用)選抜される

擗
タク
トウ
擗

①うつ(擗)たく(敲)きづく(築)つきつきやぶる
②米をしらげる、うすつく(舂)

擦 サツヤ
擽 擽
擽 擽
する、こする、なてる

擽 キョ
擽擽擽

擽の本字①あぐ、高くさしあげる、もちあげる、ひきあげる(登用)あげる、掲げ出す、發する、攻めとる、とりあげる(没収)まうける、産む、御馳走をたべる、ものいふ、こたへる、言ひたてる、列べたてる②くはだて(計畫)③みな、こぞつて、残らず④あがる、のぼる、行はれる、盛んになる、飛び立つ⑤ふるまひ、そぶり⑥用ゐられること、又覆て用ゐること

擬 ギ
擬 擬 擬 擬
①おしはかる(推測)②あてがふ(適用)なぞらふ、かたどる③まがふ、似る、ならぶ、爲さんとする勢を示す貌

擽 ヒン
擽 擽
①しりぞく(斥)のけものにする②みちびく(懐に通ず)お客を案内する

擽 カク
擽 擽
①おく(置)ましく②のす(敷)

一五畫

擽 テキ チャク
擽擽擽
①なげうつ、なげつける、なげやる、なげすてる②ふる(振)③國訓なぶりた、く、撃打する、そのこと

擽 ククク
擽擽擽
ひろぐ、ひろむ、廣くする

擺 ハイ
擺 擺

擾 ゼウ
擾 擾 擾
①ひらく(發)おしひらく(排)②さげふり、ふりこ(振り)

攪 カン
攪 攪 攪
①みだる(亂)さわがしくなる、亂雑になる②みだす、かきみだす③ならす(馴)④やすんず(安)⑤やはらか(柔)やはらぐ、すなほ(順)

攀 ハン
攀 攀 攀 攀
①よづ、下から上へつかまりのぼる、すがりつく、とりつく②ひく(引)

攄 チョ
攄 攄
①のぶ(舒)②しく(布)

一七一八畫

櫻 エイ
櫻 櫻

攘 ジャウ
攘 攘 攘 攘
①せまる(迫)ちかづく(近)ふる(觸)

撮 セフ テフ
撮 撮 撮
①ぬすむ(盜)他人の所有物を我有とする②はらふ、おひのける③みだす、みだる(亂)④ゆづる(讓)

攝 セツ
攝 攝 攝
①ととのふ、をさむ、整理(身づくろひする)②たたく(佐)③やしなふ(養)④せまる(切迫)⑤かね(兼)⑥かりにその事を行ふ、代理する⑦おそる(恐)⑧かまぐ、ひきあげをる(裾をまくる)⑨代理、兼職⑩むすぶ(結)⑪やすんずるさま

一九一二畫

攪 サン 攪

①あつまる(聚)むらがる(簇)②あつむ

攪 カウ カク 攪 攪

①みだす、みだる(亂)②かきまはす、ひきかく、入りまじる

攪 クラク 攪 攪

つかむ(摑)とる(取)もつ(持)

攪 ラン 攪 攪 攪

とる、もつ(持)手によぎる、すべくるめる(總攪)まとめる

支部

支 支 支 支

①えだ、草木の枝、わかれ出た血統、凡てわかれ出たもの、汎稱②離れる、分裂する③さゝへ、さゝふ、ささへ保つ、つゝかふ、維持する、對抗し防ぐ④十干と組合せて年月日時方位等に配する十二支の稱⑤はかる(度)計算する⑥手・足(肢)⑦わりあて(給)又てあて(給與)⑧てあし(肢に通ず)⑨支那の略稱⑩國訓はらふ(支拂)つかへ(支障)

支部

二一三畫

收 シウ

收 收 收

①をさむ、とりいれる、あつむ(聚)②とよのふ(整)③とらへる(捕)④やすむ(息)ととむ(止)

攷 考の 攷

古文

攷 イウ

攷

①語助の辭、ところ(所)②ゆつくりしたる貌(悠)③遠き貌

改 カイ

改 改

①あらたむ、更へる、新らしくす、しなほす、これまでの事をやめて善くする②あらたまる③國訓あらため、あらたむ(調査、吟味)あらためて(更に、事新らしく)あらたまる(四角ばる)

支部 收・攷・攷・改・改・放

攷 コウ

攷 攷 攷

①せむ、せめる、うつ(伐)をかす(侵)過失をとがめる②をさむ(修)學問を修業す、とど、みがく(研)③つくる(作)ならふ(習)④かたし(固)

四一六畫

放 ハウ

放 放 放

①はなつ、はなす、はなたる、おひはらふ(逐)鳥流しにする②おく、構はずに置く③解きはなつ、自由を興ふ④すてる、すてさる⑤ゆるす(縱)ゆるしにがす⑥たる(至)⑦よる(依)⑧ならふ(傲)⑨ほしいまゝ(恣)ほしいまゝにす、わがまゝ⑩のばす、ひろげる⑪射る、飛ばす、かゝげ示す⑫ゆつたりとす

政

セイ
シヤウ

政政政

①まつりごと、國家を治めること、國家の法律、規則、たゞす(正)②みつき(租税)③物事を處理する方法

故

コ

故故故

①ふるし(古・舊)又ふるいこと、昔のこと②もと、以前、さき、むかし、亡くなつたこと、死んだこと③しきたり(先例、舊慣)④ふるなじみ、舊知⑤こと(事)事柄、できごと、變事⑥ゆゑ(理由)わけ⑦ゆゑに、かるがゆゑに、上を承けて下を起すことば、わざと(故意)ことさらに、又わざとしたこと⑧つみ(辜)⑨もとより(素)

效

カウ

效效效

①ならぶ(倣)まねる、學ぶ②いたす(效)③さづく(授)さしだす④はげむ(勵)⑤いさを、てがら(績)⑥きよめ、しるし(效能)

教

叙に
同じ

教教

教

カウ
ケウ

教教

①をしふ、をしへさとす、いましめ、みちびく(指導)智をひらく②さしづ、諭告、命令③宗教の略、宗旨、又は學派④しむ、せしむ(令)⑤道德、道義⑥つぐ(告)⑦學業をさづける、學問⑧惡人を善導す

敬

ビン

敬敬

①とし、すばやし②さとし(聽)かしこし(賢)氣がきく③つゝしむ(敬)おごそか(嚴)④足のおほゆび⑤つとむ(勉)

救

キウ

救救救

①すくふ、なやみ苦める者をたすける、危い場合をたすける②たすけ(助)まもり(護)③をさむ(治)ととむ(止)④たゞす(正)

救

勅に
同じ

救

教

ガウ
ゴウ

教

①あそぶ(遊)たはむる(戯)②おごる(傲)おごり③かまびすし(傲)④君位に登るべくして登らず死して諡なき人の稱⑤畏れる貌、一説によろこぶさま

敗

ハイ

敗敗

①やぶる(破)こぼつ(毀)くづす(頽)つぶす(潰)くつがへす(覆)②きづく(傷)くだく(碎)③まける、まかす(負)ほろぼす(滅)④くさる(腐)⑤不良となる⑥成功せざる貌

八
畫

敬

ハイ

敬敬

敬

シヤウ

敬

①たかし、土地などが高くて四方の見はらしがよい②心ひろし(寛大)③ひろくとしてほがらかなること

敢

カン

敢敢

①あへて、無理に、強ひて②失禮ながら③あへてす、思ひきつて行ふ④いさまし、進取斷行の氣象がある

散

サン

散散散

①ちる、ちらす、消えうせる、にげる(亡)にげ去る②分れひろがる、はなつ(放)外に出る、亂れちらばる③しまりのないこと、ほしいま④ひま、仕事がない⑤むだ、役にたぬ⑥粉末の薬⑦琴の曲の名⑧足がふらふらする(躓に通ず)⑨國訓ちる、ちらす(花が落ちる、にじみ廣がる、あらす)

教

トン
タイ

教教教

①あつし、人情が厚い、篤厚、醇厚②あつくす、てあつくす③さかんなり(盛)おほいなり(大)④くらし、耳目なく何事も知らぬ貌⑤取とめなき貌(混沌)⑥つらぬ(陳)⑦つとむ(勉)⑧せまる(追)なげうつ(擲)⑨とがめ、とがめる⑩いかる(怒)⑪しる(詆)⑫をさむ(治)⑬獨居して移らぬさま⑭むらがる⑮黍稷を盛る具

九一〇畫

敬

ケイ
キヤウ

敬敬敬

①うやまふ、うやまひ、鄭重にする②つゝしむ心、うやゝしくつゝしみぶかし③つゝしみ、謹慎④書簡等に用ひて敬意を表する語

敵

カウ

敵敵敵

①むち(短かきを敵といひ、長きを管といふ)②むちうつ、うつ(擗撃)③たゞく(叩)④國訓たゞき(石灰と赤土と苦鹽と砂を混じて叩き固めるもの)

一一畫

敵

テキ

敵敵敵

へす⑤こまかし(細密)⑥擧げていふ、數に入れる⑦事物の多少を計算する學問⑧はやし(疾)ちかし(近)

二二一六畫

敷

フ

敷敷敷

①しく(施)のべしく、ひろがる②つらぬ(連)ならぶ、陳べる③あまねく(徧)ひろく(廣)④國訓しく(物の下に据ゑる)⑤しく(しき)こと、又しく物⑥敷金の略、音のシク、シキに借り用ふ

數

サク
ソク
スウ

數數數

①かぞふ、計算する②かず(多)に達する、かずがある③せむ(責)なじる④かず(多少の意)又定まりし量⑤數へられる程の、二三の、若干の⑥わざ、技術⑦はかりごと(術數)⑧すぢみち(道理)ありさま⑨まはりあはせ、人の運不運⑩しば(度々)しば(す、幾度もくりか

整

セイ

整整整

①ととのふ、たゞす(正)をさむ(理)②ひとしくす(齊)そるふ、そなはる(備)

斂

エキ

斂斂

①いとふ、あさる、うむ(倦)②やぶる(敗)③くづれる(頽)

斂

レン

斂

①をさむ(收)あつむ(聚)内に仕舞ふ、死者を納める②引き縮める、ひきしめる、やめる、しまふ③をさまる

斂

ハイ

斂斂

①たふす、殺したふす②たふる、死んで横はる、死ぬ、いのち終る③ほろぶ(滅)失敗する

文部

文 ブン
モン

又 又 又 又

①あや、もやう、かた(形象)②いろつや(彩色)③現象
④外部、すゑふみ(文章)⑤もんじ(文字)⑥ことば(語句)⑦人智の進むこと⑧學問の一種⑨法律規則⑩錢の稱、又その数を示す語⑪かざる(筋)うはべを繕ふ、又しあげる、修飾する⑫禮儀作法になれて優美なること⑬國訓ふみ(書物、手紙)もん(穴錢の稱、足袋の大小を表はす語)

七一七畫

斌 ヒン
斌

文と質とがそろふ、あや飾りと地味な所と程よく釣合ふ(彬に同じ)

斐 ヒ
斐 斐 斐 斐

あやのあるさま、美しく盛んなるさま

斑 ハン
斑 斑 斑 斑

①まだら、ぶち(色の雜り合ひて文あること)②總體中的一部分

爛 ラン
爛

あや(文采)もやう

斗部

斗 トウ

斗 斗 斗 斗

①十升のますめ、又ます(量器の總稱)②ひしやく(酒を酌む椀杓)又ひしやくの形したる物③星宿の名④かど立ちてまがれること⑤たちまち(忽)⑥どら(陣中にて用ゐるもの)

六一七畫

料 レウ

料 料 料 料

①はかる、おしはかる(推測)ますめをかぞふ、數をかぞへはかる②はかり、ますめ③おさめる、はからふ④物事のもとしる(材料)⑤あてがひもの、てあて(給與品)⑥使用する物品⑦代金⑧なづ(拵)撫てる

斛 コク

斛 斛 斛 斛

斗部 斗・料・斛・斜・學・斟

斜 シヤ

斜 斜 斜 斜

①なまめ、はすかひ、さか(坂)傾くこと②ちる(散)③不正、又よこさま、よこ(横)④國訓なまめならずと打消しの語に用ひてひと通りならず。なみ大抵でない等の意を表す

八一〇畫

罍 カ

罍 罍 罍 罍

玉の杯、禾稼の形を畫き量六升を入れ獻酬の禮に用ひしもの

斟 シン

斟 斟 斟 斟

①くむ(酌)くみとる、くみわける②さかもりする③物事を程よくはかる、事情をくみとる、手加減する

旒

テウ

旒

①はた(龜と蛇との圖を畫きたるはた)②帛の長さ八尺のはた

旒

リウ

旒

①はたあしのたれさがれる部分②たれ、冕の前後に下げらるあたまかざり

旗

キ

旗 旗 旗

①はた、はたの總稱②しるし(表標)③星の名(箕に同じ)④清時代の軍隊の稱

旡部

旡

ム ア

旡 旡 旡

なし(亡、無)

旡

キ

旡 旡 旡

①すでに、もはや、今はムや、もとより②すでにして、さるほどに③つく、つくす(盡)④をはる(畢)⑤うしなふ(失)⑥毎月の給米

日部

日

ジツ ニチ

日 日 日

①ひ、ひかげ、ひあし、太陽②ひる(晝)③日數のとなへ④つきひ(光陰)⑤ひとひ(一日)⑥とき(時)⑦ひと、ひとと、毎日⑧さきに(往者)⑨のちのひ、あけのひ⑩こよみ(曆數)⑪日の吉凶等を占ふこと⑫國訓ひ(天皇の御事を申し奉るに用ゐる語)

一一二畫

旦

タン

旦 旦 旦

①あした、あさ、夜あけがた②夜をあかす③あきらか(明)④ねんごろなるさま⑤おやま(芝居の女形)

旨

シ

旨 旨 旨

①むね、おもむき(意趣)②よし(美)③うまし、うつくし④うまい、美味である、おいしい⑤わけ(意味)⑥天子のおぼしめし

早

サウ サツ

早 早 早

①はやし、つとに(夙)②あした(晨)③あさまだき④急速である⑤時が判らぬ

旬

ジユン

旬 旬 旬

①十日、十日間②とを(十)③あまねし(徧)④ひとし(均)⑤みつ(滿)⑥國訓しゆん(野菜・魚鳥等の味の最もよき季節、又轉じて凡ての物事の適當したる時期)

旭

キョク

旭 旭 旭

①あさひ、朝日、又日の出る貌②騰れる貌、自得の貌③又鼓動する聲

三畫

旡

カン

旡

①日がくれる(暮)②盛んなる貌

早 カン 早子早

①ひでり②水なし、又水路に對し陸路のこと

四 畫

昊 ビン 昊

①秋のそら、秋天②そら、天空

昂 カウ 昂昂

①あがる(舉)高まる②物價があがる③あきらか(明)④馬の行く貌⑤元氣ある貌、又激す

昊 ショク ソク 昊

①かたむく(日が午後にかたむく)かたよる②ひるすぎ、午後

昊 コン 昊昊

①のち、あと②あとつき、子孫③あに(兄)④あきらか(明)⑤おほし(衆)

昂 ショウ 昂昂

①のぼる、上にあがる、日があがる、物事がよい方へ上達する②のぼす、あげる③たひらか(平)

昉 ハウ 昉

①あきらか(明)②はじめて、まさに(適)

昊 カウ 昊

①夏のそら、夏空②そら(天空)③天の神(昊天)元氣盛んなる貌

昌 シヤウ 昌昌

①さかんなり(盛)勢が盛んである、附である②うつくし(美)よし(善)③あやめ(菖蒲)④もの(物)

明 ミヤウ メイ 明

①あきらか、光かゞやくこと、事理に通ずること、あらはれること、たしかなこと、はつきりしてあること、よく見分けること②あきらけし、あきらかにす、あきらむ、あかす、發揮する③あく、夜があける④ひる(晝)⑤あす(明日)⑥かしこいひと(賢人)⑦此の世、現世⑧かみ(神明)⑨王朝の名(明朝)⑩陽(陰の對)⑪有形(無形の對)⑫國訓あく(空處になる)ひらく、すむ

昏 コン 昏昏

①くらし、日がくれて明かでない、ひぐれ②くれ、ひぐれ、たそがれ、よる③道理にくらし、おろか(愚)④わ

易 エキ 易

①かふ(更)かはる(變)とりかへる、あらためる②書物の名(易經)③天地間の事物の變化④卦を置きて占ふこと⑤やすし、たやすし、てがる、おだやか(穩)やすらか(安)⑥あなどる、かるんず(輕)⑦をさむ(治)⑧はぶく(省)

昔 セキ シヤク 昔昔

①むかし、いにしへ②ひさし(久)③ゆふべ(古)夕に通ず(夜)④ほじ(乾肉)⑤きのふ、昨日、昨今又四五日前

昕 キン キ 昕

①あさ(朝)日ので、夜あけごろ

五 畫

星

セイ
シヤウ

星

①ほし ②星の如くちらばりてあるもの、斑點(つぎひ) (光陰) ③天文 ④概要の人物の義に用ふ ⑤國訓ほし(てん、ぼち) 概要の點、思ふつぼ(圖星)

映

エイ

映

①うつる、うつす ②はゆ、てらす、てりかへす ③あきら(明)かくる(隠)

春

シュン

春

①はる、四季の第一 ②年のはじめ ③立春から立夏に至る迄、一月より三月迄又は三月より五月迄の稱 ④男女の情交 ⑤人の血氣さかんなる頃 ⑥和氣満ちて平靜なるに譬ふ ⑦とし(歲月) ⑧よはひ(齡) ⑨おこる(作) ⑩唐時代の酒

昧

バイ
マイ

昧

①夜あけどき、ほのぐらき頃 ②くらし、暗黒、道理にくらし、おろか ③佛語にて心を專にする意 ④をかす(冒)

昨

サク

昨

きのふ、以前の日、前日

昭

セウ

昭

①あきらか、あらはれて著しい、照りかゞやく ②あきらかにす ③明らかなること、光明 ④あきらかに(奉)廟の順序(太祖)のものを中央にしてその左に置かれるもの

是

ゼ
シ

是

時

ジ
シ

時

①とき(時刻、時節、時期、時世) 過ぎゆく光陰、一年又は一晝夜の區分、又その時 ②しほ、をり、機會、しゆん、さかり、適當なる時機、主要なる期間、かぎり、期限、時の吉凶、定まれる時、定期、年代、時世、哲學上にては空間、文法上にては過去・現在・未來の稱、時に適す、時にあふ ③とき、をりしも、たま、をり、ときたま ④ときとして、往々(ホ)うかゞふ(伺)をりを考へる ⑤古く是に同じ、この、これ、こゝに ⑥國訓とき(適當なる時期の意) 又助辭として用ふ

晁

クワウ

晁

①あきらか(明)ひかる(光)てらす(照)かゞやく(暉) ②日光の二字を合併せし文字に使用することあり

晁

シン

晁

晁

イク

晁

あきらか、日の光、日が輝きて明るし

昵

チツ

昵

①したしむ(親)むつむ(睦) ②ちかづく(近) ③親しみ愛するもの

六 畫

晁

朝の
古字

晁

①進めのぼす ②武帝司馬炎の建設せし王朝の名、又五代の時石敬瑭の建てしもの ③國の名(今の山西省大原縣の東北) ④易の卦の名

晏

アン

晏 晏 晏 晏

①はれる(晴) ②おそし(遅) ③安らかなり、おだやか、安んず ④美はしく鮮かなり ⑤人の姓

晒

曬の省文

晒 晒

七 晝

晚

ベン

晚 晚 晚 晚

①くれ、日の没する時 ②おそし(早の對)おくれる、後世の意、末の時期 ③くれる(暮)日がくれる、終りに近し

晝

チウ

晝 晝 晝 晝

①ひる(日中)朝より晩までの間 ②地名 ③國訓ひる(正午、まひる)

晞

キ

晞

①かわく(乾)ひる、乾燥す ②あく(明)夜があける

晨

セイ

晨

あきらか、日さかんなり、あきらかなるひかり

晝

セツ

晝

①あきらか、てらす ②光る貌

晞

ゴ

晞 晞

①あきらか(明) ②あふ(遇)むかふ(對)

晦

クワイ

晦 晦 晦 晦

①くらし(昧)光がなくて暗い、かすかにして知りがたし ②くります、かくす ③よる(夜) ④きり(霧) ⑤しぼらく、いくばくもなし(亡幾) ⑥つもごり(陰曆にて一月のおはりの日)

晨

シン

晨 晨 晨 晨

①よあけ(夜明)あした(旦)あき、早旦 ②あしたにす、朝の時を報ず ③農事を司る星の名(房星)夜明

八 晝

普

フ

普 普 普 普

①あまねし(徧)ひろし(博)おほいなり(大) ②くらし(暗) ③歐洲の國名、普魯西 (Prussia)の略

景

ケイ

景 景 景 景

①ふぜい、けしき、風致 ②ありさま ③あふぐ(仰)したふ(暮) ④めでたし、おほきい ⑤かけ(影)そへもの、景品 ⑥うつくし、又白し

晴

セイ

晴 晴 晴 晴

①はる、雨やむ、天氣がよい、陰の對 ②はれ、うららかなる天氣、雨の降らぬ天氣 ③國訓はる、はらす(障書の散ずる貌)

晝

セイ

晝 晝 晝 晝

①あきらか、きら／＼と明るき貌 ②ひかり、きらめき光るさま、ひかる(光)

晝

キ

晝

ひかげ(日の影)又(影)地上に樹てた物のひかげ、日光

智 チ 智 智 智

①さとし、さかし(賢)かしこし、事理に明らかなり
②さとと、さととる(ち)ち、又ちちある人(は)はかりごと(謀)たくみ(企)

九 畫

眩 ケン 眩 眩

あたまか、又春の末

暇 カ 暇 暇 暇

①いとま、ひま、ゆつくりせる貌、閑散(休)やすみ(休)仕事なし、又無事の時(さ)さかななり、おほいなり(大)②國訓いとま(主従の縁ぎり、わかれ、ひま)

暈 ウン 暈 暈

①かき、月がき、日がき、又その形の輪状の模様(く)らむ、めがくらむ(眩)めまひ、船車に酔ふ(曇)曇りてぼんやりせるさま

暉 キ 暉 暉

ひかり(光)ひかる、かどやく(輝)

睽 ケイ 睽 睽

たがふ(違)はなれる

暉 キ 暉 暉

ひかり、日光、光の盛んなるさま

暑 ショ 暑 暑 暑

一〇 畫

暝 ミヤウ メイ 暝 暝

①くらし(晦)かすかにして暗し(暮)日がくれる(寂)もの淋しきさま

暢 チャウ 暢 暢 暢

①のぶ(舒)のびる、のび(通)とほす(通)文章などの意味の通達すること(充)②そだつ(長)のばす、しきひろげる(琴)の曲

一一 畫

暫 ザン 暫 暫 暫

①あつし(日光のきびしきこと)あつき(熱)又夏の意に用ふ(夏)の時節

暖 ダン 暖 暖 暖

①あたまか、あたまかし(あ)あたまか(あ)あたまか、ぬくめる(あ)あたままる(あ)やはらか

暗 アン 暗 暗 暗

①くらし、光がくらい、光明がない、おろか、愚昧、ふかし(深)おくぶかし、くろし(黒)くろずむ(く)くろがり、よる(夜)②隠れて知れぬさま(暗)くものすごし(人)しれず、あんに、ひそかに(そ)らんず(詭)

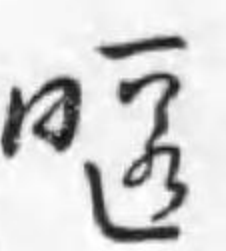
暘 ヤウ 暘

①日の出、日の出る所(あ)あわく、あわかす(乾)②あきらか(明)はれ(晴天)あわく、あからびる

①しばし、しばらく、間もなく ②國訓しばらく(やゝ久し、餘程ひさし)

暮 ボ 

①くる、日くる、ひぐれ、年が末になる、時が迫る、さかりを過ぐ、年よる ②おそし(晩) ③よる(夜) ④くらし(昏)くれ ⑤國訓くらし(一日を終る、世渡りをする、月日を送る)くらし(生活)

暈 ヂツ 

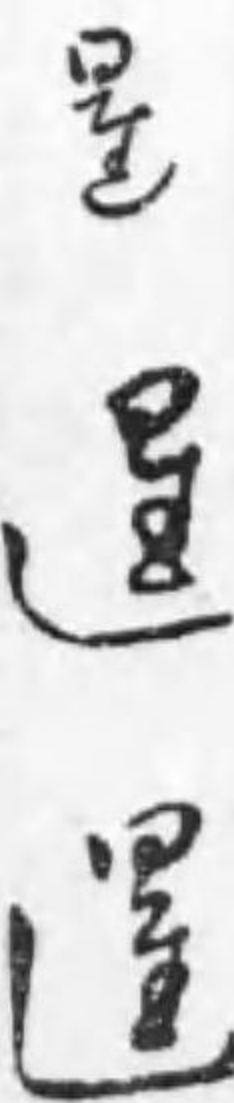
ちかづく(近)したしむ(親)なじむ

暴 バウ 


①そこなふ(害)しへたく、傷害す、あらし、あらず、やぶる(破) ②はやし(疾)はげし ③にはか(猝)卒然 ④てあら、あばれもの、よこしま ⑤さらす(日光にあてる) ⑥日にかわかす ⑦かわく(乾) ⑧あらはす(顯)露出す、露

雨にあてる、あらはる(露)しめす(示)知れる、發覺する ⑦まばら(疎) ⑧かわきたはむ(乾擽) ⑨空手にてうつ、てうち

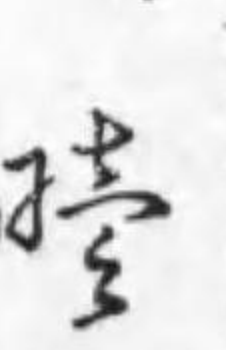
一 二 畫

暈 セン 


①ひので(日出)日がのぼる ②國名、暹羅

暈 トン 

あさひ(朝日)ひので(日出)

暈 エイイ 


①かざす(翳)おほふ(蔽) ②くもる、くもりて風あると

暈 キ 

①いたる(至)およぶ(及) ②くみす、あづかる(與)ともに、とつよし(果毅の貌)強くして勇まし ③日あらはる、おはる(已)

曆 レキ 

①こよみ、日月星辰の運行を推算して季節・時令を定める法、又それを記録したるもの ②かたどる(象) ③かぞふ ④としつき(年月) ⑤よはひ(齡) ⑥よ(年代) ⑦まはり合せ、運命

曇 タン 

①くもる、くもり、雲がかゝる、雲が空をおほふ ②國訓くもり(はつきりせぬ貌)光がぼんやりしてうすくらきさま、色つやを失ふ

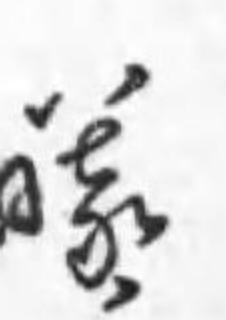
曉 ゲウ 

①あかつき、あけぼの、よあけがた ②さとり、しる(知) ③あきらか(明) ④まをす(白) ⑤とし(慧) ⑥とく(説)きとす、教へる

一三一 一四 畫

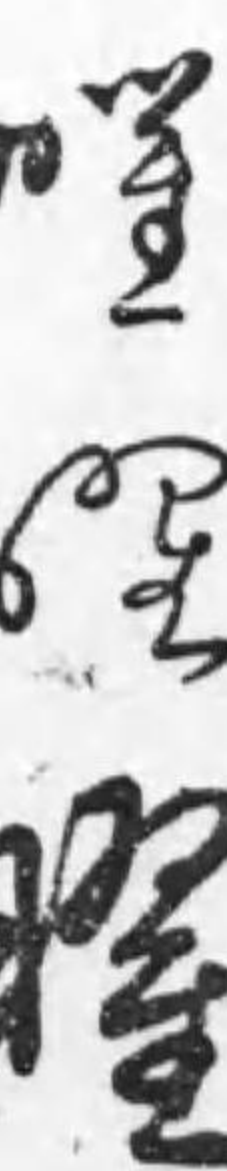
暈 アイ 

①くらし(暗)蔽はれてくらし ②かざす(翳)おほふ(蔽)

暈 略字 

暈 シヨ 

①あけぼの、よあけ、あかつき ②夜があける、日が出る

暈 エウ 

①ひかり、日の光 ②日月星辰の總稱 ③かじやく(耀) ④七星を日に當て呼ぶ稱(一週)

一五一九畫

曝

バク ホク
ボク

曝

暴の俗字。かわく、かわかす(乾) さらす(曬) あらはる(露)

曠

クワウ

曠

あきらか(明) 障礙物なくして明るし むなし(空) むなしくす、からにす、缺けてなし 遠(遠) おほいなり(大) ひろし(豁) ひさし 照ろそかにす、むだにす

曩

ダウ
ナウ

曩

さき(以前) むかし、さきもの、以前に、前日、既往 さまに、其むかし、曾て ひさし(久)

曬

サイ
シ

曬

さらす(暴) 日に乾かす 日のぶ(舒)

日部

日

エツ
ヲチ

日

日

日

いふ、いはく(言) 口を開きてものをいふ、かくいふ、斯う有る 謂つて言ふ」と重複して用ゐる のたまふ、のたまはく 發語の詞、こゝに 確實に言ひ切らぬ時助辭の如く無意味に用ふ

二畫

曲

キョク

曲

まがる、かじまる、かむむ、ひがむ さまぐ、よこしまする、折まげる、ゆがめる、自己の意に反して屈 従す よこしま(邪僻) まがり 二こわけ、入りこみしす み(簀) 音楽の一段落 あやがある、あや、單調ならず つぶさに、くはしく へんび、片田舎

曳

エイ

曳

ひく、ひつばる、ひきずる、引よせる つかまづく(頓) つく、揃へる 二ひかる、ひかれる

三一五畫

更

カウ

更

かふ(替) あらたむ(改) かはる(代) 改まる、新たになる 二かへる、あらためる、新らしくす、取かへる、變じ改める、新たになる、變ず 二かはる、こも、交互に 二ふける(夜過ぐる) 二一夜を五分したる時

曷

カツ

曷

曷

いづくんぞ(焉) なんぞ、何として、どうして 二とむ(止) 二おふ(逐) およぶ 二いつか、何の時 二蝸に通ず、すくもむし

六一七畫

書

シヨ

書

ふみ、文字にて記せしもの、總稱、書物、てがみ かく、揮毫、かきしるす、書きとめる 二じ、文字 二書經の略稱

曹

サウ
ソウ

曹

①なにかま、ともがら②裁判を取扱ふ役人、轉じて下役、
屬官③つぼね、局室、へや④國の名(今の山東省曹州府)

曼 マン マン

①ながし(長)ひろし(廣)はてなし(無)きめよし、つやよし、うつくし、うるはし、巧みにてうまし②つく(突)
③なし(無)はてなし、長きさま

八一九畫

會 ソウ ソウ

①かつて、以前に、今までに、從來②すなはち(乃)③祖父の父、又孫の子④あく、あがる(擧)⑤かさなる(層)⑥ます(増)⑦すゑ(末)

替 タイ タイ

①かはる(代)かへる②すつ(棄)すてる、しりぞける③すたる(廢)やむ(止)やめる、とりさる④ほろぶ(滅)なくなる⑤まつ(待)⑥ゆるむ(弛)

最 サイ サイ

①もつとも、ことに、いちばん②あつまる(聚)むらがる③第一、又は極限、第一にすぐれる、又その者④とのふ(齊)⑤すべて(凡)大略⑥官吏の功績第一等

會 クワイ クワイ

①あふ(一致する、人にあふ、對面す、よりあふ、てくはす、であふ、あつまる、寄りあふ、あつまりごと、約してあふ、遭遇す、一つになる②以上のこと、さとの、さとりしる(理解)③よせる、あつめる、をり(機)しを④かんぢやう(會計)⑤ちかひ(盟)⑥たま(時々)ちやうど其時⑦かならず、きつと⑧かんむりのぬひ

月部

月 ゲツ ゲツ

①つき、太陰、地球の衛星の②一年を十二分したる區間③月數の單位④つきひ(光陰)としつき⑤一月の間、毎つき、つきん⑥月光、つきかげ⑦國調月のもの(月經)

二一四畫

有 イウ イウ

①あり、居る、物が實在す、所持せられてある、生ずる、起る、自然に存在す②無の對、ある意③「何」と連用して「あらん」とよむ④たやすし、かまはぬ、何とも思はぬ⑤たもつ、もつ、又その物⑥國號又は他の或る

朋 ホウ ホウ

①とも、なにかま、たぐひ、師を同じうする者、同門、あひ弟子②一對のたる(楫)③古く貨幣に用ゐたる二つの貝

服 フク フク

①きもの、身につけるもの②きる、まとふ③もちゐる(用)つける、忘れぬ、佩びる④したがふ(從)從はせる⑤周代王畿外五百里四方の土地⑥おもふ(思)⑦おこなふ(行)つく(を)さむ(治)⑧ならふ(習)⑨従事すること(事)つとめ(職務)⑩えびら(簾)⑪罪に伏す、又薬をのむ⑫四頭立の馬車の中央の馬⑬なれしたしむ(狎親)⑭ぶく(喪中の服)

六一七畫

朔 サク 朔 朔 朔

①ついでち(月の初めの日)②はじめ(始)③きた(北)北の左④古歳末に天子が諸侯に頒つた來年の曆⑤天子の政令

朕 チン 朕 朕 朕

①われ(我)古は上下共に用ゐしが秦の始皇廿六年より特に天子の自稱となす②きざし(兆)③あやし(怪)

朗 ラウ 朗 朗 朗

ほがらか、あきらか(明)

望 バウ マウ 望 望 望

朝 テウ 朝 朝 朝

①のぞむ、遙かに見わたす、高く見上る、轉じて尊びしたふ、まつ、待ちまうける、のぞむ、ねがふ②ながめ、のぞみ、人氣、ほまれ、ねがひ③うらみ、うらむ④柴を焚きて山川の神をまつること、又その祭禮はづ、又去りて後を顧みぬさま⑤陰曆十五日、もち

八一六畫

①あさ、あした、夜の明けはなれし時、夜明より食事までの間②夕・暮・夜・晩の對③一日、ひとよき、その場所等の意④臣の君にまみゆること、参内⑤君主が政治を行ふ所⑥とふ(訪)たづねる⑦一人の君主の統治する年代、又一系の君主がつゞきて統御する間⑧あつまる(集)小流が大河にそよぐこと、又そのさま⑨向ひ行く、向く、向き至る

期 ゴ キ 期 期 期

①とき、然るべき時、適當の時、よき機會、定めたる期日②時日を限る、約束の日をきめる③ねがふ、前以てきめる、見當をつける④ひとまはり、一週年、朝より晩まで、又百年間⑤をはる(卒)

朧 トウ 朧

月の出でんとする時の光、月のて

朦 ボウ モウ 朦 朦

①おほいなり(大)②ほのか、おぼろ③月の入る時のひかり

朧 ロウ 朧 朧 朧

①月の出づるとき、又月の入る時、うつとりせる月の光②おぼろなり

木部

木 ボク モク 木 木 木

①き、たちき、樹木(幹枝の長大なるものを喬木、嬌小なるものを灌木といふ)材木、木にて造りしもの②すなほ、ありのまゝ(自然)③八音の一、木製の樂器の稱④かざりなきこと、ごつくせるさま、又柔和ならざる貌⑤をかす(冒)⑥ふる(觸)⑦五行の一、又七曜の一

一畫

木 チユツ 木

をけら、うけら、やまあざみ(山薊)

札 サツ
れれれれ

①ふだ、薄く小なる板(牒)②かきつけ、てがみ③甲冑のさね④わかじに、天死、又病死⑤物の聲の形容⑥はやりやまひ⑦國訓さつ(紙幣)ふだ(守護のおふだ)

本 ホン
本本本

①もと(下)もとづく、根本、どだい、はじめ(始)もとゐ、ほんもと、物事の最も大切な部分②主たるもの、正當のもの③長き物を數ふるにふ字④書籍⑤現在に對し過去の事を現はす語、元來⑥他に對する其の物自身⑦もとがね(元金)⑧或る語に添へて其・此・當・今の意味に用ふ⑨もとゐす、もとゐとなる

朱 ミビ
朱朱朱

①十二支の一、ひつじ、今の午後二時頃の時刻、西南の方角②いまだし、まだすまぬ、まだである③まだ、いまだ「いまだ何々せず」と讀返して意味を打消す語④いなや(否)⑤くらし(昏)⑥あらず(不)

末 マツ
末末末

①すゑ、こずゑ(梢)物のはし(端)いたゞき(頂)物事の大切でない部分、根本より續き出でしもの②つく(盡)なし(無)③のち、あと(後)をはり、老ひたる時、老年④あきなひ(商賣)あきうど⑤ひくき所、いやしき地位⑥よわし(弱)⑦うすし(薄)⑧てあし(四肢)⑨つつひに(終)⑩くづ(屑)こな(粉)⑪衰へし時代、來世⑫なかれ(勿)⑬血すぢ、子孫

二 畫

朱 シニ
朱朱朱

①あか、あけ、あかいろ(赤)しゆずみ、しゆふん、あかし②松柏の屬、赤心木ともいふ③侏儒の侏に通ず④しゆふん(赤色の顔料)

朴 ハク ホク
ボク
朴朴朴

①すなほ、表面を飾らぬこと②木の名、ほゝの木③おほいなり(大)④もと(本)

桑 ダダ
桑桑桑

①花のえだ②樹又花の垂るゝ貌③うごかす(搖)④とる(取)⑤垂れさがるもの

机 キ
机机机

①つくゑ(几)②ひぢつき③物を置く臺

朽 キウ
朽朽朽

①くつ、くさる②亡びる、つきる③衰へて用をなさぬこと

三 畫

杆 カン
杆杆杆

①たて(盾)②てすり(欄干)③ぼう、てこ(桿)

杉 サン
杉杉杉

すぎ(喬木の一)幹直く針狀の葉を有す

李 リ
李李李

①すも、(桃に似た果樹)②理に通ず、をさむ③唐朝の天子の姓

杏 キヤウ 杏 杏

あんず(梅に似た果樹の一)

材 サイ 材 材 材 材

①用ゐらるゝ木、さいもく、しろ、物をつくるたね、もと(原料)②うまれつき(性質)もちまへ、物のたち③はたらき(才、ちゑ、智)④はかる(裁量)きりもりす⑤たから(財)⑥果實を結ぶ木⑦からだ(身體)

村 ソン 村 村 村

①むら、あなか、さと②いなかくさし、ひなびる、樸野③國訓むら(行政區劃の一)

杓 シヤク 杓 杓

①しゃく、しゃくし、斗柄(水等をくむ器)ひく(引)②つなぐ(繋)つながる③北斗星の柄にあたる星

杖 チャウ 杖 杖 杖 杖

①つゑ、ステツキの類、喪式の時携へる棒、人をうつ棒②つく、つゑつく③てこ(挺)④うつ(打)たく、人をむちうつ⑤戈戟の柄⑥とる(取)もつ(持)⑦よる(憑)

杜 ツト 杜 杜

①やまなし(山野に自生する亞喬木の一)②草木の根③しぶる(澁)ふさぐ(塞)④國訓もり(森)

杞 キ 杞 杞

①くこ(灌木の一)又白楊の一(かはやなぎ)②あふち(木の名、樗の一種)③支那周代の國の名(今の河南省開封府杞縣)

束 シユ 束 束

四 畫

杪 ベウ 杪

①すゑ②こずゑ(梢)木のはし、いたゞき(頂)③をはり(終)としてのすゑ(歳末)月の末④細小なる貌

抗 カウ 抗

①航に同じ、わたる、船わたし、船で渡る②地名(支那の杭州)③國訓くひ(杙)

柿 柿に 柿 柿

杯 ハイ 杯 杯

①さかづき(酒を飲む器)液汁を盛る器②ほとぎ(羹を盛る器)③液體を器に盛る數をいふ語

①つかぬ、たばぬ、くゝる、しぼる(縛)まとめる、慎みて制御す②たば、又束ねたるものを敷へる語③矢五十本、脯肉十枚、布帛五疋の稱④ちぎる、いひかはす、約束⑤そく、紙十帖、稻百把の稱、又百を單位とせる稱、指四本を並べたる長さの稱⑥つか、一握の長さ、轉じて短かき長さ

杠 カウ 杠

①こぼし(小橋)②はたぎを(旗竿)③牀の前の横木④星の名⑤杠里は地名⑥あぐ(擧)持ち上げる

杏 國字 杏 杏 杏

もく、木工

杧 國字 杧 杧 杧

①そま②材木を伐取る山、又その木③木材を伐出す人、きこり

杰

ケツ 人の名、傑の俗字

杰

東

トウ

东东东

①ひがし、ひんがし、日の出る方角、ひがしの方口ひがしす、東の方へ行く②はる(春)③うごく(動)④國訓あづま

杲

カウ

杲

①あきらか(明)日のひかり、日光②たかし(高)

杳

エウ

杳杳

①くらし(暗)②ふかし(深)③ひろし(廣)④とほし(遠)⑤はるか

杵

シヨ

杵杵

杷

杷杷

①きね、白の中にて物を搗く具②戦具の一③きぬたをうつ具、つち

④さらひ(穀類をかき集め、又は土をならす農具)⑤樂器、琵琶に同じ⑥枇杷は果樹の一⑦つか、え(柄)

杙

チヨ ド ジヨ

杙

①ひ(機おりの具)よこ糸を通すもの②うすし(薄)③そぐ(殺)④ながし(長)⑤深の果實、どんぐり

松

シヨウ

松松松

①まつ(常緑針葉樹の一)百木の長にして人の公の如きよりいふ②松の常緑なるより轉じて節操・長壽等にたとふ

板

ハン

板板板

①わかつ(分)わかる、分割す、とりわけける②さく(裂)ひきさく、さける、わる(割)われる

枕

シン

枕枕枕

①まくら、寝具の一、物をもちあげるため下にかふもの、物の最初に置くもの②くらます、枕して横はる③ふす(臥)④車の後の横木⑤魚の胸中の骨⑥牛をつなぐ杖⑦のぞむ(臨)

林

リン

林林

①はやし、木竹等の多く生ひ茂る所、物の多く叢れるところ②物事の多くして盛んなる貌、又多き貌③野の外

柎

ゼイ

柎

枇

ビヒ

枇枇枇

①果樹の一、枇杷、樂器の名、琵琶に同じ

枉

ワウ

枉枉

①まがる、まぐ、ゆがめる、かじめる②しへたぐ(冤)反する、屈する、抑へためる③よこしま(邪)又正しからざる者④無實の罪におとす、わざとする

枋

ハウ

枋枋

東印度地方に産する喬木、蘇枋

柎

セキ

柎柎

①ほぞ(ほぞ穴にさし入れる栓)②はしら(柱)③え(柄)
④みき(幹)⑤馬のむち(馬鞭)⑥平たき物を敷ふる語⑦
⑧同じ⑨鐘の乳⑩こまか⑪馬の口に銜ましめて聲を
立てることを止める筈の如き木⑫うらなふ(占)⑬昔金
銀を敷ふるに用ゐし語、即ち金一枚は七兩二分

①ほぞ(ほぞ穴にさし入れる栓)②はしら(柱)③え(柄)
④みき(幹)⑤馬のむち(馬鞭)⑥平たき物を敷ふる語⑦
⑧同じ⑨鐘の乳⑩こまか⑪馬の口に銜ましめて聲を
立てることを止める筈の如き木⑫うらなふ(占)⑬昔金
銀を敷ふるに用ゐし語、即ち金一枚は七兩二分

①木の實、くだもの、なりもの、又その木②はて、き
はみ、をはり、最期③むくひ、原因の生ずるなりゆき、
應報④決心が早い、決断心がつよい⑤はたして、案の
如く、少し念を押し疑ふ意に用ふ⑥きつと、かならず
⑦しとげる、はたす、遂行す⑧はんべる

①木の實、くだもの、なりもの、又その木②はて、き
はみ、をはり、最期③むくひ、原因の生ずるなりゆき、
應報④決心が早い、決断心がつよい⑤はたして、案の
如く、少し念を押し疑ふ意に用ふ⑥きつと、かならず
⑦しとげる、はたす、遂行す⑧はんべる

①木の實、くだもの、なりもの、又その木②はて、き
はみ、をはり、最期③むくひ、原因の生ずるなりゆき、
應報④決心が早い、決断心がつよい⑤はたして、案の
如く、少し念を押し疑ふ意に用ふ⑥きつと、かならず
⑦しとげる、はたす、遂行す⑧はんべる

①ます(分量をはかる具)枿は支那の方言にて大斗の
稱、ますがた②芝居の見物席のしきりの名

①ます(分量をはかる具)枿は支那の方言にて大斗の
稱、ますがた②芝居の見物席のしきりの名

五 畫

①かる、からす、かれる、ひからびる、草木の生氣がたえ
て凋び死ぬ、又冬期に草木が落葉すること②かれ木、
又水がかわく、水がつきる③身體がやつれる、衰へる

①かる、からす、かれる、ひからびる、草木の生氣がたえ
て凋び死ぬ、又冬期に草木が落葉すること②かれ木、
又水がかわく、水がつきる③身體がやつれる、衰へる

①えだ(草木の幹より生ずるもの)えだは、物事のわか
れ②枝がでる、枝を出す③わかれる、わかれ離れる④
さへる(支)さへるもの⑤えと、十二支⑥指の數六
本以上の不具、むつゆび

①えだ(草木の幹より生ずるもの)えだは、物事のわか
れ②枝がでる、枝を出す③わかれる、わかれ離れる④
さへる(支)さへるもの⑤えと、十二支⑥指の數六
本以上の不具、むつゆび

①からたち(橋に似たる木の名)きこく②また(股)③そ
こなふ(害)

①からたち(橋に似たる木の名)きこく②また(股)③そ
こなふ(害)

①からたち(橋に似たる木の名)きこく②また(股)③そ
こなふ(害)

①かけわたす、かける、空中に架す②たな(棚)いかう
(衣桁)ころもかけ③はしげた、橋の棧、くひ(杓)

木部 枿・枿・枿・枿・枿・枿・枿・枿

①くびかせ(罪人の首にはめる刑具)②からさを(農具
の二)③古く架に通ず

①くびかせ(罪人の首にはめる刑具)②からさを(農具
の二)③古く架に通ず

①かい、かち(楫)船を漕ぐ具②弓を撓直す器具、ゆだめ

①かい、かち(楫)船を漕ぐ具②弓を撓直す器具、ゆだめ

①かい、かち(楫)船を漕ぐ具②弓を撓直す器具、ゆだめ

①え(器具の把手)つか、柯②もと(本)③けんりよく(權
力)いきほひ④もつ(持)⑤國訓がら(身分、體格、布帛
の模様)

柀 シユウ
シユ

柀

①常緑喬木の一、ひらき、ひらき②こづち(柀椽)さ
いづち

柏 ハク
ヒヤク

柏 柏 柏 柏

①常緑喬木の總稱②常緑なるため堅固なる節操にたと
ふ③せまる(迫)④大いなり、伯に通ず⑤國訓かしは(喬
木の一、櫛、食器の總稱、かしは餅の略)

某 バイ
ボウ

某 某 桑

①梅の古字②それ、それがし、なにがし、名の知れぬも
のをさす代名詞、又名を示さずしていふ時の代名詞、又
名をいふべきことを示す代名詞③あるひは(或と通ず)

柑 カン
コン

柑 柑 柑

からじ(果樹の名)蜜柑の一種

染 セン
セン

染 染 染

①そむ(布帛類に色をつける)他を感化す②しむ、ひた
す、そまる③けがす、よごす、よごれ、しみ④病氣が
うつる、感染⑤やはらぐ⑥國訓しむ、とほる、深く感
ず、はげしく刺戟される

桑 ジウ ニユ
ニウ

桑 桑 桑

①やはらか、しなやか、やはらぐ、よわし、身體がよ
わい②やさし、すなほ、おだやか、又氣象がこはくな
い、奮發心がない③やすんず(安)安堵させる④したが
ふ(服)⑤草木の新たに生ずること⑥うるほす、ぬらす

柘 シヤ
ソ

柘

①のぐは、やまぐは(桑の類)②さたりきび(甘蔗)

抽 イウ
ユ

抽 抽 抽

ゆず(柑橘類の一)②機の輕糸を巻く具(軸に通ず)

柝 タク

柝

ひやうしぎ(拍子木)警戒又は合圖の爲めにならす二本
の角材、轉じて警備を司るにいふ

柞 サク

柞 柞

①は、そ(常緑喬木の一)いす②木をきる、かる、はらふ
③せばし(窄)④音大にして調子に合はざること⑤かむ

柗 同
に

柗

查 サ

查 查 查

木部 柀・柗・柞・查・柗・柗・東・柯・柰

柗 キウ

柗 柗

①ひつぎ、はやをけ、人の死體を入れるもの②ひさし
(久)

東 カン

東 東

①えらぶ(簡)えりわける②てがみ(書簡)③なふだ(名
刺)

柯 カ

柯 柯

①え、斧の柄②えだ(枝)③草の莖④わん(盃)⑤長さ三
尺を柯といふ

柰 ナイ
ナイ

柰 柰 柰

①果樹の名、林檎の屬、からなし②那に同じ、いかん、
なに、なんぞ、いかなぞ

柱

チユウ

柱 柱 柱

①はしら、物を支へるもの、總稱、屋を支へる垂直の材、又助けとなるもの、**口**ことち(琴柱) **△**さふ(支)たもつ、とどむ、くひとめる **○**そしる、非難す **◎**さす(刺) **●**つかさどる(掌)

柳

リウ

柳 柳 柳

①やなぎ(落葉喬木の) **一**しだれやなぎ **口**ぬりこ、二十八宿の中の星の名

柴

サイ

柴 柴 柴

①しば(自生の雜木) **口**柴をやって天を祭ること **△**ふさぐ(塞) **◎**まもる(護) **●**まがき(籠) **○**積み重ねし物

柵

サク

柵 柵 柵

①やらい、しがらみ、ませがき(竹木を結びわたして立てし垣) **口**とりて(砦) **△**こじろ **●**かけはし(棧) **○**しがらみ(水中に立てる垣)

柵

國字

柵

まさ、まさめ(材の縦に木理の正しく通りたるをいふ)

柵

國字

柵

つが、とが(常緑喬木の) **一**説に梅

柵

國字

柵 柵

もと柵に作る、とち(深山に自生する喬木)

六 畫

栓

セン

栓 栓

①せん、物の穴にさしこむ木の釘、又其中より物の漏れ出ぬやうにするもの **口**わん(孟) **△**とかき、ますかき (槩) **◎**北海道に産する喬木、せんのみ

栖

セイ

栖 栖

①すむ(特に鳥の棲む所) **口**すみか **口**やすむ、いかふ(息) 棲息す **△**忙しき貌 **◎**とや、ねぐら、す **◎**すます、とどめる、やすめる

栗

リツ

栗 栗 栗

①くり(果樹の) **一**口かたし(堅) **△**つゝしむ、うやく(謹敬) **◎**おごそか(嚴) **き**びし、いかめし **◎**おほし(衆) **◎**充實して肥えたる貌 **◎**道路に立てる目じるしの木

梨

カン

梨 梨 梨

校

カウ

校 校 校

①しをり、しをる(林に入るとき木の枝を折りて道しるべとするもの) **轉**じて案内、てびき、しるべ **口**國訓しをり(書物の中に挿む讀みかけの目じるし、**轉**じて字つき) **◎**人を教ふる處、學ぶ所 **口**かせ(刑具の名) **△**むくひ(報) **△**むくゆ、はりあふ、しかへす **◎**くらべる **◎**しらべる(檢) **考**へる **◎**かぞふ(計) **數**へしらべる **◎**たゞす(訂) **書**物の誤をたゞす **◎**てすり、又しきり(欄格) **◎**軍中特設のしきり(欄) **轉**じて將たるもの

株

チュ

株 株 株

①かぶ(幹や莖の最下部にて根に接する所) **き**りかぶ(木を伐り倒したる下部の殘木) **口**木を數へる語 **△**ね(根) **◎**國訓かぶ(株券、徳川時代の家格、名跡、商業上特別に有する營業權、言語動作等にて其人の特殊のくせ)

栲

カウ
コウ

栲

① 栲及漆に似たる喬木② 竹又は柳を曲げてつくりし容器③ 國調たへ、たく(かぢの樹皮のすぢにて織りし布)

梅

セン

梅

① 印度地方に産する香木、梅檀② あふちの木の一

核

カク

核
核

① たね、さね(果物の中の心)又其形のもの② くだもの③ 細胞原形質内の小さきしん④ きびし(酸)⑤ しらべ、明らかにす、たいす

根

コン

根
根
根

① 根(草木の地下にある部分)ねもと、物の下部② もと、物事のはじめ③ ねざす、始まる、根を生ず

格

カク
キヤク

格
格
格

根ごと、根こそげ、もとから① こん、根氣② 本来のたち、しやうね③ 化學的變化に於てイオン化したとき部分④ 立方又は平方に開きて得る數⑤ 事物に對する心のはたらき⑥ こんき、物事に堪へ得る力、精魂

① 樹高く枝長きこと② いたる(至)いたす、主として我が誠意に感じて來るに用ふ③ きたる(來)くる④ のり(法式)きそく⑤ たゞす(正)きはむ、物事の道理を明らかにす⑥ のぼる(登)⑦ あたる(敵)手向ふ、さからふ、敵す⑧ めあて、めやす(標準)⑨ くらむ、地位、ぶんげん⑩ あらたむ(改)かふ(變)そむく、くひちがふ⑪ うつ、手いうつ、たゝかふ(闘)⑫ 文法上名詞・代名詞等が他の語に對して有する關係⑬ 律令を發する爲め時勢に適せしめて發したる命令⑭ とむ、とままる、やむ、中止す

栽

サイ
ザイ

栽
栽
栽

桃

タウ

桃
桃
桃

も(果樹の一)

案

アン

案
案
案

① つく(凡)だい、ひちつき② 文書のしたがき③ 食器、食物をのせる臺、又わん、はち、せん④ さかひ(界)⑤ 次第、ついて⑥ かんがふ(考)しらべる⑦ おさふ(按)なでる⑧ とむ(頓)⑨ みる(視)⑩ よる(據)⑪ 相談すべき事柄、議題

桎

シツ

桎
桎
桎

① あしかせ(足械)② かすがひ、又くさび(楔)③ ふさぐ④ 自由をしばらくられる、苦しめられる

桐

トウ

桐
桐
桐

かつら(香木の一)肉桂等の總稱

桂

ケイ

桂
桂
桂

① けた(屋根又は橋等の外圍の横にある木)すべて横に組みわたしたる木② 算盤の珠を貫くし、又其位どり③ かせ(刑具の一)④ ころもかけ(衣桁)

桁

カウ

桁
桁

① 殘忍なること、又凶暴なること、あらし、わるがしこし② になふ(擔)③ すぐれたる人(傑に通ず)④ とや、ねぐら⑤ すぐれる、秀でる貌⑥ 支那夏朝の最後の天子の名、殷の紂王と並稱する暴君

桀

ケツ

桀
桀

① うゑる、若木をうゑる、又は(庭)② 植物のわかめ(榊芽)苗木③ うゑこみ④ 牆を築く長き板

①きり(落葉喬木の一)②こと(琴)③梧桐はあをぎり

サウ

桑

桑 桑 桑

①くは(落葉喬木の一)②くはとる(桑の葉をつむ)又蠶を養ふこと

①桓

クワン

桓

桓

①漢代のしゆくばのしるしとした木(郵亭表木)②棺の四隅に樹てる柱③たけし、いさまし、つよし、又そのさま④たちもとほる、進み難きさま

①桔

ケツ

桔

桔

①桔梗は藥草の名、きゝやう②桔槔は、ねつるべ、水を汲む仕掛、又それと同じ構造のもの

七

畫

①栝

杯に同じ

栝

①桴

ケウ

桴

①いかだ(大なるを筏・小なるを桴といふ)②太鼓を撃つ杖、ばち

①桶

トウ

桶

桶

①をけ(水を盛る具)②ます(斛)容積をはかる具

①桷

カク

桷

①たるき(四角のたるき)②平かなるえだ③國訓ずみ(りんごの一)

①梁

リヤウ

梁

梁

①あづさ(喬木の一)あがめがしは②文書を版に彫ること、又その版木

①梗

カウ

梗

梗

①木の名、やまにれ(粉楡)②やむ、やまび(病)やまし、又しんばい③ふさがる(塞)④たゞし(正)なほし(直)⑤たけし(猛)つよし⑥おほよそ(大略)あらまし⑦とげ、又とげあるもの⑧桔梗は草の名、きゝやう

①條

デウ

條

條

①えだ、こえだ(小枝)すわえ②ながし(長)③とほし(遠)④すぢ、すぢみち(條理)⑤逐一に數へあげるにいふ字、又細長きものを數ふる語⑥おきて、筒條書の規則⑦なほ(繩)⑧とほる(條達)のびんす⑨のぶ(暢)うそぶく⑩枝を切りおとす⑪東北より吹く風⑫よりて、ゆゑに、ばかりの、ほどの⑬木の名、柑橘の一種、ゆづりはこの屬

①挺

テイ

挺

挺

①つゑ、ぼう、棍棒②木の枝の直きもの③勁直の貌④縣の名⑤長さある物の數を示す語⑥てこ(楨杵)

①梅

バイ

梅

梅

①うめ(果樹の一)②つゆ、さみだれ、梅雨

①楷

コク

楷

①てかせ、てかし(手械)いましめ②つらぬく(貫)首をつらぬく③みだる(亂)しぼる④なほし(直)

①梓

シ

梓

梓

梟

ケフ 梟木 梟

①ふくろふ、ふくろ(鳥の名、みづくの屬) ②古の極刑、さらしくび、さらす ③たけし(徒)あらくつよし、又そのこと ④山のいたゞき ⑤すぐれたるもの(雄) ⑥ちよぼ(さいの目の一點)

梢

セウ 梢 梢 梢

①こずゑ(木末)こぬれ ②こしば(小柴) ③枝の末の細長き所、ずはえ ④かぢ、船の舵 ⑤樂者の執る竿

梧

ゴ 梧 梧

①あをぎり(桐の一種) ②枝梧はさゝふ(支) ③魁梧は壯大なるさま

梨

リ 梨 梨 梨

梭

サ 梭 梭

ひ(機織の具)管を入れ緯糸を通すもの

梯

テイ 梯 梯

①きだはし(木階)はしご、かけはし ②よる(凭) ③上の級に登る手引となるべきもの

械

カイ 械 械 械

①かせ、かし(罪人の手足等にはめる刑具)又かせを加へて自由にせざること、いましめ ②うつは、道具 ③術のたくみななるもの、たくみ(巧)からくり、しかけ ④つはもの、兵器

梱

コン 梱 梱

①しきみ(闕) ②なる(就) ③ひとしくす ④國訓こり(旅行用の鞆の類、包装せる荷物)又それを數ふる語

梳

ソ 梳 梳

①くしけづる ②くし(櫛)齒のあらき櫛

梵

ボン 梵 梵 梵

①清淨にしてけがれなき意 ②佛教、僧、寺院、又印度の事物に冠する字、梵字、梵語 ③印度の貴族にて婆羅門教の信者 ④婆羅門教の眞理、又は梵天王

梶

ビ 梶 梶

①こずゑ(楫) ②國訓かぢ(船を進退する具、楫の一種、七夕の夜に文字をかきて神に供ふるもの、車の前にある木) かぢぼう

八 畫

棄

キ 棄 棄 棄

棉

メン 棉 棉

わた、きわた(植物の名)もめん

碁

ギ キ 碁 碁

①ご、ごいし、ごをうつ ②さい、こま(賭博の具) ③ね(根抵)

棋

碁に 同 棋 棋 棋

棍

コン 棍 棍

①ぼう(杖挺) ②惡漢、わるもの

槩

ヒ 槩 槩

①たすく(輔) ②木の名、かや(樺)

棒

ハウ
ボウ

棒
棒

①ぼう、つゑ(杖挺)②うづ(打)

棕

後に
同じ

棕

棖

タウ

棖

①ほこだち、又はこだて(門の兩旁に立て扉を押す木)②つゑ(杖)

棗

サウ
ソウ

棗
棗

①なつめ(果樹の一)②國訓なつめ(茶器の一、抹茶の容器)

棘

キヨク

棘
棘

棚

スウ

棚
棚

①いばら、うばら(灌木の一)②すみやか(速)せはし(急)いそがはし③外朝の位階の稱、昔外朝の庭の左右に九株づゝ棘を植ゑ位階によりて其の下に列せしめしよりいふ④ひとや(牢獄)⑤ほこ(戟)⑥刺ある小木の總稱⑦棗の一種

①たな(物をのせ置く所)架②やなぐひ、やづゝ(矢藏)③かけはし(棧)

棟

トウ

棟
棟

①むね(屋根の最高部)むなぎ(屋脊の横にわたす主要の材)②星の名③かしら、をさ、主要なる人物

棠

タウ

棠

①草の兩旁の横木②甘棠は木の名、こりんご、やまなし③海棠は花樹の名

棧

テイ
タイ

棧
棧

①にはざくら(ゆすらうめに似たる果を結ぶ果樹)②とほる(通)③車の下の木④舉動の落つきたるさま、又なれたる貌⑤唐棧はすもゝの一種

棧

サン
ゼン

棧
棧

①かけはし(險阻な所に木を架けて造りしみち)②たな(棚)③はたごや(旅舎)④商品を貯へる所⑤床の下の横木、ねだ⑥やらい(木柵にてかこひ動物を飼ふ所)⑦さん、戸障子の骨、又は板物のそりを防ぐ爲めに取付けし横木⑧さる戸を開閉せしめる木栓

棊

ケイ

棊

①わりふ(傳信)②ほこ(赤黒のきぬにて包み君主の前驅者が持つ木のほこ)たて、やり

棧

ヨク
イク

棧

たらのき(叢生小木)とりとまらず(木の名)一説には、そ(柞)

棧

ケン

棧

まげもの(孟)わけもの(木を曲げて作りし器)

棊

シン

棊
棊

①木の多き貌、木の長き貌②盛なる貌③しげる(茂)のつまる、ならば④おごそかにてぞつとすること⑤國訓もり(木の多く叢生せる所)

棊

スキ

棊
棊

①むちうつ、たゞく②罪人をうつむち(答)しもと③木の叢り生ずるさま

棲

セイ
サイ

棲
棲

契

セツ
ケツ

楔 楔 楔 楔

①くさび(楔子)ほこだち、ほうだて(根門の兩旁の木)
稱(口)さふ②木の名、ゆすらうめ③小説等を作るに甲
の事より乙の事を引出す爲めの別の一節をいふ

楚

ソ

楚 楚 楚 楚

①うばら、いばら、おどろ、そだ、叢生散木、又こま
こました雑木(口)しもと、むち、つゑ②いばら等の生ひ
茂るさま③あざやか(鮮明の貌)④列ぶ貌⑤いたむ(痛)
かなしむ、くるしむ(苦)⑥うつ、むちうつ⑦春秋戦國
時代の國の名(今の湖南・湖北・兩江・浙江・河南々部の
地)又五代の時馬殷の建てし國

楠

ナン

楠 楠

ゆづりは、又うめの屬(口)國訓くすのき(常緑喬木の二)

楸

シウ
イウ

楸

なら(落葉喬木の二)かしかの一種

楸

ビ

楸

楸

テイ

楸

①はり(梁)(口)のき(楸)なげし②まぐさ(門の入口の上
の横木)

楸

テイ

楸

楸

テイ

楸

①ねずみもち(楸に似たる常緑喬木の一種)ひめつば
き、たまつばき(口)楸の兩端に立てる木

楸

シフ

楸

①かぢ、かい(楸)(口)水路の交通、水運(口)やはらく、あ
つむ(楸)

業

ゲフ
ゴフ

業 業 業 業

楸

キヨク
ゴク

楸 楸 楸 楸

①たて(盾)(口)てすり、おぼしま②ぬく(拔)③喪に用ゐ
る車

楸

ジュン

楸 楸

①かうぞ(叢生する落葉灌木の二)かみのき(口)かみ(紙)
文書などの稱(口)さつ(紙幣)

楸

チヨ

楸 楸

①わざ、しわざ、しごと、つとめ、學問藝術(口)てがら、
いさを(鐘鼓などをかける横の棒を覆ふ板)②すてに、
もはや(口)あやふし、又そのさま③つとむ、仕事をつと
める(口)つよし、盛んなり、又そのさま④はじむ、はじ
め⑤善惡のむくひの原因となる行爲(口)くらし(生計)な
りはひ、よすぎ

楸

カイ

楸 楸 楸 楸

①きはむ、きはまる、きはまり、かぎり、はて、とゞ
く、物事の最上又は最終、どんづまり(口)むね(棟)むな
ぎ、家のしんばしら②大なる悪事、悪事を十分にす
仁徳の最上、眞善、道徳の大本、最も正しき道、大中至
正の公道(口)物事の至りつくして微妙なる所(口)とる(取)
とゞむ(止)③つく(盡)はてる、絶無(口)はなつ(つ)かる
(口)疲④天位、又無上の位、帝位(口)もと(本)⑤さかひ(境)
⑥きはめて、はなはだ(副詞として用ゐらる)⑦ぐく(星
の名、又天地の本體)⑧地軸の兩端⑨磁石の兩端、電氣
の陰陽の集中する所⑩國訓きはめ(道具の鑑定)きめ、
きまり(決定・約束)きめる(決定す、断定す)

楸

エイ

楸 楸 楸 楸

はしら(柱)圓く大なる柱

一〇畫

榎

カ

榎 榎

① ひさぎ(榎) ② 國訓え、えのき(落葉喬木の二)

榔

ラウ

榔

① 榔榔はくつろげ ② 榔榔は熱帯地に産する木の名

榘

コク

榘 榘

① 榘はくつろげ ② 榘は熱帯地に産する木の名

榘

シン

榘 榘

① はしばみ、はんのき(荆に似て叢生する木) ② 木の聚る貌、又その所(雜木林) ③ 草木の亂れ生ずる貌(蕪) ④ さかんなり(草木の盛んに生ずること) ⑤ 國訓はり(山地に自生する落葉喬木の二) ⑥ はんのき、はりのき

榘

ハウ

榘 榘

① かい、かち(榘) ② こぐ、ろ、かいにて漕ぐ ③ むち、むちうつ(榘) ④ ゆだめ、ふだ、たてふだ(立札) ⑤ かんば(看板) ⑥ 又官吏登用試験の及第者を公示する表札 ⑦ 表識すること、しるす、あらはす、掲げ示す ⑧ 士を取りて官に選ぶ順序

榘

カン

榘 榘

榘

シヤ

榘

① うてな、屋根ある臺 ② 器具を藏むる處、又樂器を藏むる所 ③ 道場(武を講ずる屋)

榮

エイ

榮 榮

① さかえ、草木のしげること ② ほまれ、名譽、物の盛んなること ③ さかゆ、名譽が高くなる、草木がしげる ④ さかんす、さかる、繁昌 ⑤ やねづま、屋根のひさしの反り上りし所 ⑥ はな(花) ⑦ 草の花、はなさく

榘

スキ

榘

たるき(榘)

榘

タフ

榘 榘

① こしかけ、細長き麻几、ねだい ② 白きぬ、答布(地あつくきめあちきもの)

榘

コツ

榘

榘は木の名、ひらぎ ② ほだ、又木のきりかぶ(木頭)

榘

榘に

榘

榘

カウ

榘 榘

① かる(榘) ② かわく(乾) ③ 又ひもの、ひざかな(乾魚)

榘

ハン

榘

① たのしむ(樂) ② 散歩してたのしむ ③ といまりて進まざるさま、とどこほる ④ たらひ、手に持つ小さきたらひ(承盤)

榘

テン

榘 榘

① こずゑ(榘) ② ひつくりかへりたる貌 ③ しげる(茂) ④ 木がしげる ⑤ 國訓まき(常緑喬木の二) ⑥ 松・檜類の總稱

榘

コウ

榘 榘

①かまふ、家屋等を組立てる、建築す、つくる(作)思考する、詩文等の作成を思案す(思)あはす(合)なる(成)成りたしせる、又元來なきことをつくる、こじつける、附會する(むすぶ)敵對す(あす)きひま(間隙)計畫する、物事を拵へる(國訓)かまふ(武器をもち敵をまつ)貌、相手に對して姿勢を整へる、なぶる、かまはる、關係す、追放の刑にあてる)かまへ(家づくり)かまひ(關係、追放の刑)

槌 ツキ
槌 槌 槌 槌

①つち、つゑ、ぼう、物を撃ちたゞくもの(口)うつ、槌にてうつ

槍 サウ
槍 槍 槍

①ヤリ(竹木等の兩頭を刻りて人を傷ける具)口いたる(抵)草を刈る具

槎 サ
槎 槎

①いかだ(査)うき(浮木)口きる(斫)木をなゝめにきる

槐 クワイ
槐 槐 槐

①ゑんじゆ(落葉喬木の)口周時代に朝廷に植ゑたる槐に向つて三公の座位ありしことに因み三公の位階をいふ

楨 コウ
楨 楨 楨

てこ、ぼう、楨杆

榭 國字
榭 榭

①さかき(常綠喬木の)一、菜木、賢木)口常盤木の總稱

一 一 畫

槩 セン サン
ザン
槩 槩 槩

①支那にて古代文字を書くに用ゐしふだ、轉じて文書書籍口てがみ(書簡)

概 カイ
ガイ
概 概

①とかき、ますかき、たひらにはかる、ならず、たひらにす(口)大むね、あらまし、ほゞ、大體(口)あたる(當)ふる(觸)口みさを(節)口人品のけだかき様子、おもむき(態度)口なげく(慨)口さかだる(酒樽)口そゞぐ(漕)口けなす、おさへる(口)心を感じしめ動かす

槩 槩に
槩 槩

榭 コク
榭

かしは(落葉喬木の)一)大葉標

木部 槩・榭・槩・榭・槩・榭・榭・榭

槩 シヤウ
槩 槩

①かぢ、かい、ろ(船具にして舷にあるもの)

榭 カウ
榭 榭

はねつるべ(水を汲む仕掛)

榭 キ
榭 榭

つき、けやきの一種、つきけやき

槽 サウ
槽 槽

①かひをけ(家畜の食器)かひばをけ(口)酒を貯ふる器、さかぶね、又凡て液體を入れる器、ふね、をけ、タンク、かめ(口)太鼓などの胴

榭 キン
榭 榭

①むくげ(落葉喬木の)一)もくげ

樂

ガク ラク
ガウ ラウ

樂

①音楽(なりもの)總稱(音曲のしらべ、音楽を奏す)のたのしみ、たのしみ、快よく感ず、たのします、愉快たのしむ、やすし(安)やすら(康)ねがひ、たのむ、ねがふ(希)このむ(好)さいはい(幸)伯樂は善く馬を相せし人、轉じて馬を相する人、博勞

榎

シヨウ

榎

①もみ(落葉喬木の)口うつ(撞)鳴物をうちならす(青葉色のふかみどり)

樊

ハン

樊

①かご(籠)かこひ(圍)かこふ(口)かき、まがき(籠)馬のはらおび(みだれる貌(紛雜)人の姓

榎

トウ

榎

樓

ロウ

樓

①木の名(國訓ひ、とひ、かけひ(水を通ずる器))たかどの、二階家(やぐら、ものみ、城のやぐら、城観)ほがら(期明)あつまる(衆)

標

ヘウ

標

①こず(梢)端末(たかし、高き枝)しるし(表)めじるし、目標(はた(旌旗)示す、かく、あらはす、あらはる、表出する)ま(的)めあて(しな、きりやう(品格・器量)字物の上に字を書きしるす

榎

シユ スウ

榎

①とぼそ、くる、戸を開閉する軸、轉じて門戸(動を制するもと)からくり、しかけ(かなめ(主要)大なる所)もと(本)なか(巾)北斗星の第一位にある星、北極星(木の名、やまにれ(をり(機會)天下の大致

樟

シヤウ

樟

くす、くすのき(常綠樹の一)

模

モ

模

①かた、のり(法式)てほん(範)もやう(文象)あや(いがた(型)のつとる(則)にせる、擬す、うつす)かたどる(なづ(撫))

様

ヤウ

様

①かた、かたち、ありさま、やうす、状態(のり(法)てほん(範)法式)もやう(文象)あや(國訓さま(人の姓名の下に附する敬語)又語の下に附して即時の意を表はす、すがた、なりふり、容貌、やう(何々の如く、何々の通りの意)ゆゑ、わけ、仔細、さま、よく、語の下に附する卑稱

一二畫

樵

セウ

樵

①ざうき(雜木)たき(薪)散材(たき)を採る人、きこり(樵夫)こる、木を伐りとる(やく(焚)誰に通ず、ものみ、やぐら

櫟

ハク

櫟

①きぢ、地質のまゝにて加工せぬ木材(けづらざる木、あらか、轉じて凡て事物の彫飾を加へざるもの、又飾りなきこと)偽らざること、まこと、天真、ありのまゝ

樹

ジュ

樹

①き、たちき、大本②植物の總稱、くさき、草木③へい(屏)かきおほひ、又屏をたてる④ゆか(牀)⑤うるる(植)⑥たつ(立)

樺 クワ 梅 榊

かば(喬木の一)かには、かばざくら

樽 ソン 樽 樽 樽

①たる、さかだる、酒樽と同じつくりの樽の總稱②やむ(止)さどむ

榎 ケウ セイ 榎 榎

そり(形箕の如くにして雪又は泥の上を踏みすべらしで行く乗り物)雪舟

橈 ダウ ネット ゼウ 橈

①さがりたる木②まぐ(柱)たわむ(撓)まがる、まげる、かむ(屈)③よわし(弱)柔弱、よわみ易し、よわる、よわめる④ちる(散)⑤みだる(亂)⑥くだく(碎)⑦をる(折)⑧しへたぐ(眞)くじく、抑へつける⑨くじける、たゆむ、閉口す⑩かぢ、かい(舟具)

榴 リウ ル 榴

ざくろ(果樹の一)じやくろ、丹若

橋 ケウ カウ 橋 橋 橋

①はし(河に架けて交通往來に便するもの、又凡て物の兩方よりかけ渡したるもの、總稱)②はれつるべの上の横木③もどる(戻)④一種の木の名、高くして上を向くより父道にたとへ用ふ⑤あなだる(侮)⑥つよくはやし(勁疾)⑦たかし(高)

橐 タク 橐 橐

①ふくろ(底なきふくろ)又小さき袋②ふいご(櫛)火をおこす器③杵にてたたく聲

橘 キツ 橘 橘 橘

①たらばな(柑橋類の總稱)又夏み(葛城王諸兄に始まる) 國訓四姓の一

橙 タウ 橙 橙

①だいご(橘の屬)②つくさ、おしまづき(凡の屬)

機 キ 機 機 機

①きざし(物の發動を司るもの)をり、しほ②萬物自然の變化③星の名④からくり、しかけ⑤かなめ(要)重要⑥わけめの場合⑦あふ(會)⑧こまやか(密)⑨木の名⑩はづみ(機會)物のおこるきつかけ⑪はた(織りもの、具)はたおり⑫分別をこらす、たくむ

椽 シヤウ 椽 椽

①とち(七葉樹)椽②つるばみ(椽の實)どんぐり

楸 ダ 楸 楸

①細くして長し、圓くして長し、又その器、こぼんがた②つちくれのつゞみ(楸鼓)

横 クワウ ワウ カウ 横 横 横

①よこ(縦の對)よこはひ、よこはら、側面、よこざま、よこの方、東西の方向、又左右の方向②よこたふ、よこに置く、よこにする、よこに佩ぶ、よこにもつ③よこたはる、よこぎりたふす、よこになる④よこぎる、よこざまに過ぐ、よこがはより断つ⑤よこしま、わがま、ほしいま、又勢盛んにしてわがまなる貌⑥威權相犯かすこと⑦ぬき(緯)⑧星の名⑨學舎(堂に通ず)

草の名(1)ト兆の名(2)盛んなる氣の満てること(3)俎のあしの横木

桎 國字

一三畫

檀 キヤウ カウ

檀 タン ダン

檉 ケイ 檉

え(枋)一に鋤の柄(口)もちのき(4)國訓かし(檣)

まゆみ(喬木の)一(口)せんだんの屬(佛家にて施主の)

めしぶみ、てがみ、ふれ、さとしぶみ、殭狀、通告文(通告文を發すること)(4)枝なき木

檣 エン タン 檣 檣 檣

ひさし、のき、屋根の葺おろしたる端、又ひさしの形せるもの、帽子又は笠などの出でたる所(口)たるき(柄)になふ、かつぐ(擔)

檉 クワイ 檉

ひ、ひのき(常綠喬木の)一(口)圓柏(口)棺のかざり(4)周代の國名

檉 榊に 同

榊 カイ 榊

まつやに(松脂)(口)國訓かしは(榊の誤用)

檉 ケイ 檉

ゆだめ、ためぎ(弓をため直す具)たむ、ため直す(口)ともしび(燈火)ともしびのだい(燈架)(4)食物を盛る器

檢 ケン 檢 檢 檢

ふら、ふういん、しるし、文書を封じたるしるしの印(口)ほんば(口)とりしまる、とどむ、しめく(口)のり(式)模範、てほん(文書のしたがい(草案)(口)しらぶ、かんがふ、たどす、案驗(口)おこなひ、行儀

檣 シヤウ 檣 檣 檣

ほばしら(帆柱)

一四畫

檻 カン 檻 檻

てすり、おぼしま(欄干)れんじ(檻)(口)をり(罪人又は猛獸などを繋ぐ所)又をりに入れること(4)檻々は車の行く聲(口)桌の正しく湧き出づるもの(口)檻に通ず、たらひ(浴器)

檻 タウ 檻 檻 檻

かい(口)かぢ(舷に取りつけて船を漕ぐ具)

檣 ひつ、はこ(籠) 檣 檣

一五畫

檣 檣 檣

①おほだて、大なるたて(大盾)②やぐら屋根なきもの
③戦陣の高巢車④ろ(船を進むる具)⑤國訓やぐら
(ものみの高樓、城壁や門の上のもの、おやぶねの甲
板、木を組み高くかまへし棧敷、こたつの上をおほ
ふ棧)

櫛 シツ 櫛 櫛 櫛 櫛

①くし、髪毛を整へる具②くしげづる、けづり、ぞく
(剔除)③つむ(積)④櫛の函の如くこまかくならぶ

積 トク 積

①ひつ(匱)はこ(函)②ひつぎ(箱)③几案の屬

櫛 レキ 櫛 櫛 櫛 櫛

①くぬぎ(落葉喬木の一)實をどんぐりといふ②不用の
木、轉じて無用のもの

一六一一七畫

櫛 レキ 櫛 櫛 櫛 櫛

①うまやのねだ(厩棧、馬をつなぐ木)②馬のかひをけ
(馬槽)③木の名、くぬぎ(櫛)④櫛はゆびひしぎの刑
具(十本の指を縛りつけるもの)

櫛 レイ 櫛 櫛

れんじ、かうし窓の棧、隠棧、又は格子などをいふ

櫻 アウ 櫻 櫻 櫻 櫻

①ゆすら、ゆすらうめ(灌木果樹の一)國訓さくら(落葉
喬木の一)日本の名花

欄 ラン 欄 欄 欄 欄

①てすり、おぼしま、らんかん②をり、牛馬を入る、
をり(圍)③木を横にしたるかこひ④文書等の周圍に畫
したる線、罫線、又その外まはりの輪廓の線

一八一三三畫

權 ケン 權 權 權 權

①おもり、はかりのおもり②はかり、物の重量を計る
具③輕重の標準、めかた④物のつり合ひ、平均、又つ
りあひをとる⑤はかる、日方をはかる⑥いきほひ、ち
から、勢力⑦はかりごと、臨機應變の處置⑧かり、か
りそめ、一時の都合、まにあはせり⑨はじまり、はじめ
人をだますこと、いつはり、術數⑩そへ、正に對する副

藥 ラン 藥 藥

攬 ラン 攬 攬 攬 攬

①あふち(棟)②竹の集り生えたるさま③身體のやせた
るさま④團樂はまどらか、まどか、圓く坐ること⑤ひ
ちき(柱の上のますがた)

攬は木の名

欠部

欠 ケン 欠 欠 欠

①あくび(氣の倦む時自然に出る息)あくびす、あくぶ
②かく(缺)不足す、不足させる③かり、負債、怠納

二 畫

次 レ ジ 次次

① つぎ、つぐ、つづく、第二、その二、第二番目、一段下つた等級② ついで(次第)ついで、順序を立てる、つゞき、順番③ 引つゞき、後の方の番、やどる(舎)やどり、とまり④ くらゐ(位次)赤とどまる、やどる、宿泊す⑤ とまるところ、又やどる所⑥ なる(處)ところ、場所、又すわる場所、位置⑦ 帷を張りたる所⑧ 門外にありて衣を更むる所⑨ しゆくば(市亭)⑩ 星のやどり、星座⑪ なか(中)うち、あひだ(間)⑫ いたる(至)⑬ 髪を編みて首の飾りとなすこと⑭ あはたゞし、又そのさま⑮ 進まんとして進まざること、又そのさま⑯ 度數又は回數を表はす語、め、たび

四一六 畫

欣 キン 欣欣

① よろこぶ、又そのさま② 草木の生々したるさま

歎 カイ 歎

① しはぶき、せき、息が急に出て音を發するもの、又せき② せきの出る病③ せきばらひ、又わざとせきをしてこはづくるひをすること④ 笑ひつゝ語ること

七 畫

歎 ヨク 歎歎

① ほつす、れがふ、のぞむ② 物事に感じて性情の動くこと③ しかなりかゝつてゐる、しかせねばならぬ④ むさぼる心、願ひ求める念

歎 キ 歎

① なく、すゝりなき、むせびなく、すゝる、すゝり泣く② なげく(哀みて止まざること)③ 涙にむせぶ、むせびなき④ おそる(懼)

八 畫

歎 イ 歎

① よる(倚)かたよる、かたむく、依倚する② そばだつ、そびえたつ

歎 キ 歎

① あざむく、いつはる、うそいつはり、だます② 自ら己れの心を昧くすること

歎 キン 歎

歎歎

歎 クワン 歎

歎歎

① つゝしむ(敬)おそれ敬ふ② 思ひ望む貌、したふ(慕)又そのさま③ 天子に關する事物に冠する語④ 鐘の聲の節あること⑤ うらやむ(羨)

① まこと(誠)まごゝろ、よしみ、真情② たゞ(叩)門をたゞきて通行を求むる義③ いたる(至)とどまる(留)④ こまやか、委曲、委細⑤ きざむ(刻)⑥ 石に文字をきざむ、歎は陰字にて凹入せしむるもの、轉じて印形⑦ むなし(空)あな(穴)あく、すく、うつろ⑧ ひろし(闊)⑨ ゆるやか(緩)ゆるし⑩ 約束、又は帳簿等の簡條書

九一〇 畫

歎 キン 歎

歎

① うく、神靈の驗あること、神が供物を受けたまふ意、祭事が神意にかなふ② ござさうになる③ うごく(動)④ うらやむ(欣羨)⑤ むさぼる(貪)

歌

ケツ カツ
アツ

歌

①ヤむ(息)②つく(竭)もる(泄)もらす③はなづらの短
かき犬④人の名

歎

ケン
カン

歎

①あきたらず、不足におもふ、不足に思ひうらむ②すく
なし(少)③うらみて口に出さざること④むさぼる(貪)
⑤ついでむ(喙)穀物が十分に實らぬこと

歌

カ

歌

①聲に節をつけてとなへる、うたふ②曲を樂に合せて
うたふこと、うたへるやうに述べる、うたにつくる、
又そのもの③詩に對して日本のうたをいふ④うたふ、
しまはし、曲節⑤歌ふやうに作りし文詞⑥樂鐘の名⑦
國訓うた(和歌)やまとうた

一 一 畫

歎

タン

歎

①なげく、なげき、うめく(吟)ためいきをつく②感心
してほむ(稱美)又そのこと③たすけうたふ(歌の終り
の聲を曳きて助くること)④いきどほる(慷慨)⑤いた
み悲しむ

歌

オウ

歌

①はく(嘔)あげる、もどす、口から出す、へどをつく
②歌に通ず、うつ(播撃)杖でうつ③調に同じ、うたふ
④罪人を刑する刀、くびきりがたな⑤歐羅巴の略、西
洋、外國

一 二 一 八 畫

歌

キヨ

歌

なく、すよりなく、むせびなく、涙にむせぶ

歎

キフ

歎

①すふ(吸)氣を體內にすひこむ②あふ、あはす(瀦)あ
つまる、一つにす③おびやかす(脅)④おそる(懼)⑤を
さむ、とりこむ、收斂す⑥鼻口をぢめる、息をひそ
める

歎

ヨ

歎

か、や(與に同じ)疑問、推測、不定などの意味をあら
はす助辭、語氣のゆるやかなる場合に用ふ

歎

クワン

歎

欠部 歎・歎・歎・歎 止部 止

①よろこび、たのしみ(喜樂)②したしみ(親)③よろこ
ぶ、たのしむ

止部

止

止

①とどまる(留)たちどまる、とまる、ふみとまる、又
とめる、禁止する、くひとめる、遮る②安堵して居る、
③住み居る④動かぬ、靜まる、心を落つけて居る⑤や
む、やすむ(息)又やめる、爲さぬ⑥う(獲)とりこむ⑦
えらる、とりこになる⑧すがた、容儀⑨わづかに、た
だ⑩意味なき助辭として用ふ

一 畫

正

セイ
シャウ

正

①たゞし、まつすぐである、きちんとして居る、又そのこと、たゞす、たゞしくす、正直にす、きちやうめんにする、まつすぐにする②そなはる(備)たる(足)③役人のかしら、をさ(長)又官の名④つね(常)なみ⑤さだむ(定)きめる(決)罪をさだむ、是非をきはめ定む⑥なほし(直)よこしまでない事⑦たひらにたゞす(平質)⑧物を以て憑據さなす⑨をさめさばく⑩あらかじめ期すること、あてにす、豫期す⑪賢くすぐれたる人、先哲⑫政と通ず、まつりごと⑬室の明るき方に向ふ處⑭まなか、的の中央、又ほんもの、表向のもの⑮支那の曆學上歳暮の標準となるもの⑯たゞしく、まさに、たゞ、まさしく、たしかに、ちやうど⑰位階を甲乙に分ち甲の稱⑱或數に加はりてふへる性質の數⑲順當である、適當してゐる

二一三畫

此

此

①こ、これ、この(彼に對する語)②こゝ、このところ(最も近き場所、又は物)③こなた、こちら④こゝに、そこで⑤かく⑥とゞまる(止)

步

ホ

步

①あゆむ、あるく、足を運ばせてゆく、かちあるき、あゆみ、又そのこと②あし(足)足のはこび、ひとあし、又足にて度る尺度(二足あるくだけをいふ)又土地丈量の尺度(六尺或は六尺四寸など時代によりて差あり)曲尺六尺四方③あゆまず、あるかせる、ひきゆく④てごしにて行く(輦行)⑤しづかに行く(徐行)⑥おほまたにあゆむ(濶行)⑦みぎは(水際)はとば、ふなつき(埠)わしたし⑧徒にて鼓を撃つこと⑨ならはす⑩さかづきをめぐらす(歩尉)⑪醜に同じ、裁害をなす神⑫機運、めぐりあはせ、運命⑬わりあひ(率)又口錢⑭位につく⑮天文をはかる、又そのこと

四一九畫

武

ム

武

①たけし(健)つよし、いきほひ(威)いきほひつよし②諡法の一③周の武王のつくりし藥の名④あと(迹)あしあと、つぐ(繼)⑤冠卷、又冠の名⑥長さの名、一步(六尺)の半分⑦玉に似たる石⑧無と通ず⑨いくさ、又戦鬪の術、兵事軍事及兵軍に關せる人、又つよき人⑩周の名君武王の稱、又その作になる音楽

歪

ワイ

歪

ゆがむ、ひずむ、まつすぐでない、たゞしくない

歳

セイ
サイ

歳

二二一四畫

歴

レキ
リヤク

歴

①と(し)地球の二公轉の間)一箇年、一年②みもの(穀物の成熟すること)よきみのり、豊年③よはひ(年齢)又年齢を示す語④つきひ(光陰)日月のすぐること⑤と(し)⑥星の名、木星、歳星⑦時節、時候、又新年

歸

キ

歸

①かへる(還)いる(入)かへす(反)もどす、もどる(戻)もと通りにす、もとの方にかへる、返却す、取りし物を返還す②おくる(饋)贈り與へる③よる(依)つく(附)④とづく(嫁)よめに行く⑤まかす、ゆだね(委)他の所爲にまかす⑥くみす(與)ゆるす(許)⑦あふ(合)⑧をはる(終)をはり、おもむく所、又落つく所⑨おもむく(指)趨)なづく⑩いたる、外よりいたること⑪をさむ(藏)⑫したがふ(服)⑬珠算に於て一桁の法にて割ること

歹部

二一四畫

死 シ 死 死 死

①しぬ、生命竭く、息がたえる、生氣つきる、命をとられる、殺される、活動がやむ、始めてしぬ、新たに

死ぬ①しなす、しなせる②庶人の死(崩・薨・卒等の對)③しにもぐるひ、命をなげだす④命に洵はる、危険の甚しきさま⑤かれる(枯)ほろぶ(亡)ころす(殺)

殀 古字

殀 エウ

殀 殀 殀

①わかじに(天)短折②ころす、きりころす(斷殺)

五畫

殛 ソ

殛

祖に作る①ゆく(往)しぬ(死)死んでゆく②王者の死をいふ、後世には正統外の天子にいふ

殛 アウ

殛 殛

①わざはひ(福)わざはひす②がめ(咎)天の罰、神明のとがめ③つみ(罪)④ばつす(罰)⑤やぶる(敗)そこなふ、不幸にす

殛 テン

殛 殛 殛

①つく、つくす(盡)たつ、たゆ(經)なくす、滅しつくす②やむ(病)やます

殛 タイ

殛 殛 殛

①あやふし(危)あぶないさま、又そのこと、不安心、危険②ちかづく(近)ちかし③おほかた、ほとんど、多分、今すこし、十中の八九、すんでのこと

六畫

殛 ジュン

殛 殛

①したがふ、死者の後を追つて死ぬこと、從死、又其の人口一身を捨て、或事のためにつくすこと

殛 シユ

殛 殛 殛

①ころす(誅)しす(死)②さだむ(定)きめる、決す、決心す③たつ(絶)たやしつくす④ことに、とりわけてきざつく、傷つきて未だ死せざるさま⑤わかたつ(別)ことなり(異)ことにす⑥すぐ(過)

八畫

殖 ショク

殖 殖 殖

①うゑる(種)植物をうゑつける、はやす(生)②ふえる、子孫が生れる、財貨に利息が生ずる、物の數が多くなる、又ふやす③しげる(蕃)繁昌する、隆盛になる④そだつ(長)⑤たつ(立)⑥平らかなるさま

殘

サン

殘 殞 殞 殞

①そこなふ(賊)しへたげる。殺しきづける、やぶる(壞)こぼつ、ほろぼす、ふも(踐)②そこなはる(多)多く殺傷すること、又はなちおふ(放逐)ころす(殺)③くひのこり(食餘)のこり、のこる、のこす、あまり、あまゐる、あます④無慈悲なる者、悪人⑤かく(缺)⑥あしざまにのしる(惡罵)そしる、讒言す⑦留り存す、遺留す、又留め置く

九一一畫

殞

キヨク

殞

①つみす、刑罰にあてる、ころす(殺)罪をもつて殺す、せめころす(誅)②しす(死)③せめる、とがめる、又そのこと

殞

ケン

殞 殞

殞

シヤウ

殞 殞

①みまかる(殺)②おつ(落)おとす、落下す、命をおとす、死ぬ

一二一七畫

殞

エイ

殞 殞

①しぬ(死)②しにたゆ(殄絶)③つく(盡)④たふす、ころす、たふる(仆)ちづむ(埋)

殞

タン

殞

①つく、つくす(盡)なくなる、取りつくす②きはまる

殞

ヒン

殞 殞 殞

①かりもがり(屍)を棺に入れ未だ埋めぬ間)かりもがりす(死者)を棺に入れ祭る②うづむ(埋没)又使用せずして藏す

殞

セン

殞 殞 殞

つく、つくす(盡)ほろぼしつくす、みなごろしにつきたえる

歹部

歹

シユ

歹 歹

①ほこ(周尺にて長さ一丈二尺の戈)又戈の如き兵器②戟の柄③書法の名④國訓るまた

歹部 殞・殞 歹部 歹・段・殷

五一六畫

段

タン

段 段

①きだ、きれめ、わかち、くざり②てだて、手術③きは、際④こわけ(部分)くざり、語りもの、一段⑤田畝を度る標準(歩の三百倍)⑥距離をはかる名(一丈の長さといひ又六間ともいふ)⑦技藝の優劣の等級⑧だん、だん、きざはしりたん、一人前の衣服とすべき布帛(鯨尺の二丈六尺)⑨布帛を一定の寸法にてちぎりしもの⑩書簡文の廉・件・次第等の意

殷

イン

殷 殷 殷

①さかんなり、豊富盛大②なか(中)③たゞし(正)たゞす④おほいなり(大)⑤あたる(當)まん中になる⑥朝の名⑦ねんころ⑧雷のとどろく聲⑨もろく、又おほし(衆)うれへるさま⑩赤黒き色

七一八畫

殺

セツ
セイ

殺殺殺殺

①ころす(戮)刃にてころす、命をたつ、死なせる(口)か
つ(克)(獲)②死に同じ、又ほろぼす(亡)③なでる、
拭ふ、消す、草をなく④からす(枯)かる(ト)やぶる(敗)
ちる(散)⑤そぐ、へらす、等級をへらす⑥毛羽の蔽は
る(ト)こと⑦くさる、くさらす⑧屍をつむむ(其上なるを
質といひ下なるを殺といふ)⑨とし、はやし(疾)はなは
だ(太)はなぐし

殺

カク
コク

殺殺殺

①から(卵・貝類のから)②果實の厚き皮、物の表面をお
ほふ堅き外皮の總稱(ウ)つ(打)た(ト)く、ぶつ

殺

カウ

殺

①まじはる、まじる、まじふ(口)みだる、みだす(亂)淆
に同じ(口)さかな(肴)②神にそなへるいけにへのからだ
(俎實)③肉つきの骨

九一一畫

殺

デン
デン

殺殺殺

④堂の高く大なるもの、との(てん)後に天子の住居
の稱(貴人の住居(後に神佛などの祠堂の稱)⑤しんが
り、又おさへ(軍後)退軍の時後に踏止まりて敵を防ぐ
軍務、しんがりす⑥功績の下等なるもの(し)つむ(鎮)
さだむ(定)⑦うめく(呻吟)⑧うつ聲⑨國訓との(主人
とせる貴人、城主、夫又は男子の稱呼)どの(敬意を表
する語)

殺

キ

殺殺殺

母

ホウ
モ

母母母

①は、父の配、たらちね(己を生きたる女親)轉じて物
を生ぜしめるものと(口)うば(乳母)②禽獸の牝③大小相連
れる物の大を母といひ小を子といふ(口)もと(元金)

每

バイ
マイ

每毎

①つね、つねに(常)②ごと、ごとに、そのつぎ、その
たび、おの(各)ものごとに(口)およそ(凡)③い
へども(雖)④むさぼる(貪)⑤かず、かぞふ(數)⑥草の
盛んに生ずる貌

毒

トク
ドク

毒毒毒

①どく(健康を害し命を危くするもの、總稱)すべて物
を害するもの(口)毒をのませる、又毒を物に混和す②あ
し(惡)そこなふ(害)そこなひ害す③いたむ(痛)くるし
む(苦)うらむ(恨)④薬の名(毒藥)⑤つかふ(役)⑥をさ
む(治)⑦やしなふ、そだつ(育)

殺

キ

殺殺

①つよし、たけし(剛)こはし、おもひきりよし、果斷
である(口)みだりにいかる(妄怒)

母部

母

ム
ブ

母母母

④禁止の辭、なかれ(勿)⑤なし(無)⑥母寧又は母乃と
連用して反語とす

一一九畫

毓

イク

毓

育に同じ、そだつ、はぐむ、やしなふ

比部

比

ヒ

比

①くらべる、照し合す②ためし、先例③わりあひ、比率④ちかづく(近)したしむ(親)したがふ(従)⑤おもねる、へつらふ⑥周制にて五家一組の稱、轉じて郷里、近鄰⑦ころ、ころほひ、又およぶ⑧しきりに、まいく⑨このごろ、ちかごろ⑩ならぶ、つらなる、しらべる、對する⑪ならぶもの、つれあひ(配偶)⑫たぐひ(匹儔)くらべもの⑬人民の學徳を試験したる周代の制度⑭易の卦の名⑮詩の六義の一

五畫

玆

ヒ

玆

①つゝしむ(慎)②いたはる、ねぎらふ(勞)③つかる④泉の流れる貌

毗

ビ

毗

①あきらか(明)②あつし(厚)③たたく(輔)補助す④あはす(併)⑤益す

毛部

毛

マウ モウ
モ バウ

毛

八一三畫

毳

セイ

毳

①細き毛、むくげ、にこげ②冕服の名(周代に子・男爵の人の著せしもの)③かんむりの一④柔かき肉、又やはらかなる物⑤鳥の腹の羽毛⑥柔かき毛の織物、又は衣服

毳

サン

毳

毛の長き貌、又物の細ながく垂れたる貌

毳

セン

毳

毛を踏みつくりたるしきもの、毛むしろ、まうせん

毳部

毳

キウ

毳

①まり(鞠)たま、又毳の形をした圓きもの

毫

カウ ガウ

毫

①け、細き毛、長く鋭き毛②數量の名(一釐の十分の一、十絲)③筆のほさき、又單に筆④わづかなるもの、すこし

七畫

毛部 毫・毳・毳・毳

氏
シ
氏
氏

①うち、みやうじ、やから(同姓より分れたる一支族の稱、後に姓と混用す)②婦人の姓の下に用ゐる語③人の稱號の下に用ゐて敬語とす④種族の稱⑤世襲の官職の下に添へる語⑥昔朝又は國の下に添へし語⑦墮ちかゝれる崖⑧國訓うち(家門又は家柄の稱)敬意を表する語

一一四畫

氏
テイ
タイ

氏

①いたる(至)②もと(本)ねもと③おほよそ(抵)④古昔支那巴蜀地方に住せし部落⑤ふす(俛)たる⑥いやし(賤)

民
ミン

民
氏
氏
氏

①たみ(生を此世に受けたる人は君主をのぞきて皆たみといふ)②位又は官にあらざるもの③自己以外の衆くの人④星の名

氓
バウ

氓
氓

たみ、庶民

气部

气
ケ
キ

气
气
气

氣に同じ①いき②雲の氣③もとむ(求)一説にとる(取)

四一〇畫

氛
フン

氛
氛

①き(氣に同じ)②氣の盛んなる貌、もやく〜すること③あしき氣(妖氣・惡氣)④凶事の象

氣
ケ
キ

氣
氣
氣

①いき(息)呼吸②がす(瓦斯)又五感にふれし形なきもの③自然界に起る現象、又大空に現はれる現象④いきほひ(勢)ちから、生命を保つ勢力、活動力⑤天地生成の原因⑥一年間を二十四分したる一期、轉じて時候⑦鼻を物に觸れてかぐこと⑧ありさま、おもむき(情景)おもしろみ⑨こゝろもち、意思、感情⑩うまれつき、持前の氣質

氤
イン

氤
氤

氣の盛んなる貌、又天地の氣

氳
ウン

氳
氳

天地の氣合ひて盛んなる貌、又天地の氣

水部

水
スイ

水
水
水

①みづ(酸素と水素とより成れる液體)かは(河川)洪水、大水②たひらかにす(準)横に平らかなる貌③北方の位④五行の一⑤うるほす(濡)⑥凡て水に關することにいふ、又水に似たるもの⑦水をくむ、水仕事

一畫

氷 ヒヨウ
氷の俗字 〇こほり 〇つら (氷柱) 〇矢筒の蓋

永 エイ
ながし、距離ながし、ながくす 〇とほし (遠) はるか (遐) 〇時の長きにいふ、ひさし (久)

二 畫

汜 ハン
水がひろがりあふれる、はびこる 〇うかぶ、うごく、定まらぬさま 〇あまねし (普) ひろし (博) 〇川の名

汀 テイ
みぎは、きし、なぎさ 〇す、小さい洲

汁 シフ
シフ

求 キウ
もとむ、さがす (索) 〇ねがふ (願) のぞむ (望) 〇招く、来たす 〇せめる、責めとがむ 〇つとめる、要する 〇むさぼる (貪) 〇所望する、無心する

三 畫

汎 ハン
うかぶ (浮) 水にうかぶ、浮びたゞよふ 〇ひろし、あまねく博し

沙 セキ
セキ

しほ、うしほ (夕潮) 夕に起る沙のさしひき (朝のは潮) ゆふしほ

汕 サン
せん

すくひあみ、さてあみ

汗 カン
カン

あせ (皮膚からしみ出る汗) 〇あせす、あせかく 〇水廣くしてかぎりなきさま 〇酋長の號

汗 ワウ
ワウ

けがす、きたなくする、はづかしめる、けがらはしくする 〇けがる、けがれ、けがららしいこと、又けがれたるもの 〇たまり水、濁つた池 〇低い土地、窪地 〇衰へる、低くなる 〇意をまげるときよむ、不淨を洗ひさる 〇ほる、土地を掘りくぼめる

汚 汗に
同じ

汝 ジョ
なんぢ (爾) おまへ (古く女に作る) 〇川の名

江 カウ
カウ

支那の揚子江の略稱 〇え (河川の汎稱) 〇星の名 〇國訓え (いりえ)

池 チ
チ

いけ、土地が凹んで水のたまつてゐる所 〇地を掘つて水を貯へたる處、ほり 〇城郭の周囲の濠 〇棺の飾り、柩を埋むるあな 〇琴の上面 〇飛ぶさま

四 畫

汨 イツ

汨 汨

水の疾く流れる貌。又歩くさま。

注 ワウ

注 注

水のふかくしてひろき貌。濁つた池。

洩 ゼイ

洩

水のめぐつて流れこむ所、川のくま。

汰 タイ

汰 汰

おごる(身分不相應に贅澤をする)。(過)。(よな)ぐ、えらびわける。

洩 キフ

洩 洩

くむ、水をくみあげる。(引)ひきこむ、又人物を引き上げ用ひる。(い)そがしき貌、休まず力める貌。(いつ)はりの貌。

洩 ボン

洩

川名(山東省所在)。(け)がれ、はぢ、はづかしめ。

洩 ケツ

洩 洩

きる、堤がきれて水が溢れ出る。(商)て物をかみきる。(き)まる、きむ、心を定む、是非曲直を分つ。(き)まり、さだめ。(ゆ)がけ(弓具の名)。(思)ひきるさま。(わ)かる(譯に通ず)。(は)やいさま。(す)さま(缺に通ず)。(け)つして、打消の断定をあらはす副詞。

洩 キ

洩 洩

みづけ、水氣、ゆげ、水蒸氣。

洩 フン

洩 洩

川名(山西省所在)。

沁 シン

沁 沁

しむ、しみこむ、しみる。

沂 キ

沂 沂

川の名(山東省所在、泗水の支流)。

沃 ヨク

沃 沃

そぐ(水をかけて手を洗ふ)。(さ)かんなり(盛)。(わ)かくしてみめよし(壯)。(や)はらか(柔)木の葉の若く柔かなるさま。(地)味の肥えたること、又其土地。(な)が(あ)め(霖)雨。(ト)特に「ヨ」の發音して元素の音譯にあて(沃)度。

沆 カウ

沆

水深く廣々とせる貌。(沆)沆は露の氣或は海の氣。

沈 チン

沈 沈

しづむ、水底に落ちる。(酒)色にふける、迷ふ。(思)ひつめる。(お)ちぶれて浮ばぬ。(お)ぼる(溺)。(と)こぼる(滯)。(ふ)す(伏)。(ふ)かし(深)奥ぶかいさま、又宮殿の奥深い貌。(心)のおちつきたる貌。(廣)く際涯のない平地、水が干て鹽分の多い澤地、ひかた。(あ)まみづ(支)那の古の國名、又姓。

沌 トン

沌 沌

物事の未だ分明に成り立たぬさま、判別せぬ状態。(ふ)さがる(水)の勢の形容。(め)ぐるさま(轉)。

洩 コ

洩

ふさぐ(塞)とづ(閉)又ふさがる。(こ)ぼり、こぼる(凍)かされる(湖)。

①をさむ(政を布き民を統御す)たゞす(亂れざるやうにす)取しらべる、しづめる②をさまる③をさめ、をさまり④くらぶ(校)かんがふ⑤監督する、始末する、しづめる⑥うつたへを聴く、又その決定、宣告⑦政治の才能⑧道教の家の静室⑨地方長官の居る處⑩まつりごと、いさを(功績)

沼 セウ 沼 沼 沼

①ぬま(水のみたまりたる處)いけ、さは

沽 コ 沽 沽

①うる(賣)②かふ(買)③酒をうるもの、さかや④おろそか(粗略)

沾 セン テン テン 沾 沾

①うるほふ、うるほす(濡)ぬらす、ひたす②こやす、こえる(肥)涵養す③ます(益)そふ(添)④輕薄なるさま

沿 エン 沿 沿 沿

①そふ(水流又は川すぢにつきしたがつふ)②したがつ(循)よる(因)③ありきたり(物事の往來する所)

況 キヤウ 況 況 況

①いはんや、まして、なをさら(上を承けて下を説く辭にして多くは下に平哉を附して「をや」と讀ましむ)②たとふ(譬)③こゝに(茲)④たままの(既)⑤たたまふ(賜)⑥だされる⑦ありさま、おもむき⑧他人の訪ね來るにいふ謙辭

泄 エイ セツ 泄 泄 泄

①もる、漏洩する、内容物が外にぬけ出る、内部の事情が外部に露顯する②もらす③のぞき去る、除去する、おし出す④ゆるやかなるさま

洑 イツ 洑

①あふる(溢)こぼれる②みだら(淫)わがま、ほしいまゝ(恣)

泉 セン セン 泉 泉 泉

①いづみ(水の湧き出るもの、又其所、水流のみなもと)②ぜに(貨幣)

泊 ハク 泊 泊 泊

①とまる、船がとどまる、やどる、一時身をよせる②とめる、とまり、船のとまる所③やどり、やどや(旅舎)④しづかなるさま⑤利益に迷はぬさま

泌 ヒ ヒツ 泌 泌 泌

法 ハフ ホフ 法 法 法

①ながれる、ながれ、はやきながれ(狭流)又泉がわきて流れる貌②しむ(滲)にじみ出る

①のり、かた、てほん、おきて、道理禮儀②律令、刑罰③だて、方法、方術④のつとる、模範とする、かたどる⑤除法の割る方の數、除數⑥佛教、佛道、佛法⑦佛蘭西の貨幣フラン(Franco)のあて字

泗 シ シ 泗 泗 泗

①川の名(山東省所在)②はなしたる、水げな

汎 セイ 汎

①きよし、水清し②あざやかなる貌③汗の出づる貌

泛 ホン ホウ 泛 泛 泛

①うかぶ(浮)②ひろし(汎)③くつがへす(乗者をひつくりかへす馬の義にて常規に従はざる英雄に譬へて云ふ)

冷

レイ

冷 冷 冷 冷

④川の名⑤水又は風の清らかなる聲⑥音楽師(俗に通ず)⑦風の和らぐさま

泡

ウ

泡 泡 泡 泡

⑧あわ、水上に浮ぶあわ、うたかた、あぶく(浮漚)⑨水の流れる貌、又水のわき出るさま、その聲⑩盛んなるさま

波

ハ

波 波 波 波

⑪なみ(浪)⑫波の如く起伏するもの⑬平穩ならざるさま⑭文章の起伏抑揚等の状態⑮水面の一點より環状の波が四方に傳はり行く現象⑯なみたつ、波がおこる

うごく、動搖する⑰目つき、眼光⑱波の如く傳はり行く⑲亞細亞洲の一国の名、波斯(Persia)の略

泣

キフ

泣 泣 泣 泣

⑳なく、なき、なみだす、哭す⑲國訓なき(苦勞、うきめ)わび(謝罪の意)かこちごと(愚痴)

泥

ナイ

泥 泥 泥 泥

⑳どろ(土に水のまじりたるもの)ぬかるみ、どぶどろ、泥の状をせるもの㉑けがす、又けがる(汚)にござる㉒よし(弱)㉓南海にすむ一種の蟲の名㉔泥蟲の骨なくしてぐたぐたゝせるより酒にひどく酔えるを泥酔といふ㉕露の多き貌、又柔くつやある貌㉖なづな、とゞこぼる(滯)㉗かゝはる(拘)

泪

涙に

泪 泪 泪 泪

注

シユ チユ
チュウ

注 注 注 注

①そよぐ(灌)つぐ、水が入りこむ、流入する②ひく、水を引入れる③射る、又流し入る④つける、水をかける⑤むける⑥くはしく説明す、又そのもの

注

ケン

注

注

ゲン

注

注

ハン

注

①とく(氷がとける)②古代大名の郷射禮を行ひし所③ちる(散)又とけちる④わかる、わかっ(判)

注

ミン

注

⑤ほろぶ(亡)つきる(盡)なくなる⑥水の流の清き貌⑦広く暗くして分明ならざる貌、茫々⑧まじる(混合)⑨くらくして分明ならざる貌

泰

タイ

泰 泰 泰 泰

①おほいなり(大)ひろい②とほる(通)③はなはだ(甚)すし(安)ゆるやか(寛)落つけるさま④おどる(修)おごり⑤西の風⑥丘又山の名⑦易の卦の名

決

アウ

決

①水の深く廣き貌②大なるさま、廣大なるさま③水の流るゝ貌

泳

エイ

泳 泳 泳 泳

④およぐ、水中をくぐりおよぐ⑤およぎ、よくおよぐこと、又その術

洄

クワイ

洄

①さかのぼる(溯)流に逆つて上る②水の流るゝ貌

六 畫

洋

ヤウ

洋海

①大なる海、そとらみ、又おほなみ②廣きさま、大き
いさま、多いさま、盛んなるさま③他の語に添へて西
洋の物であることを示す

洌

レツ

洌海

①きよし、水きよし、酒のすみてきよきにもいふ②さ
むし、ひやよか、つめたい

洗

セン
セイ

洗洗

①あらふ、足を洗ふ、あらひ清む②けがれを去る、清
潔にする③水を容れる器、たらひの類④基督教にて新
たに信者となる者に施す儀式(洗禮)⑤國訓あらひ、魚
の生き身をうす作りにして冷水であらひしもの

洌

シユ

洌海

川の名(山東省所在、泗水に會す)

洛

ラク

洛洛

①川の名(黄河の支流)②都の名(洛陽)轉じて都、日本
にては京都の稱③水たまりて下ること④絡に同じ、か
らむ

洞

トウ
ドウ

洞洞

①ほら、ほらあな②つらぬく、つきとほす③さとりに知
る、通達する④ほがらか(朗)⑤まじめなるさま⑥はや
い流れ

津

シン

津津

①つ、わたしば、ふなつき②きし、がけ(崖)③しる(液
汁)あふれ出るさま④つて(黄縁)

洌

キ

洌

名(河南省登封縣所在)

洌

エイ
セツ

洌洌

①心のよびくするさま②風にしたがふ貌③飛びかけ
さま④もる、もらす(漏)⑤へる、へらす(滅)

洪

コウ

洪洪

①おほみづ(大水)②おほいに、おほいなり(大)

溢

キョク
ケキ

溢溢

①みぞ、田畝の間にある水道②いけ、城のまはりをと
りまくほり(城池)

洲

シウ
ス

洲洲

①す、しま、砂が盛りあがつて出来た島②くに、地球
上の大陸の稱

洌

ジュン

洌洌

①まこと、まことに(信)②とほし(遠)

洌

キヤウ

洌洌

①わく(涌)水がわきあがる、又その聲②大勢にてさわ
ぐさま、どよめく

洌

クラウ

洌

①水のわきたつひかり(涌光)②つよきさま、たけく
③水深く廣きさま④ほのか(悦・恍に通ず)

活

クラウ

活活

①いく、生存して居る、生きながらへる。②おひたつ、生育する。③よみがへる(蘇生)。④勢よく動く、生氣が発動する。⑤いかす、死から救ふ、死なぬやうにする、蘇生さす。⑥くらす、又くらし(生計)。⑦水の流れる聲。⑧國訓くわつ(柔術で氣絶者を蘇生さす法)。

洽

カフ

洽

①やはらぐ(和合)なかくする。②うるほふ(霑)うるほす。③あまねし(徧)ひろくしみこむ、ひろくゆきわたる。④川の名。

派

ハイ

派

①わかれ、えだ、支系、わかれしもの。②川の分れ(分流、支流)。③わかれる、またになる。④政黨・學問等の分れたるくみ。

流

リウ

流

①ながれ、水のながれゆくこと、ながれゆく水、流れる。②めぐみ(恩澤)。③わき出る、ほとばしる。④物事にしまりがなくなる。⑤ぐるぐる廻る。⑥移りゆく。⑦さまよふ。⑧ひろまる。⑨ながす、水などをながす。⑩しく、布きならべる。⑪もとむ(求)。⑫しまながし(刑罰の一)。⑬根據がない、出所が分らぬ。⑭階級・品位・品等。⑮或一派の専門の學又は術。⑯周代の王畿を去る千里の地。⑰漢時代の銀八兩の重さの稱。⑱國訓ながれ(子孫、旗、幕などの數を示す語、立消えになること、質物などの期限を經過して債主の所有に歸すること)。

浙

セツ

浙

浚

シユン

浚

七畫

①川の名(浙江省所在)又浙江省の略。②とぐ、米をとぐ。③河と混用す。一説によなぐ(汰)。

①さらふ(井・川・堀等の底をふかくすること)。②つゝしむ(敬)。③國訓さらふ(根こそぎとる、残らず拂ひ去る)。

浹

ボツ

浹

①さかんに起るさま。②盛んなり。③わく(涌)にごる(渾)。

浣

クワン

浣

①あらふ(澣)すゝぐ(澣)洗濯する。②官吏の休日、又十日の稱。

浥

イフ

浥

①うるほふ(潤)うるほす。②ひたる(漬)しめる(濕)しめす。

浦

ホ

浦

うら、海また湖などに沿ひたる一帯の土地。

水部 浹・浣・浥・浦・浩・浪・湮・浮

浩

カウ

浩

①おほいなり(大)ひろし(廣)又共さま。②水の盛んにして廣きさま、大水の狀。

浪

ラウ

浪

①なみ(波)なみだつ。②流れる貌、わたりさまよふさま。③ほしいまゝ。④みだり、みだりに。⑤おろそか、てたらめ。

湮

リ

湮

①泥湮は波斯の西長の名。②海上の里程(約十六町五十九間四尺)海里、ノット(節)。

浮

フウ

浮

①うかぶ、うく、水上にたゞよふ、ふわ／＼して動く、さだかでない②多くしてつよき貌③すぐ(過)④盛んに降るさま⑤勝負事にまけて飲まされる、罰杯⑥うはつら、物事の表面⑦うき(釣糸につけるもの、うきぶくろ)⑧國訓うく(不確實、心定らず)うかぶ(ゆくりなく現はれる、世に出る、成佛する)うかれる(熱中して有頂天になるさま)うかされる(夢中になるさま)

浴 ヨク
浴

①ゆあみ、湯又は水に入つて身體を洗ひ清めること②ゆあみず、あぶ、あびる③うける、蒙る④國訓あぶ(湯水をあびる、水をおよぐ)あびす(頭上から加へる)

海 カイ
海

①うみ、わたつみ、天地②物事の多く聚りたる場所③廣く大なることの形容

浸 シン
浸

①ひたす、ひたる、水につかる②うるほす(潤)うるほふ③しむ、しみこむ(滲)④やうやく(漸)ます／＼、や、だん／＼

決 セフ
決

①あまねし(遍)②めぐる(匝)一周する③ひとまはり(甲より癸迄の十日間)

洗 バン バイ
洗

①けがす、けがる②水流の平かなる貌

涇 デツ ネット
涇

①水中にある黒き土、くろつち②くろむ(黒く染める)けがしそむ(汚染)③かはる(化)

涇 ケイ
涇

①川の名(甘肅省より發し渭水に合す)②とほる(通)

消 セウ
消

①きゆ、けす、火がきえる②つく(盡)ほろぶ(亡)③とく(釋)④へる、減少する

涉 セフ
涉

①わたる、水をかちわたりする②へる(經過)③博く通ずる、博く見る意④歩きまはる⑤かゝはる、關係する

涌 ヨウ
涌

①わく、水がわきあがる、噴水する②盛んに起るさま、又現はれ出るさま③國訓自然に生ず、突然發生す

延 セン エン
延

①よだれ(唾液)②ねばり(粘液)③水のながれるさま

涓 ケン
涓

①小さき流れ(細流)又ちよ／＼水、しづく②えらぶ(擇)③のぞく(除)はらい清める、きよし(潔)④すこし、わづか、細小の義

涕 テイ
涕

①なみだ(涙)②なく(泣)なみだを流して泣く

涇 シ
涇

きし、ほとり、水ぎは(水厓)

八 畫

① ほとり、きし、みぎは(水際) ② かぎり、はて、きはまり

涯 ガイ

① しる(津汁)流動體の總稱 ② ひたす(漬)うるほふ(潤) 長くつゞける ③ 掖に通じ用ふ

液 エキ

① ひたす、ひたる、水でうるほす ② いる(容)とりあがる、用ゐる

澆 ワ

① けがす、けがる、よこす、又けがれ

澆

① ひたす、ひたる、水でうるほす ② いる(容)とりあがる、用ゐる

涵 カン

① ひたす、ひたる、水でうるほす ② いる(容)とりあがる、用ゐる

涸 カク

涸

① かる、つく(竭)水が竭きてなくなる ② からす、つくす、水をほす

涼 リヤウ

① すゞし、うすさむい、うすし(薄)ひやりとする ② 淋しく悲しきさま ③ 州の名、又國の名 ④ 國訓すゞし(清らかです)がくしい感じ)すゞむ(すゞしい風にあたる)すゞみ(すゞむこと)

涼

① よど(水の淺く流れゆるき所) ② よどむ、水流がとどこぼる ③ 國訓よどむ(進行がにぶる、しぶる、言語がすらすら出ざるさま)

淀 テン

① かしよね、水につけた米 ② とぐ、米を水中でしらげる ③ 雨又は風の淋しき聲

浙 セキ

① 雲雨の起る貌 ② さむし、冷やゝかなり(寒涼) ③ すごし、すさまじ、さびし

淒 セイ

① よなぐ(水中でゆりませ善惡をよりわけること) ② 善を取り惡を去る意、善いものが残り惡いものがなくなる ③ ながす、あらふ(洗)

淘 タウ

① なみだ(涙)と並べるときは涕は鼻より出るなみだ ② ながる、ながす、なみだが流れる、なみだをこぼす ③ 瀝のたれること

淚 ルキ

① よし(善)やさし(優)よみす(主として婦人の美德をいふに用ふ) ② よくす、よしとす、善と自ら信じ慕ふ

淑 シユク

① 水などがしたより流れるさま ② ながあめ(霖に通ず) ③ 病氣の名、りんびやう(淋に通ず) ④ さびし(寂寥)

淋 リン

① にごる、にごす ② かきまはして濁らせる、まじりものありて清からざるさま、まじる(混)

清 カウ

川の名(河南省淇山に發す)

淇 キ

① 水などがしたより流れるさま ② ながあめ(霖に通ず) ③ 病氣の名、りんびやう(淋に通ず) ④ さびし(寂寥)

淋 リン

① よし(善)やさし(優)よみす(主として婦人の美德をいふに用ふ) ② よくす、よしとす、善と自ら信じ慕ふ

淑 シユク

① 水などがしたより流れるさま ② ながあめ(霖に通ず) ③ 病氣の名、りんびやう(淋に通ず) ④ さびし(寂寥)

淋 リン

① よし(善)やさし(優)よみす(主として婦人の美德をいふに用ふ) ② よくす、よしとす、善と自ら信じ慕ふ

淑 シユク

① よし(善)やさし(優)よみす(主として婦人の美德をいふに用ふ) ② よくす、よしとす、善と自ら信じ慕ふ

淑 シユク